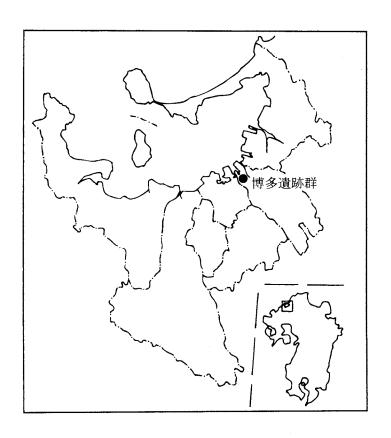
博 多 82

博多遺跡群第115次調査の報告 福岡市埋蔵文化財調査報告書第708集

2002 福岡市教育委員会

#A KA TA 博 多 82

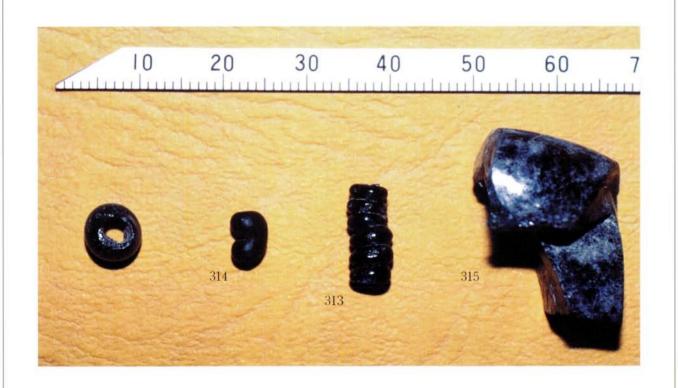
博多遺跡群第115次調査の報告 福岡市埋蔵文化財調査報告書第708集



調査番号 9913 遺跡略号 HKT-115

2002 福岡市教育委員会





玄界灘に面した福岡市には古くから大陸との文化交流の門戸として発展を遂げてきました。 そのため市内には数多くの歴史的遺産が残されており、それらを保護し子孫に伝えていくこと は私どもの義務であります。しかし近年の著しい都市開発によってそれらの多くが失われつつ あります。福岡市教育委員会にはこのような開発によってやむを得ず失われていく埋蔵文化財 に関しては事前の発掘調査を行い記録の保全に努めています。

本書は博多遺跡群の発掘調査について報告するものです。博多遺跡群は弥生時代以降集落として発達し、その後11世紀代には中国貿易の中心地となり、その後長い間大陸との交易の拠点として栄えたため、多くの遺構と遺物が出土しており、全国的に注目を集めている遺跡のひとつでもあります。

本書が文化財保護への理解と認識を深める一助となり、また研究資料としてご活用頂ければ幸いに存じます。最後に発掘調査から報告書の刊行に至るまで河本建設株式会社をはじめとする多くの方々の御理解と御協力を賜りましたことに関しまして心から謝意を表する次第でございます。

2002年3月29日 福岡市教育委員会 教育長 生 田 征 生

例 言

- 1. 本書は1999年5月6日から10月26日まで発掘調査を行った博多遺跡群第115次調査の記録である。
- 2. 本書で使用した遺構の実測図の作成と写真撮影は屋山洋が行った。
- 3. 本書で使用した遺物の実測図作成は名取さつきと屋山が遺構と遺物の製図は井上加代子と 蔵冨士寛、屋山が行った。
- 4. 本書で使用した方位は磁北である。
- 5. 挿図中の遺物番号と図版中の遺物番号は一致する。
- 6. 本書に関わる図面、写真、遺物等の資料は福岡市埋蔵文化財センターで収蔵・保管される。

調査番号	9 9 1 3	遺跡略号	HKT115
調査地地番	博多区店屋町33・34・77	分布地図番号	No.49 天神
開発面積	7 0 3.4 m ²	調査実施面積	6 0 1 m²
調査期間	1999.5.6~1999.10.26	事前審査番号	$1\ 0-2-3\ 7\ 7$

目 次

I はじめに	
1. 調査に至る経過	1
2. 調査の組織	1
3. 調査地点の立地と環境	1
Ⅱ 調査の記録	
1. 調査の概要	
2. 第1面の調査	
3. 第2面の調査	
4. 第3面の調査	
5. 中世以前の出土遺物	
6. 鋳造関連遺物	
7. その他の出土遺物	
8. 小結	
9. 墨書土器	40
10. 骨角器	40
11. 動物遺存体	
挿図目	次
第1図周辺遺跡分布図 2	第24図第2面井戸出土遺物実測図I26
第2図博多遺跡群内調査区位置図 3	第25図第2面井戸出土遺物実測図Ⅱ・・・・・27
第3図調査区周辺図·······4	第26図第3面土坑実測図・・・・・・28
第4図第1面全体図 折り込み1	第27図第3面土坑出土遺物実測図I29
第5図第2面全体図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	第28図第3面土坑出土遺物実測図Ⅱ30
第6図第3面全体図······折り込み3 第7図第1面土坑実測図I······7	第29図第3面土坑出土遺物実測図Ⅲ·····32 第30図第3面井戸実測図Ⅰ······32
第 7 図第 1 面工坑美測図 1 8 第 8 図第 1 面土坑実測図 Ⅱ 8	第31図第 3 面井戸実測図 I ·············33
第9図第1面土坑美側図 I ···································	第32図第3面井戸実測図II············33
第10図第1面土坑出土遺物美測図Ⅱ10	第33図第3面升戸出土遺物実測図I35
第11図第1面土丸田上遺物夫側図11 第11図第1面溝および出土遺物実測図12	第34図古代以前の遺物・・・・・・38
第12図第 2 面土坑実測図 I ·······14	第35図製造関連遺物実測図・・・・・・38
第13図第2面土坑実測図Ⅱ15	第36図その他の出土遺物・・・・・・39
第14図第2面土坑実測図Ⅲ16	第37図墨書土器 I ············42
第15図第2面土坑出土遺物実測図I17	第38図墨書土器Ⅱ43
第16図第2面土坑出土遺物実測図Ⅱ・・・・・・・18	第39図墨書土器Ⅲ44
第17図第2面土坑出土遺物実測図Ⅲ・・・・・・・19	第40図墨書土器Ⅳ・・・・・・・45
第18図第2面土坑出土遺物実測図Ⅳ⋯⋯⋯20	第41図墨書土器 V · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
第19図第2面土坑出土遺物実測図V21	第42図骨角製品47
第20図第2面土坑出土遺物実測図VI·····22	第43図御供所地区出土弭実測図48
第21図第2面土坑実測図Ⅳ23	第44図出土動物遺体 I ······55
第22図土坑出土遺物図Ⅷ・・・・・24	第45図出土動物遺体Ⅱ・・・・・・・56
第23図第2面井戸実測図 「 · · · · · · · · · · · · · · · · 25	

I はじめに

1. 調査に至る経過

平成10年10月29日、河本有満氏より福岡市教育委員会に対し博多区店屋町33・34・77に関する埋蔵文化財の事前審査申請書が提出された。申請地が埋蔵文化財包蔵地区である博多遺跡群内に位置することから、福岡市教育委員会では埋蔵文化財の有無の確認をするための試掘調査を11月9日に行った。申請地中央の事務所ビルが解体前だったので駐車場部分にトレンチを設定し掘り下げたところ、GL下約300cmのところで黄褐色砂に達し、掘下げ中に遺構と遺物を確認した。教育委員会では、建設工事時より遺構が壊されることになるため、事前の発掘調査が必要であると判断し、申請者と協議を行った。その結果平成11年4月6日に調査の契約書を締結し、平成11年5月6日から調査を開始し、10月25日に発掘調査終了、26日に調査器具と遺物の搬出を行った。

2. 調査の組織

調 査 委 託:河本有満

調 査 主 体:福岡市教育委員会文化財部埋蔵文化財課

調 査 総 括: 埋蔵文化財課 課長 山崎純男

調查第1係長 山口譲治

調 査 庶 務: 文化財整備課 宮川英彦

調 査 担 当: 埋蔵文化財課 事前審査 田中壽夫 加藤隆也

調査第1係 屋山洋

調査作業員: 瀬戸啓治 小路丸嘉人 三浦力 村本義夫 石川さやか 池聖子 大音輝子

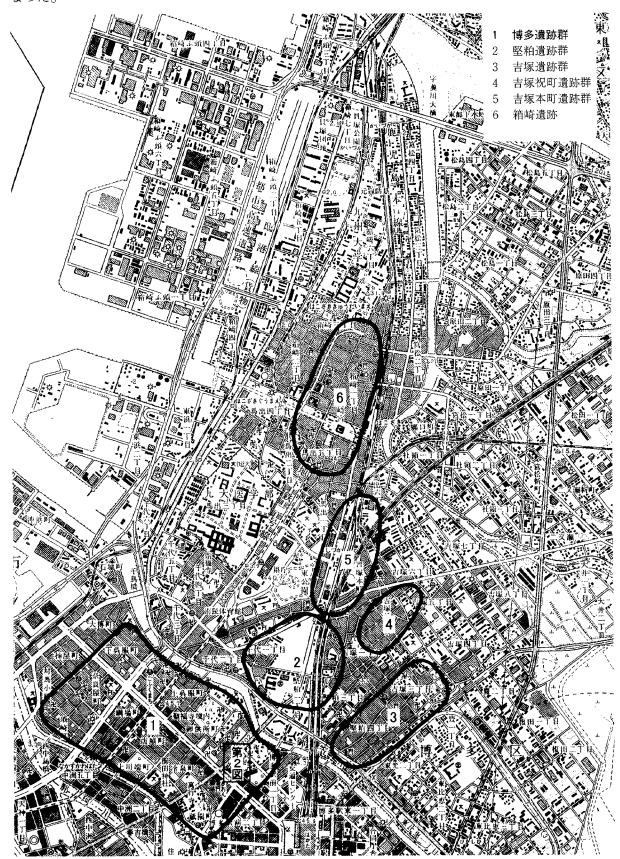
小池温子 小路丸良江 小松富美 指原始子 田端名穂子 永田優子 中村幸子 花田則子 増田ゆかり 吉川暢子 川崎朋子 大和武史 梅田隆憲 岡田朋子 岡あゆみ 中村文美 田中肇 徳永洋二郎 中山竹男 平山栄一郎 脇田栄 尊田絹代 柴田常人 高木美千代 田中和古 松岡芳枝 一ノ瀬フミヨ

資料整理: 名取さつき 大石加代子 濱野年代 藤野洋子 山口初子

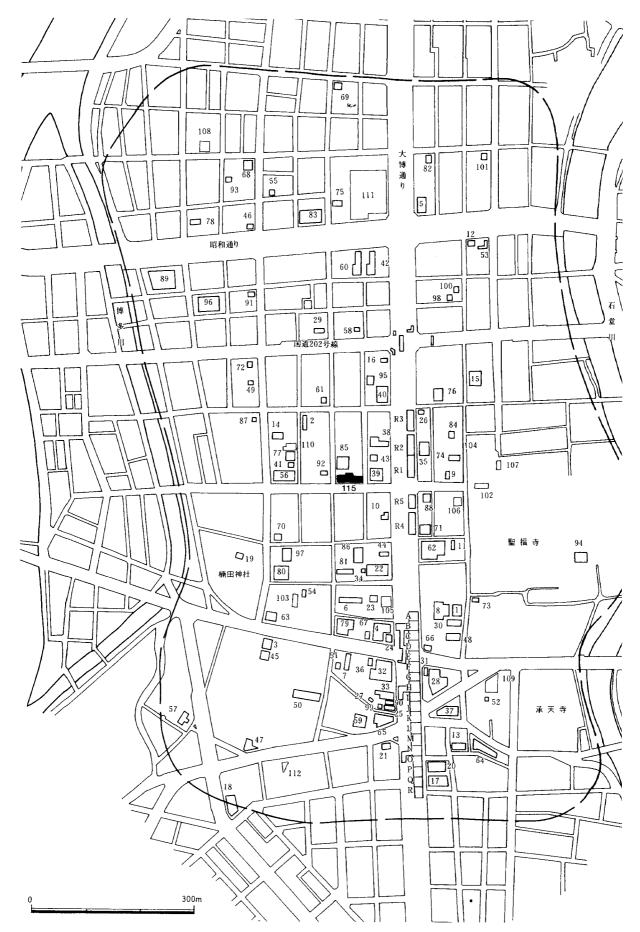
3. 調査地点の立地と環境

調査地点は博多遺跡群の2つの砂丘のうち、南側の博多浜場に位置する。博多浜は東の吉塚・堅粕から延びる一連の砂丘で、現状では博多遺跡群の東端で石堂川によって切られている。今回の115次調査地点はこの博多浜の北部端に位置し、北端の微高地から南側に緩やかに傾斜する斜面上に位置する。博多遺跡群で古い遺構は博多浜の南側で弥生時代中期の甕棺墓が出土している。古墳時代になると初頭の土師器壷が多く見られる他、地下鉄祇園駅周辺では前方後円墳の博多1号墳が築かれその周辺には方形周溝墓群が広がっていた。古代になると博多浜の南端に官衙的施設がみられ、かたいなど役人がいたことを示す遺物も多く出土している。11世紀になると鴻臚館に代わって対外交流の拠点となり遺構の数は爆発的に増加する。初期貿易当時である窯系の青磁碗は粗製品ではあるが多く出土しており、その後の類型白磁の時期になると多量の貿易陶磁が出土するようになる。その後在日貿易商人の勢力を基に発展を続け鎌倉時代末期には鎮西探題が置かれ九州の政治的中心を兼ね備えるが世紀に博多を介さない京阪地域での貿易取引が行われるようになると博多の優位性は失われ、衰退して

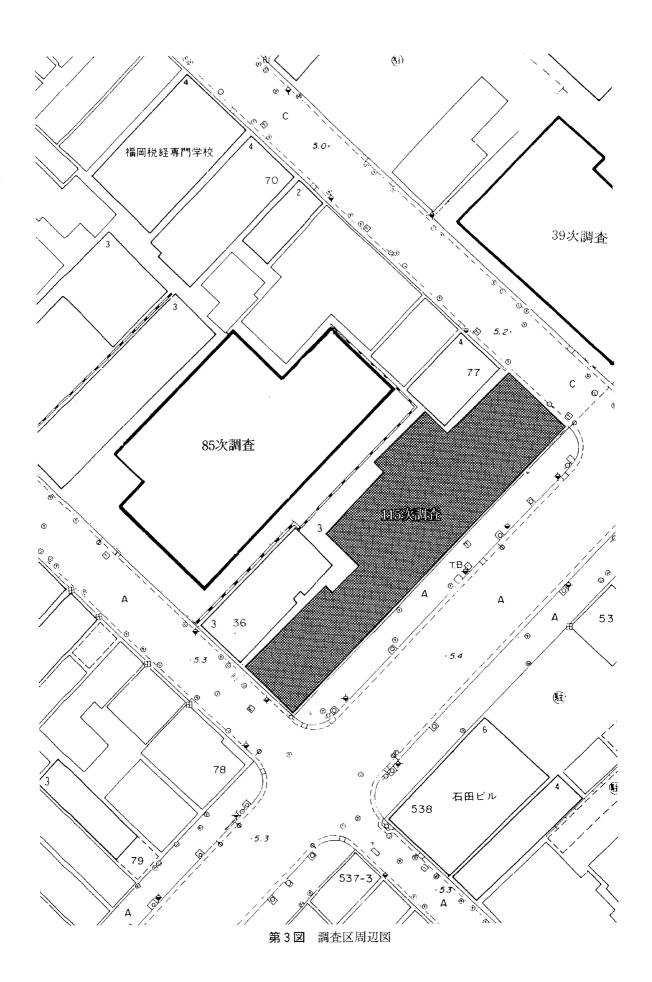
いった。その後江戸時代に鎖国が行われ海外との交流が不可能になると博多は一地方都市と化してしまった。

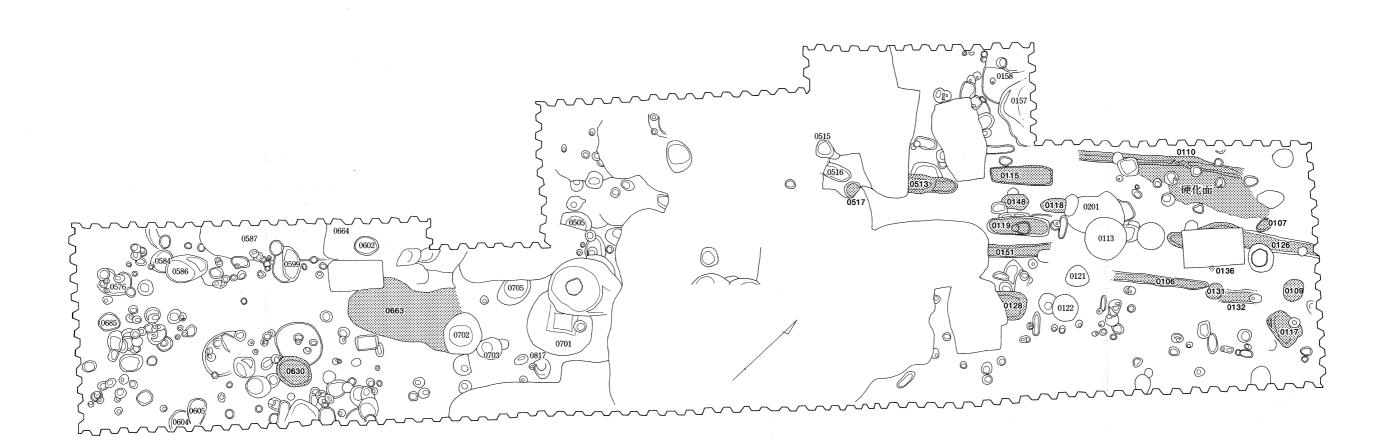


第1図 博多遺跡群位置図(1/25,000)

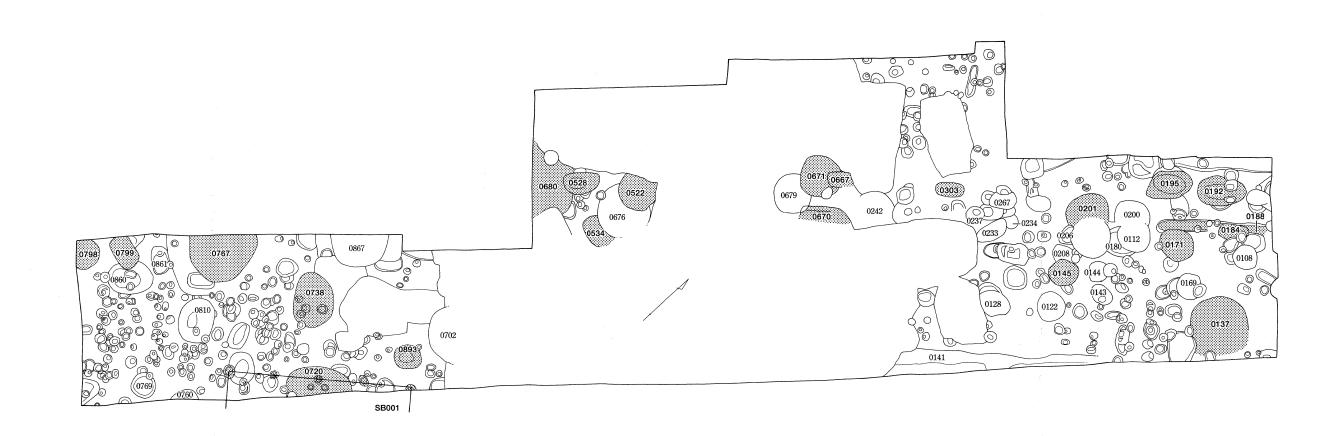


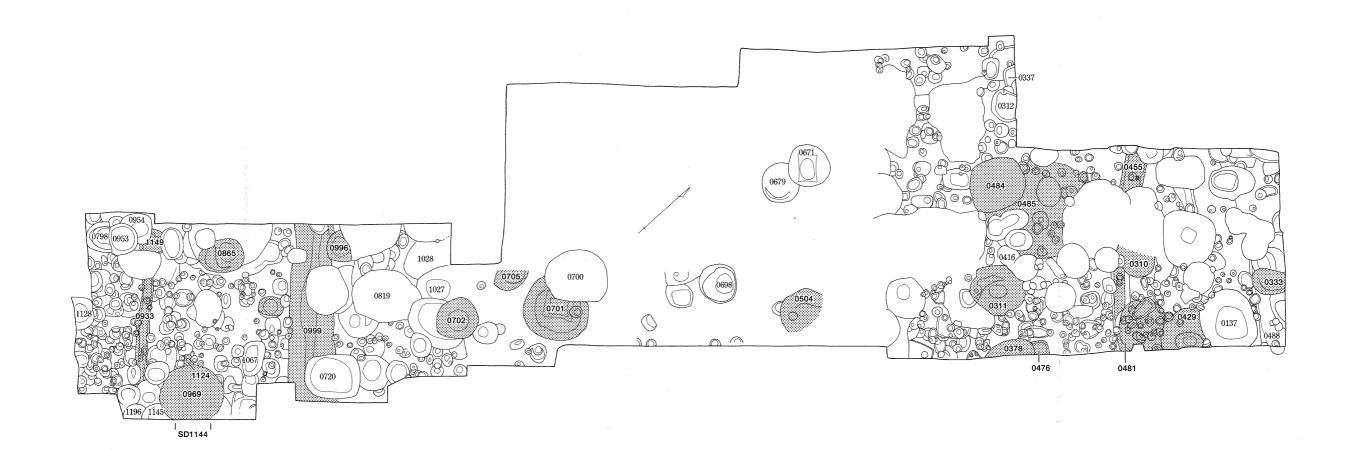
第2図 博多遺跡群内調査区位置図





*





第6図 第3面全体図

Ⅱ 調査の記録

1. 調査の概要

申請者から重機の提供を受け、5月6日からI区の表土剥ぎを行った。事前の試掘調査で遺構が確認された地表下180cmまでは機械で掘削した。この段階で地山である黄褐色砂層まで約60~80cmの深さがあったので、機械掘削面を第1面とし、第1面から30cm下を第2面、60cm下を第3面とした。南側は第3面でも黄褐色砂層に達しなかったため更に掘り下げたがそこで検出した遺構は第3面目の図面に付け加えた。調査は当初東西の2区に分けて行う予定であったが、調査地中央部が解体した建物の基礎によって深く攪乱されており、その土を除去したところ廃土が予定より多く出て表土剥ぎのスペースがなくなった。そのため1回の調査面積を狭めて3分割に変更して調査を行った。その間、調査事務所、重機、水中ポンプや照明用ライトなどの提供で河本建設から多大な協力を得た。

2. 第1面の調査

1) 第1面検出遺構と出土遺物

道路状遺構(第4図) I 区北端部付近で検出した硬化面である。焼土や白色砂等を含み周囲の堆積と比較するとかなり固く締まっていた。硬化面は東側の第39次調査で確認された東西方向の道路に該当すると思われる。硬化面の南端に溝状遺構が数条あり、側溝の可能性が考えられる。

土坑

SK0107 (第7図) I区東側で検出した。平面は卵形を呈し長径70cm、深さ26cm。底面から14cm上でイノシシの肩甲骨が水平な状態で出土した。出土遺物 (第9図001~005)。001·002は白磁碗、003は白磁平底皿。004はガラスが付着した坩堝。005は須恵質の磚で、表面にひび割れや植物質の圧痕がみられ粗製である。一面がわずかに磨耗している。

SK0109 (第7図) I 区東端に位置する。平面は円形で径95cm、深さ47cmを測る。北側に段をもつ。覆土掘り下げ中に銅銭やシカの骨が出土した。出土遺物 (第9図006~014)。006·007は黄褐釉盤。008~013は土師器の坏・皿で糸切り。014は土玉、径2.9cmを測る。

SK0115 (第7図) I 区北西側に位置する長方形の土坑である。南側のSK0119と対になり、道路側溝と主軸が同じ事から道路に伴う施設ではないだろうか。遺構は長さ261cm、幅86cm、深さ20cmを測る。陶磁器は少なく小さな染付けの破片と茶褐釉擂鉢のみである。土師皿(糸切り)の小破片が10枚分以上出土している。土玉が2点出土しており径は約2.5cmを測る。

SK0117 (第7図) I 区東南隅に位置する。平面は楕円形で長径161cm、短径94cm、深さ78cmを測る。遺物は白磁碗V-4類、W-1類で外底部に墨書がみられる。

SK0118 (第7図) I 区中央に位置する。東西に長い楕円形を呈し、長径111cm、短径61cm、深さ167cmを測る。覆土は上半が炭化物を多量に含む灰褐色砂質土がレンズ状に堆積しているのに対し、下半は白色砂を含む灰色粘質土の堆積で締まりが非常に弱い。壁に流水痕跡と思われる縦方向の溝がみられる。覆土中からイルカ類の椎骨が出土した。また上半の炭化物層は焼けた骨小片を含む。遺物は白磁碗の小片と共に土師器坏(糸切り、板状圧痕)、瓦質の擂鉢が出土している。

SK0119 (第7図) I 区西側に位置する土坑でSK0115の南側に並ぶ。長さ261cm、幅87cm、深さ21cmを測る。出土遺物。外面に菱形格子文を施した青白磁碗、白磁碗V-2類、白磁平底皿Ⅲ類、

龍泉窯系青磁碗 I - 2 類や横褐釉盤の他に土師器坏と皿は糸切りで板状圧痕がみられる。越州窯青磁碗片や土玉(径2.7cm)、縄目叩きと布目の圧痕を持つ須恵質の瓦片が出土。

SK0120 (第8図) I 区で検出した。平面楕円形を呈し、長径118cm、短径78cm、深さ56cmを測る。 出土遺物 (第9図15~025)。015~020は白磁碗である。018は口ハゲの口縁。021は白磁水柱の注口、023~024は土師器坏。023は内面口縁部に煤が付着しており、灯明皿として使用している。025は土錘。 その他8世紀後半の須恵器高台付き坏が出土している。

SK0128 (第7図) I 区西側に位置する。東西に長い楕円形を呈す。北西側のふくらみは別の遺構か。長径136cm、短径111cm、深さ66cmを測る。出土遺物 (第10図020~033)。032は獣脚硯の一部と思われる。黒色。033は須恵質の磚である。

SK0131 (第7図) I 区東側に位置する埋甕である。上半部は削平されており、下半のみ遺存している。道路側溝のSD0132を切る。甕は国産陶器の大型甕で外面が茶褐釉、内面が黄緑色を呈す。外面に5×5cmの方形に細かな格子を刻んだタタキが胴部を水平方向に廻り、無文部分とタタキが層状にコントラストをなす。底部に大きな歪みがみられる。最大胴径は70cm前後を測り、全体に砲弾型を呈している。甕内部からは何も出土しなかった。

SK0148 (第8図) I 区北西側に位置する。長径58cm、短径33cm、深さ48cmを測る。底面から12 cm浮いたところで鉄製の鎌が壁に沿って出土した。出土遺物(第10図034~037)。034~036は土師器坏、037は土師皿。いずれも糸切りである。

SK0517(第8図) Ⅱ区東側に位置する。平面円形で径73cm、深さ23cmを測る。床面から白磁碗 Ⅳ類と共にイノシシ左頭蓋骨が出土している。歯の咬耗から若い個体である。頭蓋骨断面の状態が悪かったので人為的に割ったのかは不明であるが現状で解体痕はみられない。

SK0630 (第8図) Ⅲ区中央南寄りに位置する。平面は東西に長い土坑で長径157cm、短径128cm、深さ47cmを測る。断面は浅皿状で握り拳大の礫を多く含む。出土遺物 (第10図038~041)038⋅039は白磁碗。038は外面に片彫りで連弁模様を施す。鎬なし。039は輪花で内面を縦線で6つに区切る。040は糸切りの土師皿、041は片口鉢である。

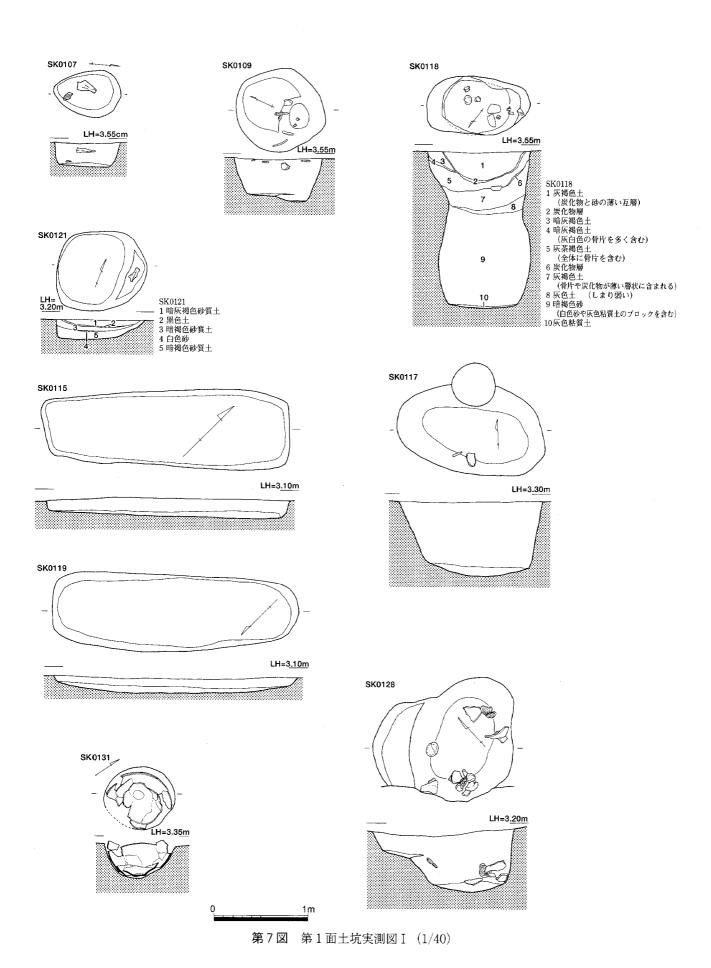
SK0663(全体図)Ⅲ区北東側で検出した。上層の近世層からの掘り込みで東側へ溝状に延びる。 覆土は鋳造鉄滓を多量に含んでおり、その隙間に土や炭化物が入っている状態である。土器などの遺物はほとんど出土していないが、土師皿が数点出土した。

SK0735 (第8図) 皿区北東側に位置する。遺構としては確認できなかったが1面から2面への掘り下げ中に黄褐釉盤の破片と礫が集中して出土したので掘り方が不明ながらも土坑が存在すると考えて遺物を取り上げた。黄褐釉盤の他に土師皿片(糸切り)や青磁平底皿(I-2類)、土師坏(ヘラ切りで板状圧痕あり)が出土し、周囲から魚骨がまとまって出土した。出土遺物($040\cdot041$)。

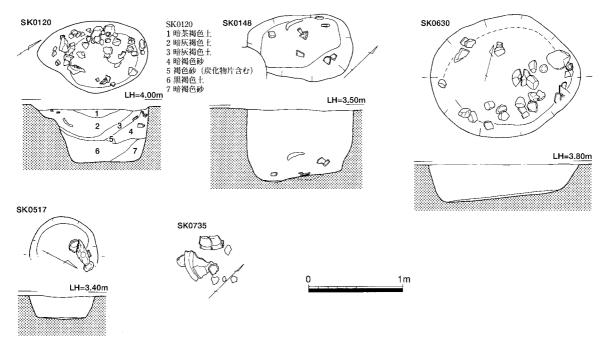
SX0136 (第4図) I区東側に位置する。遺構としては確認できなかったが1面の遺構検出中ガラス坩堝のk口縁から頸部が出土した。内面に白色のガラスが付着。胎土は須恵質で外面は黒色を呈す。破片が数点出土したため、土坑および柱穴状の遺構があると考え遺構番号をつけて取り上げた。遺物は小片になっており復元できなかった。

溝

SD0106 (第11図) I 区中央で検出した東西方向の溝である。幅38cm、深さ6cmを測る。床面から3cmほど浮いて糸切りの土師坏が出土している。多少軸がずれているが SD0132や SD151 とつながって1本の溝になる可能性もある。調査区の東側に隣接する39次調査で14世紀頃の東西方向



- 7 -



第8図 第1面土坑実測図Ⅱ (1/40)

の道路が確認されており、それに続く道路側溝の可能性がある。軸がずれているのは道路が時期により南北に移動した結果であろう。出土遺物(第11図 $048\sim054$)。048は茶褐釉皿で胎土は赤褐色である。049は黄褐釉盤。 $050\sim053$ は土師器坏、054は土師皿である。

SD0110 (第4図) I 区北側で検出した東西方向の溝である。幅20cm、深さ32cmを測る。SD0106との間には一部分であるが焼土、白色砂等を含む道路硬化面と思われる固く締まった面を確認した。出土遺物は白磁碗V類、白磁皿VI類、糸切りの土師皿等である。

SD0126 (第11図) I 区東側中央で検出した東西方向の溝である。幅が0106や0110に比べ幅広で軸がずれているが、別時期の道路側溝と思われる。幅70cm前後、深さ約33cmを測る。覆土中から焼けた角礫、糸切りの土師皿、青磁碗片、シカの指骨がが出土している。シカの指骨は基節骨、中節骨、末節骨が連結しており、すぐ近くで解体が行われたことを示している。その他に炉壁、銅滓、銅鍋の鋳型小片が出土した。焼けた礫や炉壁は東側に集中する。隣接する第85次調査では15世紀代の726号遺構で鍋鋳型や中子、取り瓶、羽口がまとまって出土しており、ここで使用した道具を投棄したものと思われる。SD0126は推定道路の中央部付近に位置する。硬化面の焼土や炭化物が鋳物生産時のものでそれを廃棄したものであれば道路北側の側溝である可能性が高いといえる。15世紀以降。

SD0132 (第4図) I区東側で検出した。SD0106と同一溝か。

SD0151 (第4図) I区西側に位置する東西方向の溝で幅28cm、深さ23cmを測る。道路側溝と思われ、東側でSD0106・SD0126のいずれかにつながるものと思われる。

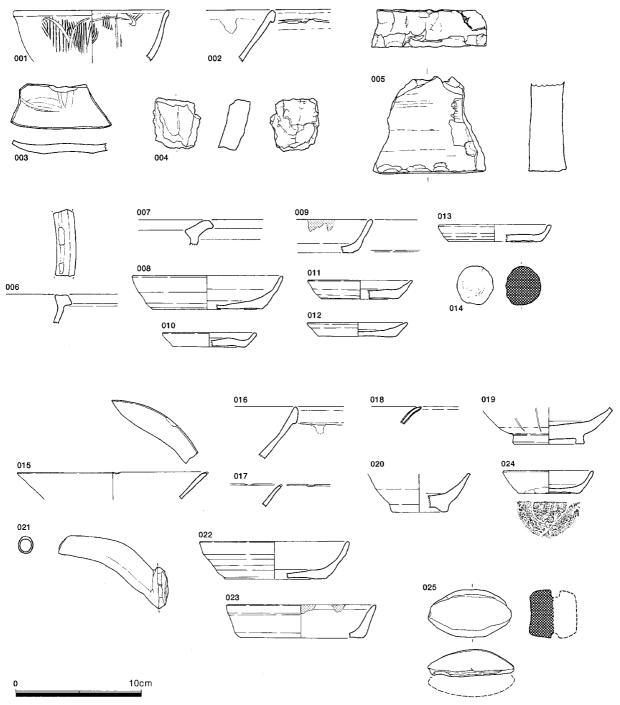
SD0153(第11図) I 区西端で検出した東西方向の溝で、SD0516と繋がる可能性がある。断面半円状を呈し幅83cm、深さ30cmを測る。覆土は暗褐色土を主とし炭化物を多く含む。西側が一段深くなっており、焼けた礫が集中している。その中から陶磁器と共にイノシシの下顎骨や肋骨、イルカの椎骨が出土している。出土遺物(第11図042~047)。042・043は白磁碗。044は龍泉窯系青磁碗である。045・046は陶器の大瓶で045は暗オリーブ色の釉がかかる。胎土赤褐色で粗い。045は茶色もしくは暗オリーブ色の釉がかかる。胎土は粗く赤灰褐色を呈す。白色砂と黒い転々を含む。外面の剥落が激しい。047は土師器坏で糸切りである。

3. 第2面の調査

1) 第2面検出遺構と出土遺物

土坑

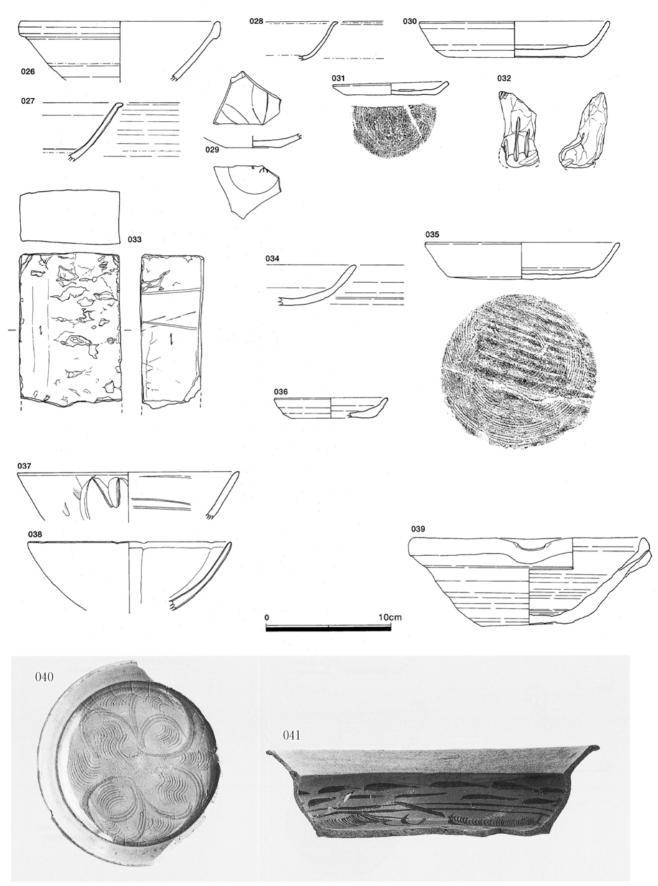
- S K O 1 3 7 (第12図) I 区の北東端に位置する。直径250㎝の円形を呈し深さ170㎝を測る。掘り方は逆台形を呈す。覆土は砂質土を主とするレンズ状の堆積である。遺物は多く土師器は復元できただけでも坏30枚以上、皿40枚以上を数え小破片を含めると更に多くなる。その他白磁碗 \mathbb{N} ・V類、白磁皿 \mathbb{I} -1・ \mathbb{I} 類、褐釉の瓶片、黒釉の碗が破片で出土している。
- SK0145(第12図)I区中央に位置する。径154cmの円形を呈し、深さ112cmを測る。底面は南側がわずかに低い。覆土は炭化物を多く含む粗砂が薄くレンズ状に堆積しており、底と西壁に暗褐色粘質土を貼り付けている。貯蔵用の竪穴として利用したのであろうか。中間層で土師皿 (糸切り)、白磁碗 $\mathbb{N} \cdot 5 1$ 類、白磁皿 $\mathbb{N} 1$ 類が出土した。出土遺物(第15図055~066)。065は土師質の棒状土製品である。一辺が 2~2.5cmで長さは不明である。一面だけ強く被熱している。炉の構築材か。066は須恵質の平瓦で縄目のタタキと凹面は削りを施す。12世紀前半か。
- SK0169 (第13図) I 区東寄りに位置する。平面円形を呈し直径143cm、深さ132cmを測る。ほぼ円筒形で底面直上の壁がえぐれている。覆土はレンズ状堆積である。下半部から土師器坏(ほとんど糸切り)40枚以上、土師皿27枚以上(糸切り)須恵質瓦片、白磁碗V・畑類がまとまって出土している。廃棄土坑である。
- SK0184 (第13図) I 区北東隅に位置し、SD0188を切る。平面長方形を呈し長径109cm、深さは検出面から74cmを測る。断面は逆台形を呈す。覆土は炭化物を多く含むレンズ状の堆積で、最下層は炭化物や骨片がそれぞれ薄くレンズ状をなす。土師器坏・皿の小片と黄褐釉盤が出土している。11世紀後半以降。
- SKO192 (第13図) I 区北隅に位置する。径40cmの根石を埋めた柱穴に切られる。平面楕円形で長径210cm、短径128cm、深さ79cmを測る。断面は逆台形を呈す。覆土は炭化物や白色砂を含む暗褐色砂がレンズ状に堆積しており、粘土を含むのかカチカチに固まっている。一度埋まったのち掘り直しており、粗いレンズ状堆積をなす。白磁碗Ⅳ類が出土している。12世紀前半か。
- SK0195 (第13図) SK0192の西南側に並ぶ。平面はいびつな楕円形で長径176cm、短径118 cm、深さ88cmを測る。断面は箱形を呈し覆土は炭化物と焼土粒子を含む砂質土の薄いレンズ状堆積である。白磁碗Ⅳ類が多くⅢ類も少量出土している。その他土師坏(ヘラ切り・糸切り)、土師皿(糸切り)、須恵器大甕、瓦器皿などが出土している。
- SKO201 (第13図) SK0200の西南に位置する。平面楕円形で長径184cm、深さ129cmを測る。断面は逆台形を呈す。他の井戸より浅く湧水点に達しないことや土層で井戸枠が確認できないことから土坑とした。覆土はレンズ状の堆積である。白磁碗V類、同安窯系青磁碗I類、土師器坏(糸切り・ヘラ切りの両方)須恵器瓦片、碁石が出土した。
- **SKO208**(第13図) I区中央に位置する。SK0145に切られる。現状で深さ52cmを測る。東側に床面から13cmの高さに段を持つ。白磁碗V類、白磁平底皿、土師坏が出土した。
- SKO239 (第21図) I区南西側に位置する。平面楕円形を呈し、長径125cm、短径59cm、深さ54cm を測る。断面逆台形を呈す。覆土は炭化物を含む灰褐色砂質土で遺構上半に土師坏、土師皿等多くの遺物を含む。遺物は壁際に大きな個体を並べたのか中央には小さな皿や破片が多い。遺物包含層はレ



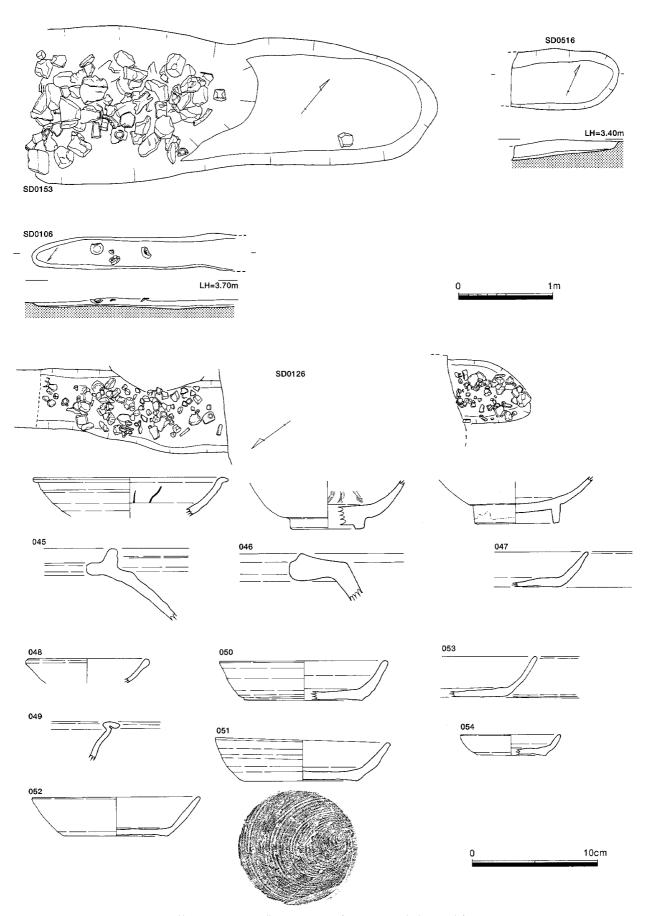
第9図 第1面土坑出土遺物実測図 I (1/3)

ンズ状の堆積をなし、土坑の埋没途中に一括廃棄されている。土器に混じってシカの肩甲骨が出土、また魚鱗やカキ殻が多く出土。土師皿の下からはアワビ類の殻が出土している。魚鱗は遺存状態が悪く取り上げることはできなかった。カキ殻は3cm~6cmを測る。調査時点では気づかなかったが魚鱗の出土状況の写真を見るとその中に連結した魚類の椎骨を数本みることができる。鱗を落とした後三枚に下ろして骨を捨てたものと思われる。出土遺物(第22図192~201)。192~193は白磁。195は白磁壺である。196は瓦器椀。197~199は土師器坏。197は灯明皿である。200・201は土師器皿。

SK0522 (第21図) 木棺墓と思われる。Ⅱ区南西側に位置する。攪乱等の削平をうけ西側のみの遺存である。上面で楕円形の掘り方を検出したが掘り下げの途中で細長い長方形の掘り方を確認した



第10図 第1面土坑出土遺物実測図Ⅱ (026~039は1/3)



第11図 第1面溝および出土遺物実測図 (1/40・1/3)

ので下層のみであるが土層実測を行った。西端で小口状の炭化物層があり、床面直上にも炭化物層がみられる。東側では暗灰色砂質土のなかに薄い暗灰色粘質土がレンズ状に堆積している。床面の炭化物層が棺蓋の痕跡であろうか。床面から $5\,\mathrm{cm}$ ほど浮いて土師皿(糸切り)が出土したがこれらは上からの落ち込みと思われる。東端では床面で完形の青磁平底皿($I-2\,\mathrm{類}$)が出土した。

SKO528 (第13図) Ⅱ区西側に位置する。平面楕円形を呈し長径159cm、短径95cm、深さ89cmを測る。断面逆台形で東端に段がつく。覆土中から白磁碗Ⅳ類、Ⅴ類、Ⅷ類、白磁平底皿のⅥ類、Ⅷ-1類、Ⅷ-1類が出土した。白磁碗のⅣ類は胎土、釉とも細かく、成形も丁寧である。その他に土師器坏と皿(糸切り)や竈片、縄目タタキと布目圧痕の平瓦と粗い斜格子の丸瓦片が出土した。

SK0534 (第13図) II 区南側に位置する。東側は削平されているが平面楕円形を呈し径170cm、深さ56cmを測る。

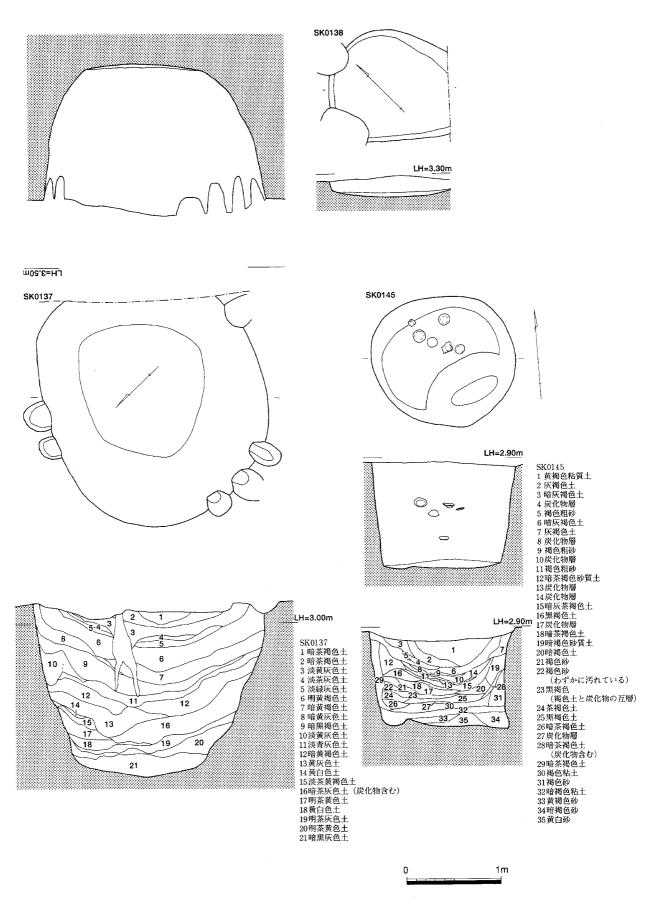
SK0695 (第14図) Ⅱ区東側に位置する。表面で検出できなかったが、掘り下げ中に遺物が集中して出土したので土坑と判断した。平面は楕円形を呈し長径146cm、短径約90cm、深さ32cmを測る。断面はレンズ状を呈す。土師器坏を多く含みそれを潰すように5~20cmの角礫が東側に集中して含まれる。遺物は陶磁器を含まず土師器椀、土師器坏・皿(糸切り)などである。祭祀の一括廃棄と思われる。11世紀後半か。

SK0716 (第5図) Ⅲ区北側に位置し北側を702に切られる。平面楕円形を呈し長径約260cm、短径196cm、深さ132cmを測る。断面は逆台形を呈す。貯蔵用竪穴か。出土遺物 (第16図086~088)。086・087は白磁碗である。088は土師皿である。

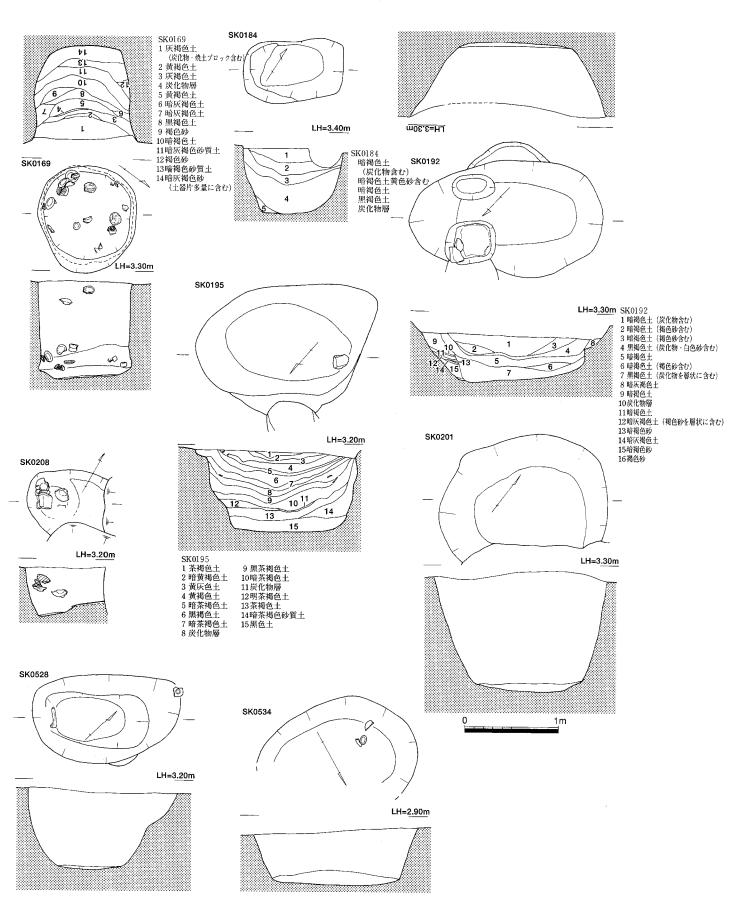
SK0720(第14図)Ⅲ区南端に位置する。南側が調査区外に延びるが現状で長径254cm、短径約140 cm、深さ136cmを測る。断面箱形を呈す。覆土上半から径10~20cmの礫が多く出土するとともに、土師 坏約80枚以上、土師皿50枚以上、白磁碗40枚以上と多量の遺物が出土した。出土遺物(第17~19図094 ~172)。094~116は白磁碗である。117~128は白磁皿、129~132は青白磁の合子。133は白磁四耳毒 である。134は褐色瓶である。復元口径6.9㎝を測る。胎土は須恵質の暗赤褐色である。135は短口壺 で復元口径1.75cmを測る。肩部から頸部にかけて横緑褐色の釉を施す。胎土は灰褐色で砂粒多く含む。 136~139は同安窯系青磁碗である。140は褐釉の盤、140~145は瓦器椀で短い高台が付き、横方向にミ ガキを施す。146~153は土師器坏。回転糸切りで153は口縁に煤が付着。154~167は土師器皿。糸切 りで板状圧痕あり。168・169は須恵質の磚。168は厚さ2.8cmを測る。上下の面は粗いナデを施す。側 面は木の圧痕があり、板を当てて成形し、その後軽くナデている。広い面の片面が軽く磨耗しており、 床に敷かれていた可能性がある。169·170は厚さ5cmと厚く煉瓦状を呈す。169は表面を軽くナデ調整 を施すがひび割れ、植物圧痕がみられる。横側面のみが磨耗している。170は土師質の磚である。6 面のうち3面のみ表面が残っているが、いずれも磨耗して砥石状をなす。しかし、砥石によく見られ る部分的な強い磨耗や1方向の研磨痕はみられない。168・169の一面のみの磨耗にたいし、170の3面 の磨耗は建物や道路敷きとしての利用の仕方でつくものとは思えない。171・172は棒状土製品である。 1面が強く焼け白色化し、その周辺と側面の一部が赤化している。172もほぼ同じであるが断面三角 を呈す。炉の構築材と思われる。

SK0738 (第14図) Ⅲ区中央北寄りに位置する。平面は楕円形で長径216cm、短径178cm、深さ128 cmを測る。断面は箱形を呈す。覆土は炭化物・焼土や白色砂を薄い層状に含むレンズ状の堆積で、下層はやや粘性をおびる。貯蔵用竪穴を廃棄土坑に転用か。出土遺物(第20図173~179)。173~176は白磁碗である。177は土師器坏、178・179は糸切りの土師器皿。

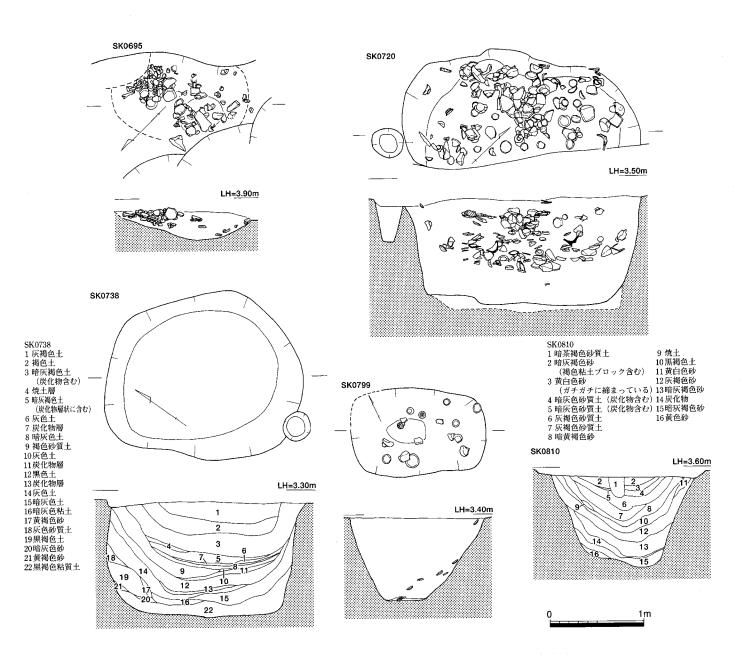
SK0798 (第21図) Ⅲ区西端に位置する。長径135cm、短径113cm、深さ78cm。底面で完形に近い



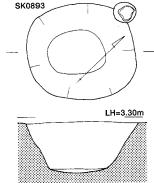
第12図 第2面土坑実測図 I (1/40)



第13図 第2面土坑実測図Ⅱ (1/40)

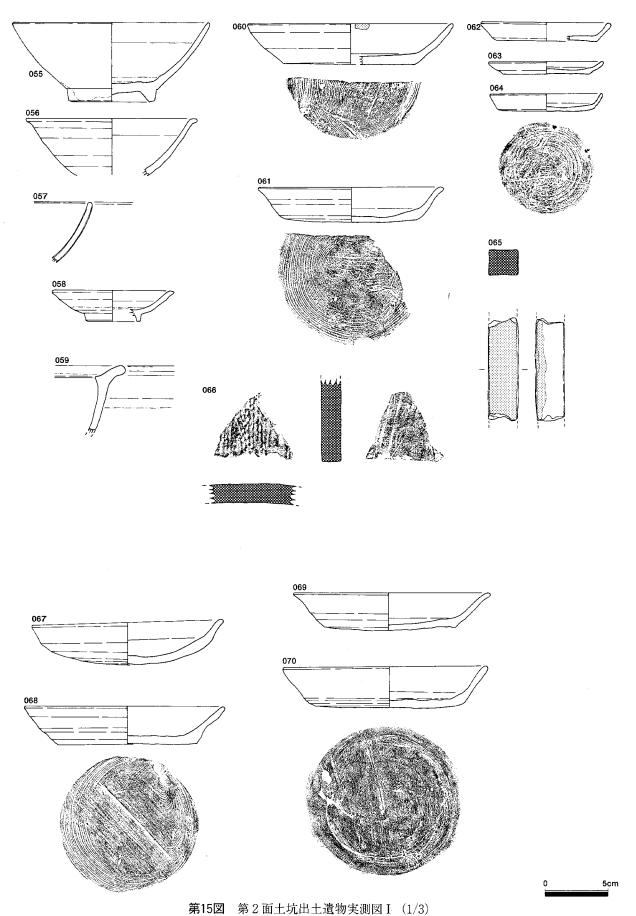


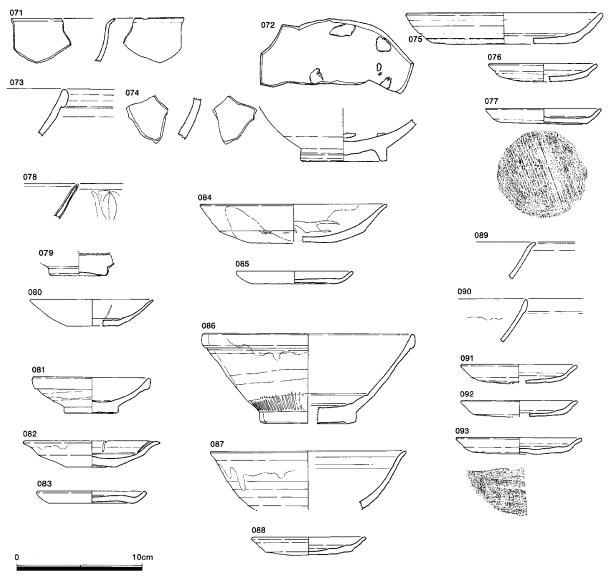
第14図 第2面土坑実測図Ⅲ (1/40)



平瓦1枚とウシの左右下顎骨と寛骨、尺骨が出土した。いずれも解体時に -廃棄される部分ではあるが、橈骨や脛骨、中手・中足骨など尺骨同様廃棄 されやすい部分がないことや下顎骨が左右分離していることから解体直後 の廃棄ではなく、祭祀に使用された可能性がある。瓦が根板とすれば建物 建設時の祭祀の可能性は考えられないだろうか。出土遺物(第22図207・ 208)207は瓦片である。底面で出土した。黒灰色を呈し斜格子のタタキを 施す。208は土師坏である。

SK0799 (第14図) Ⅲ区西端に位置する。平面長方形を呈し長径143cm、短径93cm、深さ87cm。断面は擂鉢状を呈す。覆土は東から廃棄された土師器と炭化物を多く含む黒褐色土が流れ込み、その後炭化物や焼土を含む砂質土が水平に堆積している。遺物は白磁碗Ⅳ類、白磁皿4-1類、龍泉窯系青磁平底皿I-2類、土師坏(糸切り)、土師器皿(24枚以上)などがあ





第16図 第2面土坑出土遺物実測図Ⅱ (1/3)

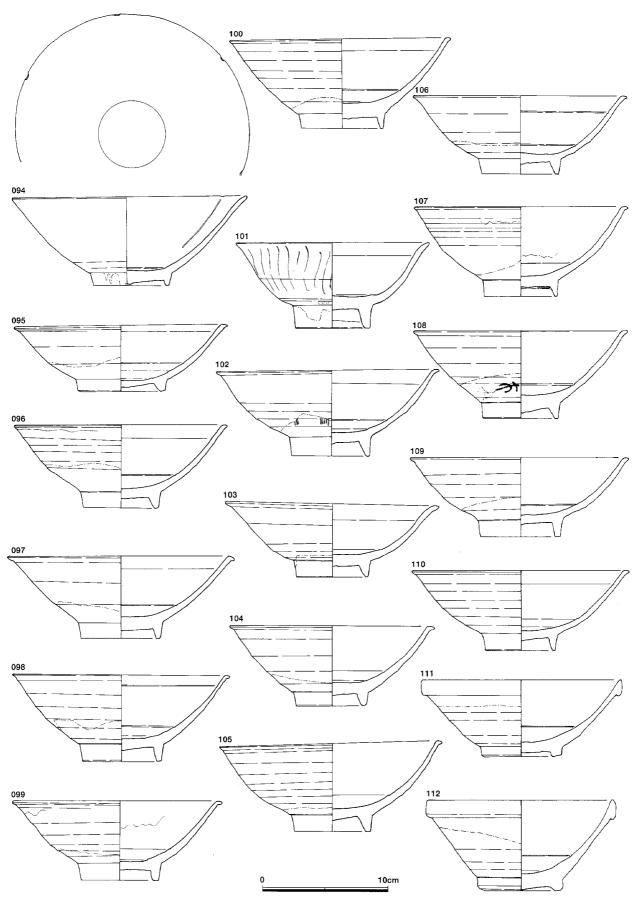
る。土師器皿は径が9.2~9.4cmと8.0cmの2つに分けられる。いずれも糸切りで板圧痕あり。

SK0886 (第21図) Ⅲ区中央部に位置する。遺構検出では見つけられなかったが掘り下げ時に土 師皿が8枚まとまって出土したため遺構番号をつけ取り上げた。出土遺物は土師器坏(糸切り)が1枚、土師器皿(糸切り、板状圧痕あり)が7枚出土している。土師皿径は8.4~8.6cmを測る。

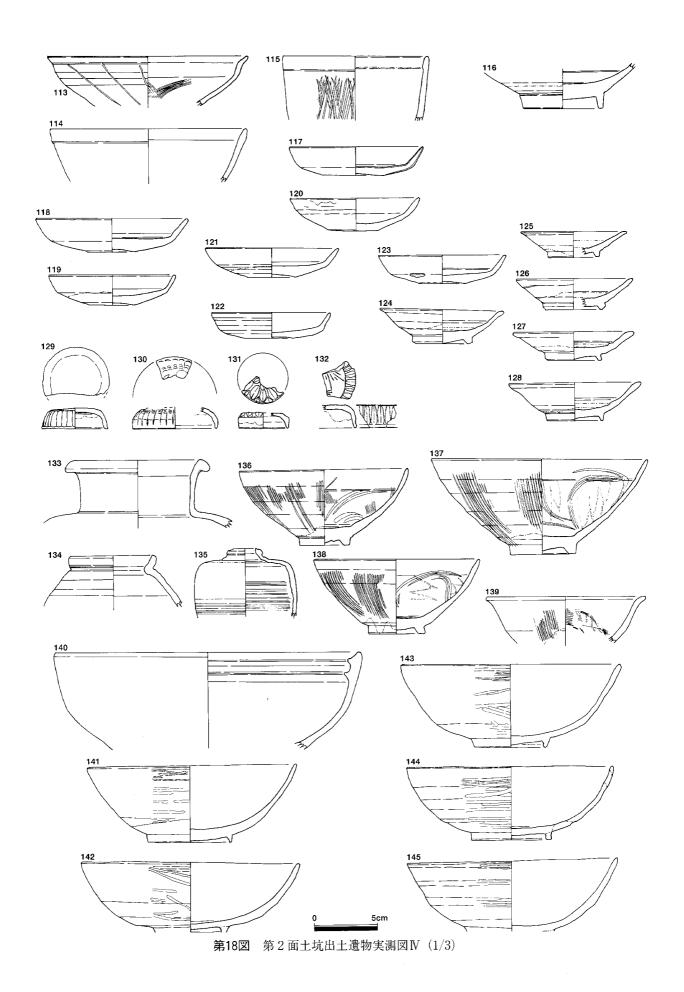
SK0893 (第14図) Ⅲ区北東側に位置する。平面隅丸の長方形で長径114cm、短径103cm、深さ54 cmを測る。断面逆台形を呈す。出土遺物(第20図180~191)。

掘建柱建物

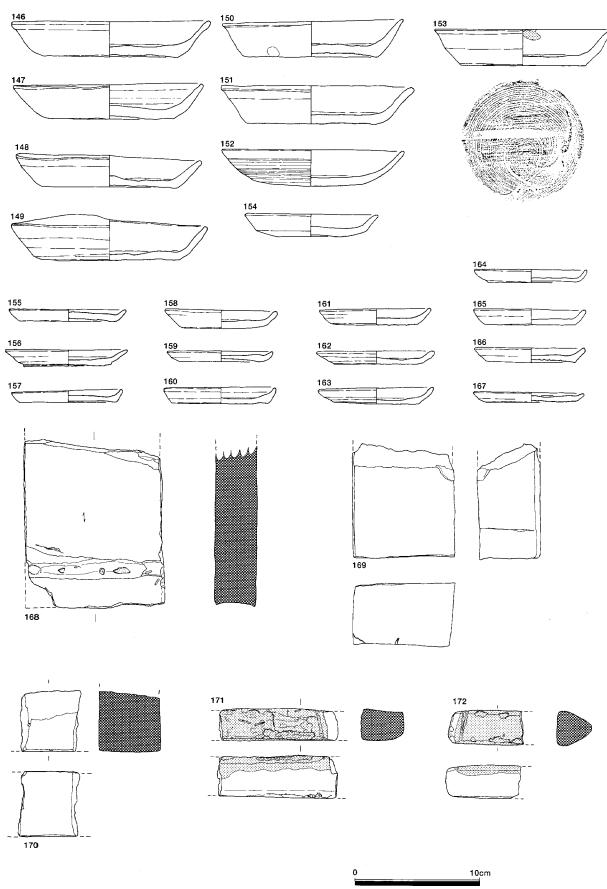
SB001(第5図)皿区の南東端に位置する。4間分確認した。北西側で検出した道路側溝に平行する。径 $40\sim50$ cmの柱穴で床面に10cmほどの礫を敷き詰めて根石としている。柱間は約2mを測る。北西側に続かないため、南東側に延びて建物となると思われる。柵とすれば北西側の道路との境界柵としての役割が想定される。SK0720を切っており13世紀以降であるが、道路が14世紀前半の開通とされており、14世紀まで降る可能性がある。



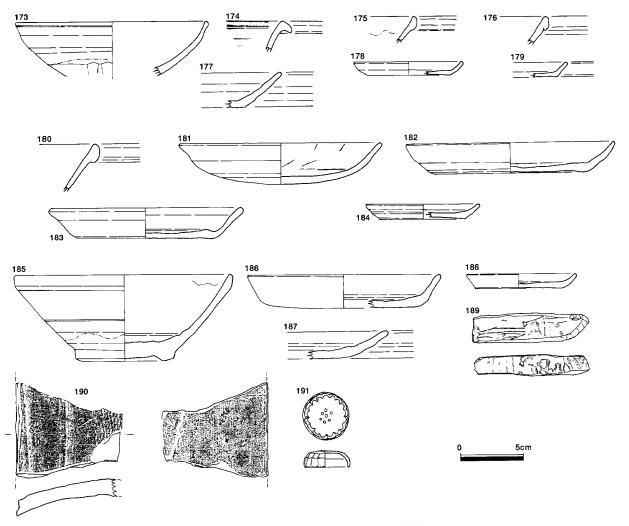
第17図 第2面土坑出土遺物実測図Ⅲ (1/3)



-20-



第19図 第2面土坑出土遺物実測図V (1/3)



第20図 第2面土坑出土遺物実測図VI (1/3)

溝

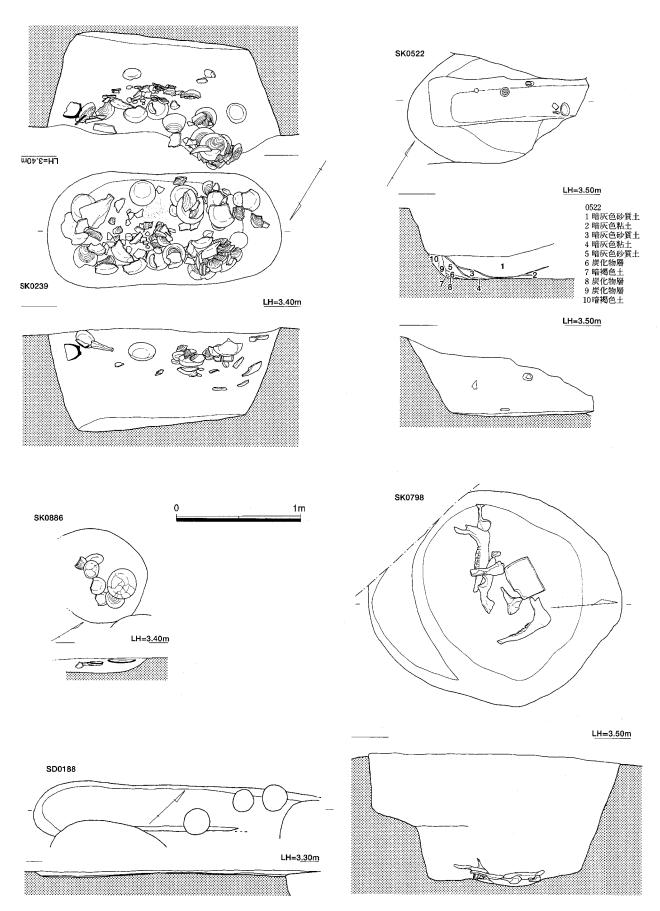
SD0141 (第5図) I区南端で検出した。ほぼ調査区の端に沿う感じで東西方向に延びる溝か段落ちである。深さは東側で43cm、西側で約35cmを測る。

SD0188 (第5図) I 区東側で検出した。1面のSD0126のわずかに北側に位置し、掘り残しの可能性もある。他の溝と同様に道路の側溝であろう。深さ約5cmを測る。

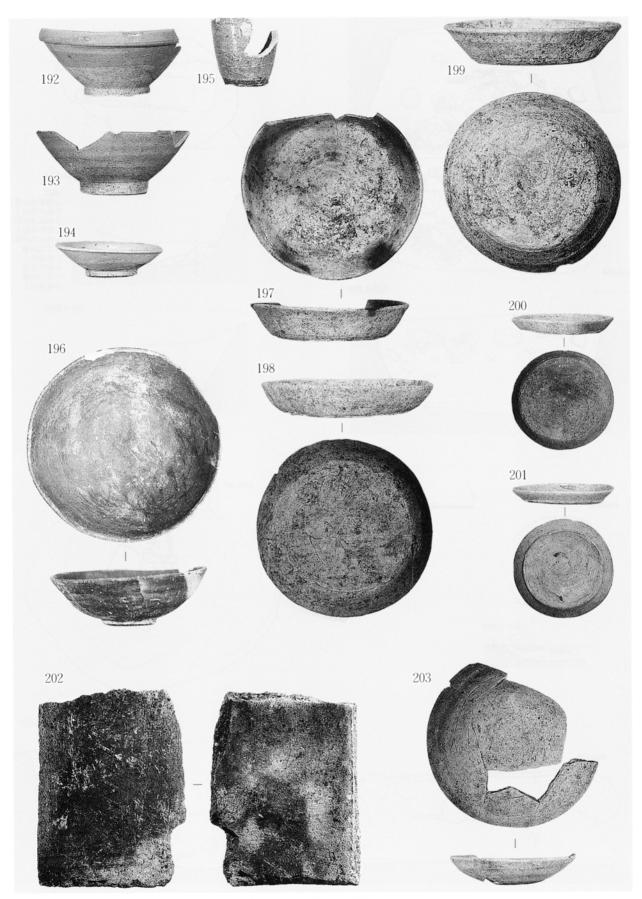
井戸

SE0171 (第23図) I区中央北側に位置する。SD0188を切る。平面はいびつな方形で長径234cm、短径213cm。掘方は底部に向かって緩やかにすぼまる。検出面から150cmで湧水点に達し、その面で方形の井戸枠の痕跡を確認した。遺存状態は悪い。その20cm下で湧水が激しくなり壁が崩壊し始めたため掘り下げを中止した。遺物は多量の白磁碗Ⅳ類と共に白磁皿Ⅵ-1類、土師椀を含む。12世紀代と思われる。

SE0671 (第23図) Ⅱ区東側に位置する。円形を呈し径172cm、検出面からの深さ122cmを測る。検出面から54cmで長方形の井戸枠の痕跡を確認した。現状で長径109cm、短径88cmを測る。井戸枠は土圧でかなり中央側にせり出している。検出面から74cmで径83cmの半球状の痕跡がみられ、これが井筒底と思われる。井戸枠は最下部までは達しておらず、広がりながら底上23cmの高さで止まる。8世紀



第21図 第2面土坑実測図IV (1/30、SD0188は1/40)



第22図 土坑出土遺物図VI

後半の須恵器高台付き坏や土師器甕が出土した。

SEO680 (第23図) Ⅱ区西端に位置する。径260cmを測る。掘り方は擂り鉢状にすぼまる。検出面から200cm掘り下げたところで井筒の掘り方らしきものが見え始めたが湧水による崩壊で掘り下げることはできなかった。遺物は白磁碗 類の他に越州窯青磁片や古墳・古代の遺物も多い。井筒からガラス小玉が出土した。

SEO767 (第23図) Ⅲ区北端に位置し径292cm、深さ144cmを測る。底面から更に120cm、深さ21cmの円形の掘り込みがあり井戸枠痕と思われる。底部の標高が2.35mで現湧水点より90cm以上高い。出土遺物(第24·25図)204~209は白磁碗である。210~212は白磁皿、213は白磁壺である。214は黄褐釉壺で胎土灰色。215・216は瓦器椀で内面全面にミガキを施す。。217~224は土師器坏である。219は内外面とも口縁に煤が付着している。223はヘラ切りで224は指オサエ。225~237は土師皿で235がヘラ切りの他は糸切り板状圧痕がみられる。238は滑石製の石錘、239は滑石製品である。

4. 第3面の調査

1) 第3面検出遺構と出土遺物

土坑

SKO310 (第26図) I区中央北東側に位置する。平面は楕円形で長径184cm、短径約142cm、深さ114cmを測る。断面は逆台形で東側に床面から17cmの深さの掘り込みを持つ。検出面から50cmの高さで礫・土師坏等がまとまって出土した。出土遺物(第27図240~245)。240は白磁碗、241は白磁平底皿である。242は褐釉の鉢で径37.8cm、器高15.2cmを測る。茶褐色を呈し、大粒の白色砂を多量に含む。部と胴部下半に墨書がみられる。243・244はヘラ切りの土師器。245は瓦質の坏もしくは蓋である。内外面とも細かなミガキを施す。

SK0333(第26図) I 区北東端に位置する。東端が調査区外に延びるが現状で長径143cm、短径112 cm、深さ105cm。覆土は炭化物を含む砂質土がレンズ状に堆積する。出土遺物(第27図246~255)。246~248は白磁である。249~251は黄褐釉の盤、254は滑石製品で第36図328と同じくおもりであると思われる。

SK0378 (第26図) I 区南東側に位置する。平面楕円形で長径180cm、深さ42cmを測る。白磁碗Ⅳ 類黄褐釉盤、土師器坏・皿(糸切り)が出土している。12世紀前半か。

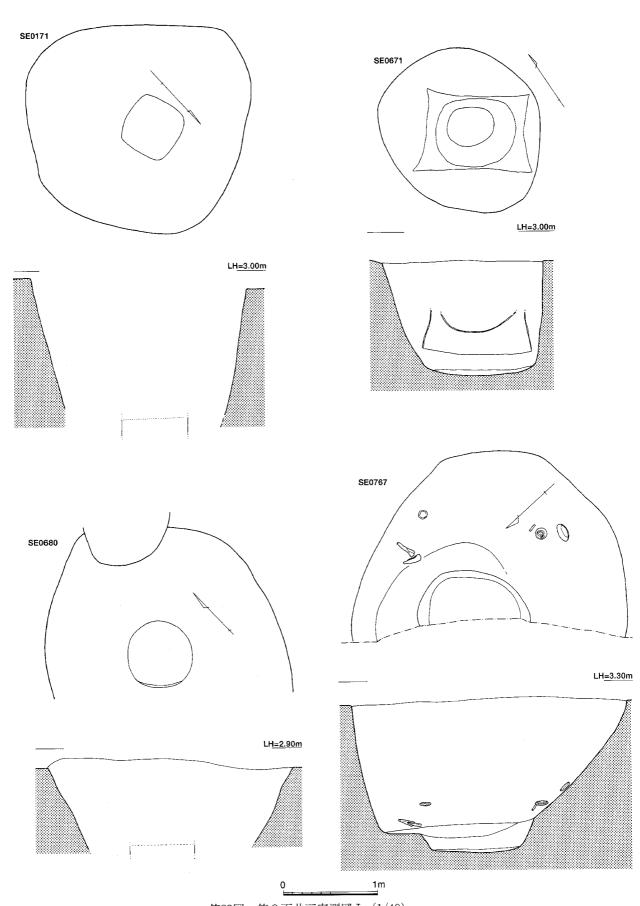
SK0456 (第26図) I区北端に位置する。SD0455を切る。北側が調査区外に延びるが現状で径112cm、深さ114cmを測る。覆土は暗褐色砂質土と黄褐色砂の互層である。一部炭化物を含んでいる。主に東側からの流れ込みである。

SK0478 (第26図) SK456に切られる。南側が調査区外に延びるが現状で252cm、深さ52cmを測る。出土遺物には陶磁器類はなく、土師器椀高台部小片、緑釉細片、土師器坏片(糸切り)、のほか8世紀後半の須恵器高台付き坏や須恵器大甕片が出土している。

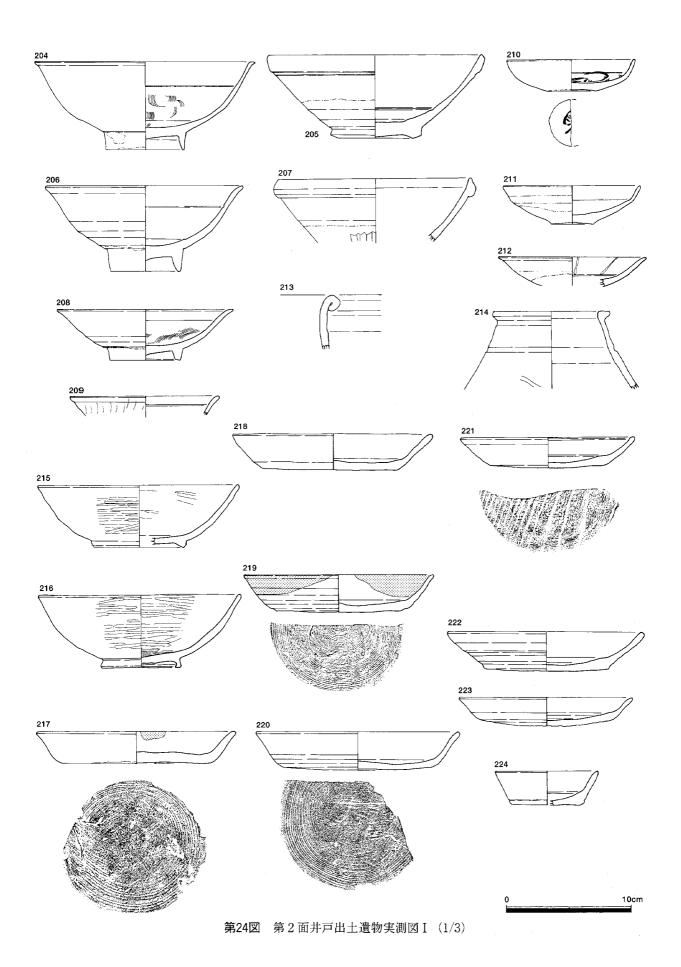
SK0703 (第26図) II 区西端に位置する。 SE0702 に切られる。平面楕円形で径106cm、深さ現状で61cmを測る。断面は逆台形を呈す。 覆土は暗灰色土を主とし、間に薄い炭化物層をレンズ状に含む。 須恵質瓦片や白磁碗 IV -1 類、土師器坏・皿(ヘラ切り)が出土した。

SK0705 (第26図) Ⅱ区西側に位置する。北側は削平されているが現状で径154cm、深さ45cmを測る。断面は浅皿状を呈す。出土遺物(第27図256~260)。256~258は白磁碗、259は黒釉盤、260は土師器坏である。

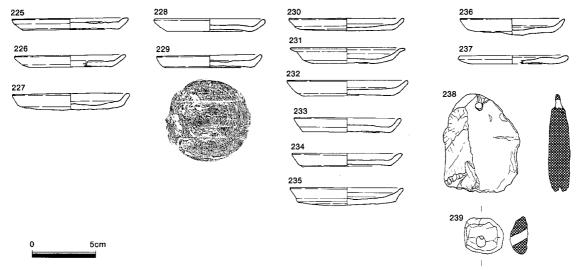
SK0865 (第12図) Ⅲ区北西端に位置する。平面は卵型で長径193cm、短径142cm、深さ109cm。覆



第23図 第2面井戸実測図 I (1/40)



-27-



第25図 第2面井戸出土遺物実測図Ⅱ (1/3)

土中から白磁碗片と共にウシ下顎骨片やシカの指骨・橈骨片が出土している。シカの指骨は基節骨・中節骨・末節骨が連結しており、この場で解体され捨てられたものである。出土遺物は白磁碗 $\mathbb{N}-1$ 類、 \mathbb{M} 類土師器坏・ \mathbb{M} (糸切り、ヘラ切り)である。

SK0988(第12図)Ⅲ区中央に位置する。平面は隅丸長方形を呈し長径103cm、短径93cm、深さ92cmを測る。断面逆台形を呈す。白磁碗Ⅳ-1類、土師器坏・皿(ヘラ切り)、竈片、須恵器長頸壺、瓦器椀が出土している。

SK0996 (第12図) Ⅲ区の北側に位置する。SE0867に切られる。円形で径136cm、深さ103 cmを測る。白磁碗Ⅷ-2・Ⅳ-1類、土師器坏(ヘラ切り)が出土。

SK1124(第26図)Ⅲ区南東側に位置する。SE0969に切られる。径50cm深さ14cmを測る。断面擂り鉢状を呈す。鉄製の銜が出土した(第36図)。時期不明。

溝

SD0455(第6図) I区東側に位置する。幅約90cm、深さ最大で43cmを測る。現在の町割りに平行する。ただし現場は東側に向かって傾斜しており、等高線に沿っている可能性も考えられる。8世紀後半の須恵器高台付き坏、黒色土器A、土師器皿(ヘラ切り)、緑釉片含む。

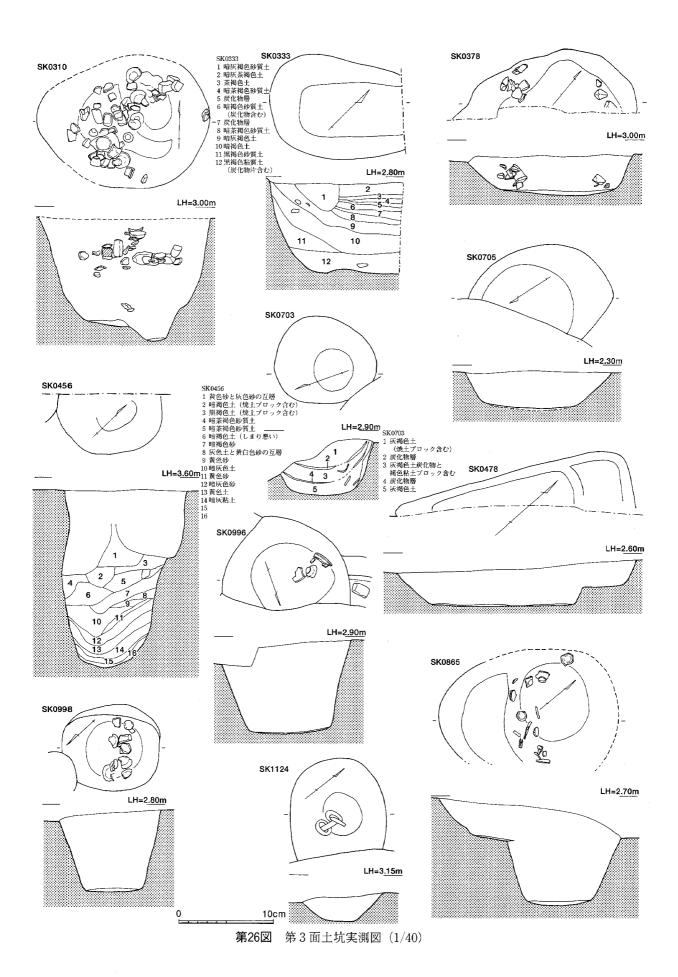
SD0488(第6図) I区北東端に位置する。北東に向かって低くなっており、溝ではなく浅い段落ちの可能性もある。白磁四耳壺(12C前)、横褐釉盤、土師器坏(ヘラ切り)、の他に8世紀後半の須恵器高台付き坏、高坏などが出土している。

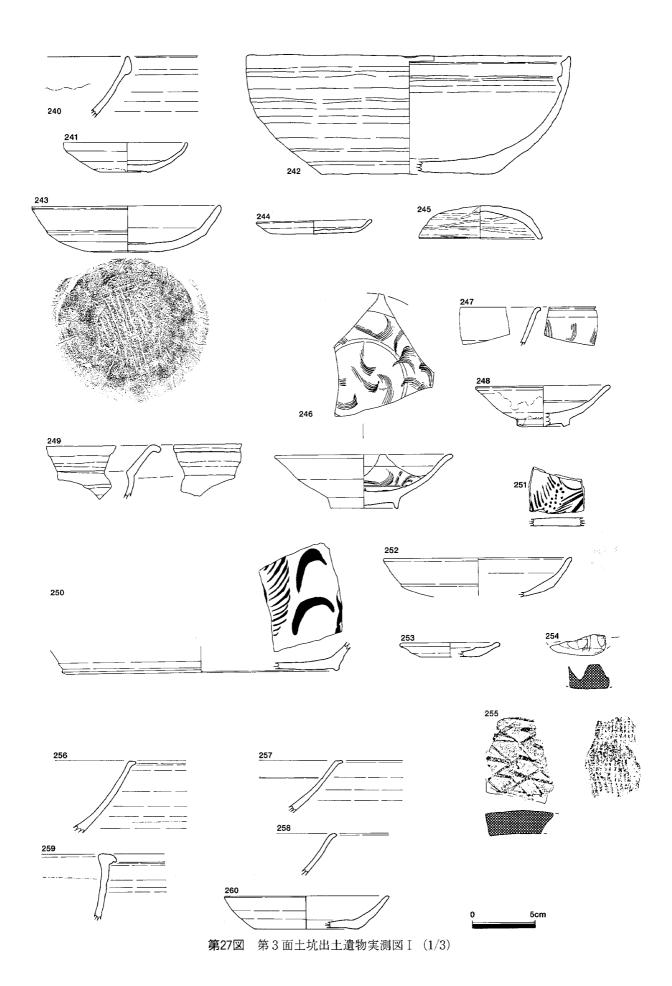
SD0670 (第5図) Ⅱ区中央に位置する。土師器皿、椀、甑取手が出土している。

SD0933 (第6図) Ⅲ区南側で検出した。現在の地割りに平行する。幅50cm、深さ40cmを測る。 北側の85次調査では調査区外にあたるため、確認されていない。SD0455やSD0999と平行 す。12世紀前後の町割りか屋敷を巡る溝などの可能性が考えれられる。

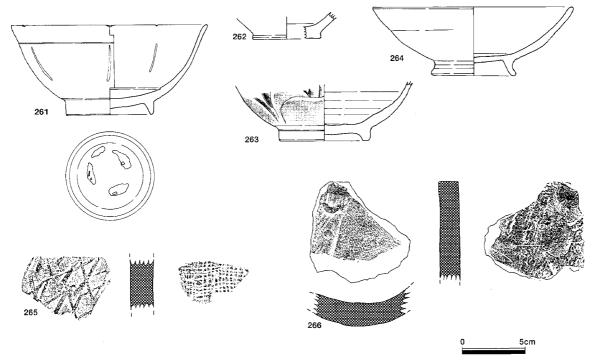
SD0999(第6図) Ⅲ区中央部に位置する。幅約180cm、深さ90cmを測る。断面は逆台形。SD0933と同様85次調査でも確認されている。出土遺物(第28図261~266)。261·262は越州窯系青磁碗。263は耀州窯系青磁碗で外面に蓮弁の模様がある。釉は外面が薄緑色で内面は黄褐色、胎土は灰白色できめ細かい。畳付きは釉掻き落とし。265·266は平瓦。265は土師質で斜格子のタタキと粗い布目の圧痕がみられる。266は須恵質で布目の圧痕がみられる。

SD1144(第6図)SD0933の東側に平行する。遺構の切り合いが激しいので平面では確認





-30-



第28図 第3面土坑出土遺物実測図Ⅱ (1/3)

できなかったが、調査区南端の土層で確認した。北端の土層では井戸のため確認できなかったが、他の溝と同様に北東側に延びるものと思われる。北側の85次調査区でも確認されている。(出土遺物第29図)。267~270は白磁碗である。271は白磁平底皿、272·273は褐釉盤である。283は土師坏の外底部に墨書がみられる。銘文は天筆とみられる。天に右側にも薄く墨痕があるがきわめて薄い。284~287は須恵質の平瓦片である。284は布目の圧痕とタタキで両面とも上からナデを施す。285は粗い布目の圧痕である、286は格子タタキと布目圧痕である。厚さ1.8cmを測る。287は粗い格子目のタタキと細かな布目の圧痕がみられる。

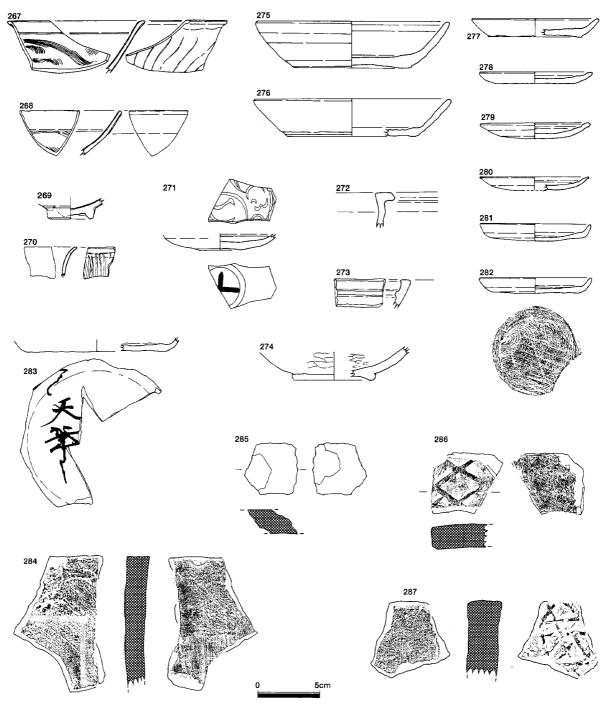
井戸

SE0311 (第30図) I区中央南側に位置する。径236cm、深さ138cmを測る。南西側に底面から僅かに高い段を持つ。中央が一段円形に低いのは木枠を据えた痕跡と思われる。底面標高1.6mを測る。遺物は少なく土師器甕片が出土している。

SEO 429 (第30図) I 区東端に位置する。SKO137に切られる。径213cmを測る。検出面から120cmで円形の木枠を確認した。検出面から150cmで湧水が激しくなりそれ以上の掘り下げはできなかった。出土遺物(第33図288~296)。288~292は白磁碗である。293は土師椀、294は土師器皿、295は青磁壺である。口径8.3cmを測る。釉はオリーブ色で薄く不透明、氷裂はみられない。胎土は灰色で白い斑点が多く見られる。296は白磁壺片である。

SEO481(第30図)SE0429に切られる。径224cmを測る。検出面から113cmで木枠を確認した。木枠は2重になっており、外側が1辺115cmの方形、内側が径85cmの円形を呈す。外側の木枠は検出面から137cmまで。下端部は1辺3cmほどの角材で補強している、内側の木枠は検出面から172cmの深さまで確認したが、湧水のためそれ以上の掘り下げはできなかった。土師器坏(糸切り)、須恵器高台付き坏が出土した。

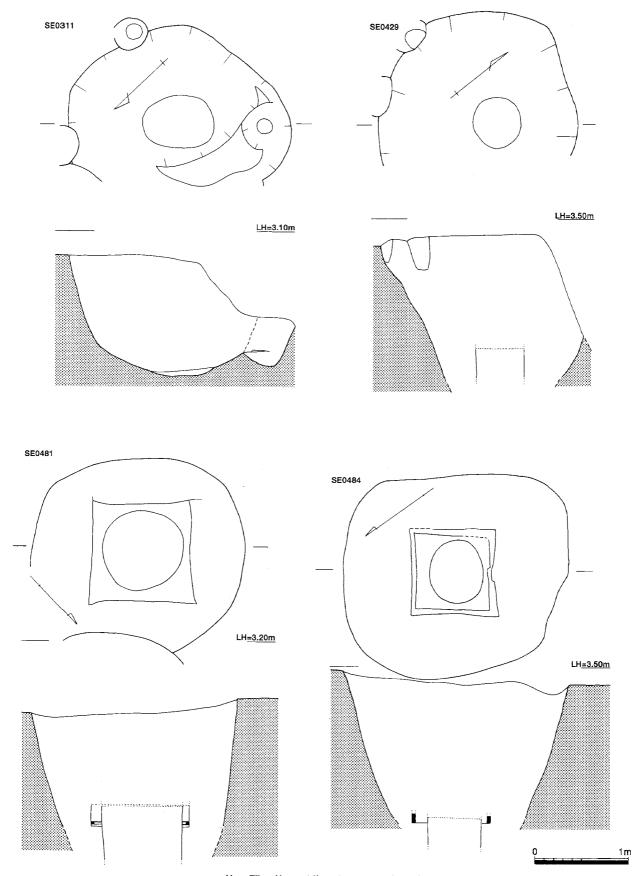
SE0484 (第30図) I 区の西側に位置する。SE0485を切る。平面は隅丸の長方形で長径239cm、短径211cmを測る。検出面から157cmの深さで木枠を確認した。木枠は2重になっており外面は1



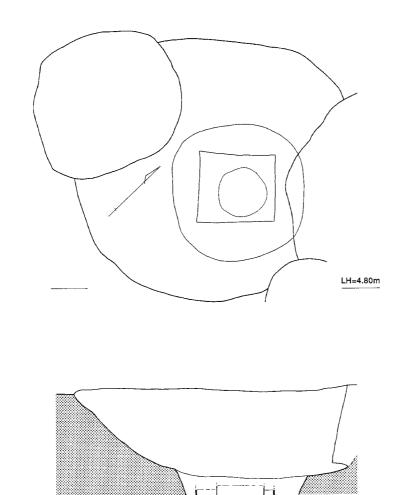
第29図 第3面土坑出土遺物実測図Ⅲ (1/3)

辺92cmの方形。板材の厚さは5cmから厚いところでは10cmを測る。南側中央の一部が内側に突き出す。 内側は径55~72cmの楕円形を呈す。外側の枠は検出面から165cmの深さで無くなり、内枠は188cmまで 確認したが、湧水が激しくなり掘り上げることはできなかった。遺物は陶磁器は少なくヘラ切りの土 師器坏と皿が出土している。胎土、焼成共に良好である。

SE0485 (第31図) I 区中央西側に位置する。径423cmを測る。深さ143cmまで半球状に掘り下げ、そこから径210cmの隅丸方形状の竪穴を掘り下げている。検出面から160cmで井戸枠を確認した。井戸枠は2重になっており、外枠は1辺120cmの方形、内枠は径78cmの円形を呈す。外枠は検出面から180cmの深さでなくなる。その時点で湧水が激しく、それ以上の掘り下げはできなかった。出土遺物は8世紀後半の須恵器高台付き坏や坏蓋が多く出土、竈片もある。白磁碗V-3類が1点のみ出土してい



第30図 第3面井戸実測図 [(1/40)



第31図 第3面井戸実測図Ⅱ (1/60)

る。紛れ込みか。

SE0697 (第32図) Ⅱ区 北東隅に位置する。平面楕円 形を呈す。南側が円形に一段 深くなっており、井戸枠を据 えた痕跡と思われる。土師器 椀 (9~10世紀) が出土。

S E 0 7 0 1 (第32図) Ⅱ区 西端に位置する。平面円形で 径283cmを測る。掘り方は底 に向かって急激にすぼまる。 検出面から85cmで井戸枠を検 出した。井戸枠は2重になっ ており、外枠は1辺が110~ 125cmの長方形、内枠は1辺 が67~85cmの長方形を呈す。 いずれも土圧のため、木枠が 内側にせり出している。検出 面から95cmまで掘り下げたが 湧水が激しくなったため、そ れ以上の掘り下げはできな かった。出土遺物に陶磁器は 含まれない。8世紀後半の須

恵器高台付き坏、坏蓋、須恵器大甕片、須恵器鉢、瓦の他に土師質の土錘を含む。古代か。

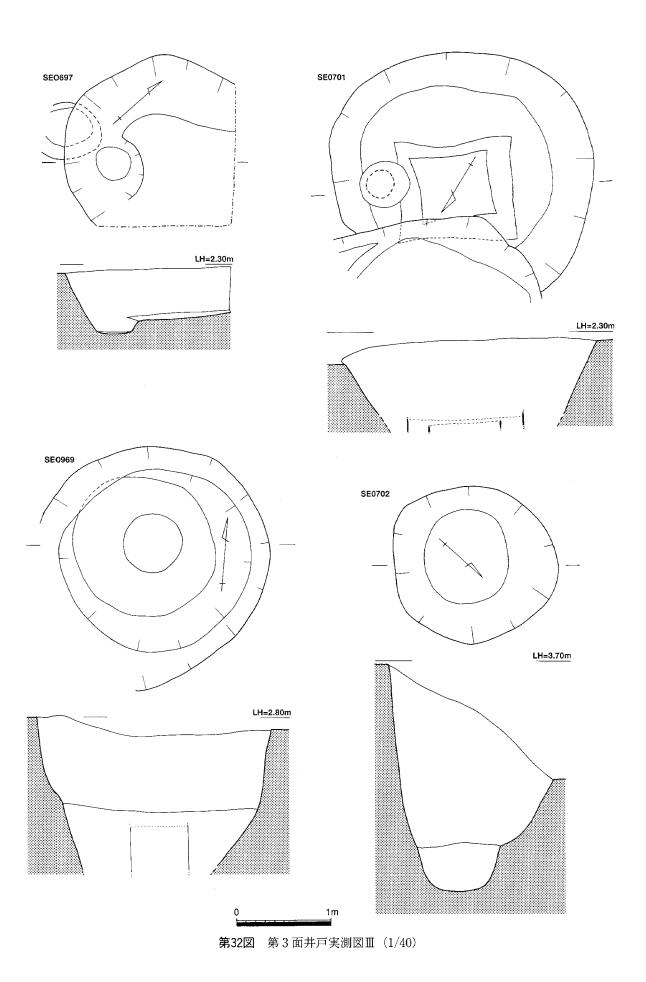
SE0702(第32図) II 区と II 区の境界である。平面は円形で径175cm、深さ241cmを測る。底から約50cmの高さで掘り方に段がつく。出土遺物は白磁碗 IV-1 類が多く出土。土師器類は少ない。近世の染め付けも少量出土するが紛れ込みか。

SE0969 (第32図) Ⅲ区南東端に位置する。径約260cmの円形を呈す。検出面から126cmで円形の木枠痕を確認した。深さ160cmまで掘り下げたが湧水のためそれ以上掘り下げることはできなかった。出土遺物(第33図297~303)。297は白磁碗で表面に煤が付着、298は白磁平底皿、299は須恵器高台付き坏である。301は土師器甕、302·303は須恵質の平瓦で302は縄目のタタキと布目圧痕、303は格子目のタタキと布目圧痕である。

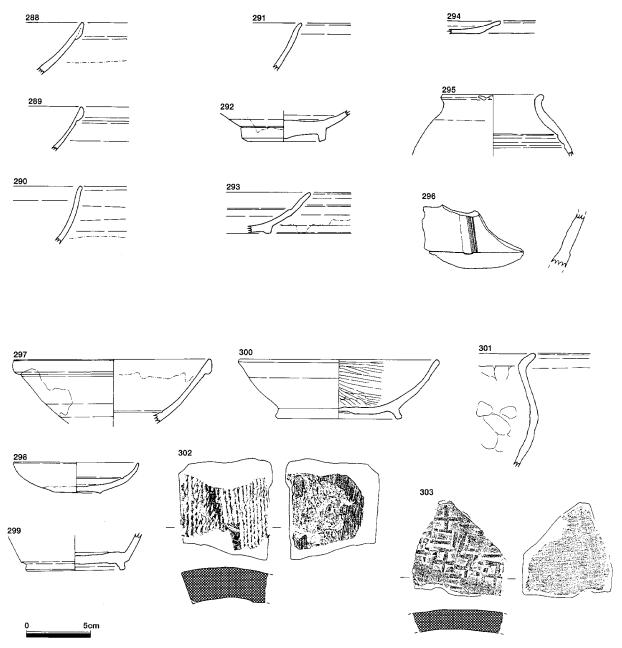
5. 中世以前の出土遺物

北側に隣接する85次調査では8世紀中頃の竪穴式住居など古代の遺構が確認されている。本調査区では古代(8世紀末~9世紀初頭)の遺物しか含まない井戸もあるが実際に9世紀まで遡ると断定はできず確実な9世紀の遺構はない。しかし遺物は後世の遺構の中から多く出土している。304・305は須恵器高台付坏である。306は須恵器坏蓋である。器種としては須恵器高台付き坏や坏蓋、須恵器鉢、須恵器大甕、土師器甕、竈片などが多く長頸壺の破片は少ない。

307~309は古墳時代初期の遺物である。この時期も遺構は確認できなかったが遺物は多い。



-35-



第33図 第3面井戸出土遺物実測図 I (1/3)

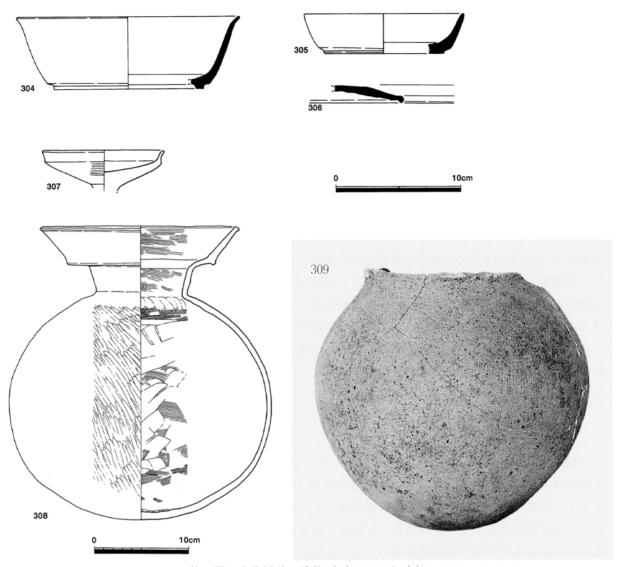
307は土師器器台の坏部である。胎土は橙色を呈す。308は2重口縁壺である。口径21.2cm、器高30.3 cmを測る。外面は口縁から頸部がナデ、胴部がハケ後ミガキ、内面がハケ後胴部はナデを施す。胴部は球形でわずかに上下に潰れている。器壁は全体的に5mm前後を測る。調査区の西端、地山である黄褐色砂の直上で検出した。周辺は暗茶褐色砂質土がわずかに窪みに堆積しており方形周溝墓の溝ではないかと精査したが確認できなかった。他にも古墳時代前期の遺物は調査区全体で出土しているが大きな破片や確実な遺構は確認できなかった。309は土師甕の胴部である。

6. 鋳造関連遺物

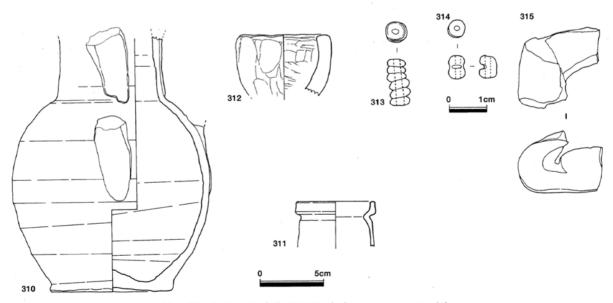
310・311は坩堝として使用されている。310は中国製茶褐釉陶器壺である。口縁から頸部上半を欠く。 底径10cm、最大胴径15.6cmを測る。釉は熱のため消失し、内外面とも頸部上半のみに残っているのみ で、外面胴部には白色の粉状で斑に付着している。胎土は赤褐色を呈し、白色砂をわずかに含む。外 面は青灰色を呈すが熱のため酸化還元したものであろう。調整は粗い回転ヘラ削りである。胴部上半 から頸部に取っ手を貼り付ける。表面には劣化した釉の他にガラスがわずかに付着する。内面には青 緑色のガラスが厚く付着する。特に底部から肩部の一部は1㎜以上の厚さで付着しており、横にして 注ぐ途中で固まったものである。また、ガラスの厚い部分は取手の反対側ではないのでガラスを鋳型 に注ぐ時には取っ手を利用せず、何かで挟んで注いでいる。付着したガラスはカリウム鉛ガラスであ る。311は口縁のみ残存している。復元口径6.3cmを測る。0887から出土した。胎土は暗灰色を呈し白 色砂を多く含む。外面は黒褐色で釉の痕跡は見られない。内面には薄くガラスが付着しているが劣化 のため白色を呈す。312は坩堝である。底部を欠く。復元口径7.2cmを測る。外面は指ナデ、内面はへ ラナデを施す。胎土は白色を呈す。外面は酸化還元のためわずかに青灰色を呈す。内面に付着物はな く蛍光X線を使用した分析でも何も検出できなかった。313・314はガラス小玉未製品である(写真は 巻頭カラー)。313はSK0128から出土した。連結したままの未製品で径5㎜、長さ1.3cmを測る。深緑 色で透明度が高い。円形の気泡を多く含む。314はSK0144から出土した。313と同色であるが表面が 研磨されてなく、不透明である。円形の気泡を多く含む。315はガラス片である。310の内面付着のガ ラスと同色である。円形の気泡を多く含む。不透明である。ガラス原料か。この他にもガラスが付着 した坩堝片が小玉は多く出土している。ガラス関連以外には鍋鋳型が出土している。細片で表面の化 粧土も剥落しているが隣接する85次調査で出土した片口鍋鋳型と類似している。また、中世後半から 近世にかけての土坑から多量の鋳造鉄滓が出土した。

7. その他の出土遺物

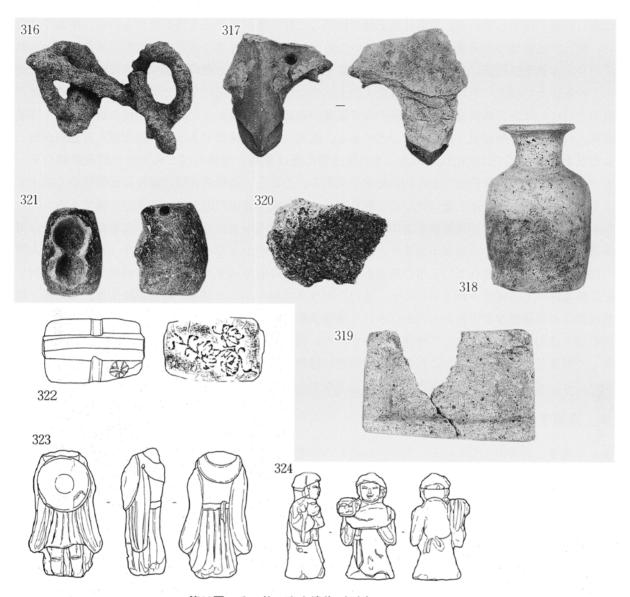
316は鉄製の轡である。第3面のSK1124から出土した。径9.5cmの鉄輪を鏡板として使用している。 土器を伴わないため時期は不明であるが8世紀末まで遡る可能性がある。317は0677の出土。人面で 鼻先から眉まで残っているが上端は端部が残っているので頭は存在しない。胎土は灰色で砂は含まな い。表面は暗灰色を呈す。鼻筋はとても明確で鼻先まではカーブしながら伸び、小鼻は膨らまず溝に よって表現されている。鼻の穴もあいており、径2cm、奥行き3cmを測る。目はかなり盛り上がって り、誇張されている。欠損しているが上瞼に縦方向の溝があり装飾が為されている。また、瞼の上端 に穿孔あり。瞼の中は暗灰色化しておらず、眼球がついていた可能性がある。背面は平面を呈し、平 らなものに貼り付けた痕跡がみられる。鬼瓦が正面を向くのに対し、やや左側を向くため、別の装飾 品であると可能性もある。318は柱穴状遺構から出土した壺である。完形で出土した。口径9㎝、底 径11.3cm。器高19.8cmを測る。素焼きで外面淡橙色を呈す。胎土は細かく砂を含まない。調整は全体 に粗い横ナデを施す。319は滑石製の硯である。縦5.9cm、幅3.8cm、高さ1cmを測る。表面に墨は付着 していない。硯は全部で3点出土しており、0766から出土したものは約1/2を欠くが幅8㎝の赤褐色 の砂岩製で全体にきめ細かな調整を施しており、上面に墨が付着している。320は炭化米である。 0969から出土した。米粒はびっしり詰まっているが雑然とではなく、ある程度の方向性をもって並ん でいる。米粒の間に植物質の痕跡がみられることから籾殻がついた状態で穂ごと詰められていたもの と思われる。321は滑石製の重りである。高さ4.4cm、幅3.4cm、厚さ3.1cm、重さ61gを測る。胴部を 2ヶ所円形に抉っているのは重量の調整の為か。上端に穿孔があり、吊して使用したと思われる。表 面は粗く研磨されている。322は滑石製のスタンプである。石鍋からの再利用品であるスタンプ面は 横4.9cm、縦3.1cmを測り、草花文が陽刻されている。背面には長辺方向に石鍋取手を利用した断面台形 の取手がつくが、その中央部に穿孔があるため紐をとおして吊り下げていたと思われる。背面に花文 がある。323·324は土製の人形である。323は頭部を欠くが現状で高さ5cmを測る。袖の長い上着を着



第34図 古代以前の遺物(1/3、308は1/4)



第35図 製造関連遺物実測図 (1/3、313~315は1/1)



第36図 その他の出土遺物 (2/3)

て下は襞が多く入った袴を履いている。裾は前後で長さが違って前が短く、足に脚絆をつけているのが見える。手は胸の高さで笠を持ち、背中には布で包んだ荷を背負っている。旅装の僧侶か。324は高さ4.2cmを測る。右肩に小さな獅子の頭を担いだ獅子舞である。頭には頭巾をかぶり裾の長い着物を左前に着込んで腰のところで結ぶ。胸に前掛けをつける。顔は丸顔で目は半開き、唇は厚い。笑っているようにも見えるが、人間よりも地蔵菩薩に似た印象を受ける。獅子の顔は小さくかぶることはできない。頭頂部から後ろに太い髪が5条垂れている。この他に土製品の鋳型片が数点出土しているが、ほとんど何の鋳型なのか不明である。1点人形の腹部と思われる破片があるが浴衣状のものを着込んでおり、高さは20cm以上になると思われる大型の人形である。

8. 小結

本調査区は博多浜の北西端に位置する。南側約150mの22次調査では弥生時代の遺構が確認されているが、本調査区周辺では確認されておらず、本調査区内でも遺構・遺物とも確認できなかった。本調査区で最も古い遺物は古墳時代初頭の土師器である。器種は小型丸底壺などの破片の他にほぼ完形の

二重口縁壺が出土している。遺構は最下層で検出した柱穴群がその可能性を持つものの、確実ではな い。竪穴式住居等の生活遺構も確認できていないが、東側の大博通り近辺では方形周溝墓が検出され ており、本調査区周辺にも存在した可能性は高く、二重口縁壺も方形周溝墓に伴う可能性があると考 えている。その後5~7世紀の遺物は全く出土していない。8世紀になると85次調査で竪穴式住居が 検出されているが、本調査区では遺物のみで遺構の確認はできなかった。8世紀代の遺物は坏・坏蓋、 高坏、長頸壺、土師器甕、移動式竈などである。確実に遺構が確認できるのは越州窯系青磁碗か出土 したSD0999などで11世紀代である。その後遺構の数は急増し遺構のほとんどは白磁碗Ⅳ類やV-1・2類等を含む11世紀後半から13世紀前半である。しかし、越州窯青磁の破片は比較的多く出土す るものの、青磁全体の出土量は少なく、龍泉窯系・同安窯系青磁の出土量は非常に少量である。これ らから11世紀後半から13世紀前半までがひとつのピークであったと考えられる。この原因としては博 多遺跡郡内でも沖浜への進出が始まり、以後沖浜が集落の中心となっていくことや、根石をもつ大型 の掘建柱建物が建設されている事から何らかの屋敷地内に取り込まれた可能性や調査区の一部が14世 紀以降道路として使用されていたこと、また、ガラス坩堝や小玉未製品、鋳造鍋鋳型片、骨角器、鋳 造鉄滓、人形鋳型など中世から近世にかけて多種多様の生産関連遺物が出土することから、長い間工 房が建ち並んだ生産拠点として発達したことから、輸入陶磁器や国産陶器が出土するような遺構が減 少した可能性が考えられる。これらの大型掘建柱建物や生産工房、道路の同時性やそれぞれの関連に ついては、周辺のこれからの調査結果を取込みながら検討していかなければならない。

9. 墨書土器

多くの墨書土器が出土している。気がついたものを表にしたが、まだ見逃しているものも少なからず あると思われる。墨書の読解には財団法人日本習字教育財団の石原渉氏と宮崎秀公氏から多大な御教 示を得た。107点の墨書土器のうち白磁碗が65点、白磁皿が23点、白磁(?)壺3点、青磁碗6点、青 磁皿1点、黒釉碗2点、瓦器椀1点、土師坏・皿7点を数える。このうち383の土師皿の表側は筆置と して使用されたと思われ、表面が墨で汚れているものの、文字は書かれていない。その他表に載せて いないが、外底部を墨で塗りつぶした白磁皿も1点出土している。破損しているものや花押が多いた め銘文の内容が判明したものは少ないが、現時点で「下」(8点)、が最も多く見られ、「市丸」(6点) がそれに続く。この銘文は2点の土器で併記されている。その他「館司」、「関(カ)司」のような役 職を現していると思われるものも出土している。「一郎」「國吉」のような日本人名は2点のみで後は 「許」・「柳」・「王」・「陳」・「金(カ)」など中国人名である。395の「こめ」の様に内容物を書いたも のなど銘文内容は多岐にわたる。土師器に書かれた墨書は陶磁器と違い3文字以上続く場合が多く中 には祭祀に使用された可能性があるものもある。391は径15.5㎝、高さ2.6㎝の土師坏であるが底部一 杯に墨書を施している。まず「俻」に似た字を何度か書いたのち、逆さまにして花押等を重ね書きし ている。祭祀関連か。400は漢字で「天筆□□」(文字数は3文字以上) と書かれており、414は平仮名 で3文字以上書かれている。343は人面土器であるが、複数個体の破片が存在する。また墨書土器で はないが431は青磁皿のⅠ類で、外底部に線刻を施している。銘文は不明である。

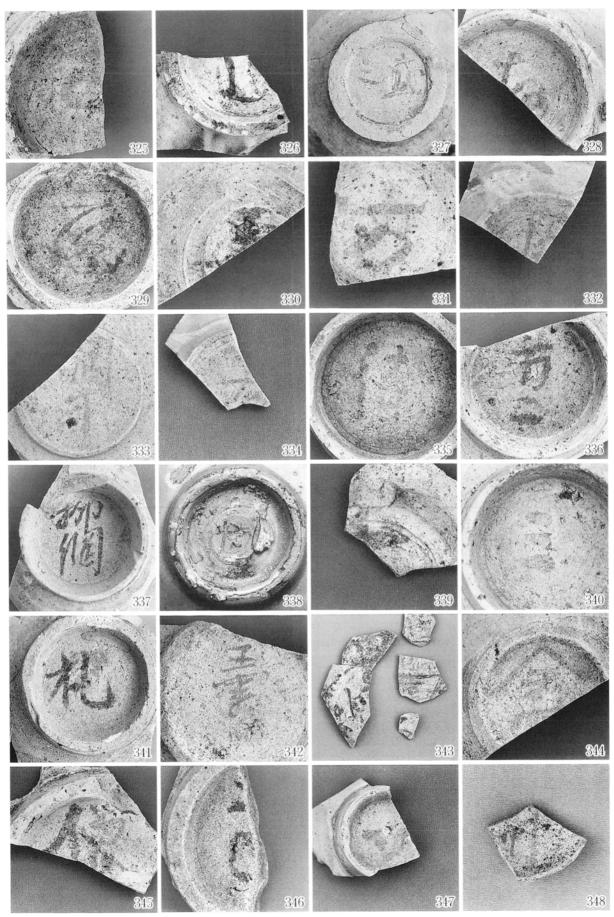
10. 骨角器

第42図433・434は簪である。 2 点とも基部が欠損しているが現状で433は長さ9.1cm、幅1.3cm、厚さ2.5 mmを測る。表面には中足骨の縦溝を利用した溝があり、これに直交するこまかなキズが多数みられる。 先端部に鹿角表面の窪みに由来すると思われる浅い窪みがあり、鹿角製の未製品と思われる。第1層 出土。434は長さ10.8cm。幅1.05cm、厚さ3.5cmを測る。0866出土。435は0242から出土した。現状で長さ6.7cm、幅6mm、厚さ4.5cmを測る。断面は丸みを帯びた蒲鉾状である。図下側先端は熱をうけ黒色化しているが、長軸に対しやや斜めに傾むき一部に研磨痕がみられる。形は縄文時代の小型ヤスに似ていると思われるが、簪か擬似針の一種であろうか。12世紀後半か。436は0865から出土した鹿角製の弭である。土圧で基部が潰れているが現状で基部の長径2.6cm、短径2cmで高さ8.2cmを測る。全体が緩やかに彎曲しており先端に向かって細くなる。先端から2.5cmの所に弦を掛けるための段がつく。13世紀前半か。同じく博多遺跡群の地下鉄呉服町C区出入り口調査地点出土の弭とほぼ同型である(第43図437・438)。437は基部長径2.2cm、短径1.7cm、高さ7.7cm、438は基部はほぼ円形で径1.9cm、高さ5.9cmを測る。先端部に長軸に直交方向の擦痕がみられる。437・438ともくびれ部の穴は後からの欠損である。鹿角製の弭とされるものは縄文時代の貝塚から多数出土するものの形が非常に異なり、両端の弭に弦を結びつけるタイプである。弥生時代以降は佐賀県菜畑遺跡で弦の先に輪を作り弭に引っ

遺物	出土遺	銘文	器種	墨書部位
325	0113	不 明	白磁碗帽類	外底部
326	0128	不 期	白磁碗	外底部
327	0128	三蔵(力)	天目茶碗	外底部
328	0137	不明	白磁碗	外底部
329	0137	「花押」	白磁碗	外底部
330	0137	不明	白磁皿VI-1類	外底部
331	0137	方(万)	白磁皿	外底部
332	0137	不 明	白磁皿	外底部
333	0137	■ 問	白磁皿	外底部
334	0137	万	白磁皿個類	外底部
335	0137	待	白磁碗V-4類	外底部
336	0137	万二	白磁碗V-1類	外底部
337	0137	柳綱	白磁小碗	外底部
338	0137	南	青磁碗	外底部
339	0141	不明	上師椀	外底部
340	0141	Ξ.	白磁碗Ⅴ類	外底部
341	0145	礼	白磁碗加類	外底部
342	0143	王書	白磁碗Ⅱ-1類	外底部
343	0148	人面土	土師皿 (糸切り)	
344	0171	余(力)	白磁碗IV-1類	外底部
345	0201	(力)	白磁碗加類	外底部 外底部
346	0239	不明	白磁碗伽類	外底部
347	0303	不明	白磁碗Ⅳ類	外底部
348	0310	三(カ	土師皿	外底部
349	0310	御(脚)伺人	白磁碗VI類か	外底部
350	0310	邪 (カ)・その他	貿易陶磁鉢。類	外底部・側面
351	0311	不明	白磁皿	外底部
352	0311	不明	白磁皿	外底部
353	0333	■ 大	青磁碗	外底部
354	0347	許	器種不 明	坏部下面
355	0387	國吉	白磁碗Ⅲ類	外底部
356	0443	縄	白磁碗	外底部
357	0511	師男 (房)	白磁小碗	外底部
358	0517	— BR	白磁碗V類か	外底部
359	0663	不明	白磁碗V類	外底部
360	0671	Ŧ Î	黒釉小碗	外底部
361	0695	不明	白磁碗Ⅳ−1類	外底部
362	0700	林府(行)	白磁碗	外底部
363	0700	二 (カ)	白磁碗垭類	外底部
364	0715	陳	白磁川VI類	外底部
365	0715	「花 押」	白磁碗	外底部
366	0719	不明	白磁碗	外底部
367	0720	二 (カ)	白磁皿皿類	外底部
368	0720	下	白磁碗V類	外底部
369	0720	īli I	白磁碗Ⅳ-1類	外底部
370	0720	市	白磁碗V-4類	外底部
371	0720	,k	日磁碗V−3類	外底部
372	0720	市丸、下	白磁碗V-3類	外底部
373	0720	市丸	自磁碗Ⅴ-3類	外底部
374	0720	二 (カ)	白磁碗V-3類	外底部
375	0720	下	白磁碗V-4類	外底部
376	0720	阿部 ■	自磁碗V-4類	外底部
377	0720	王 (カ)	白磁碗V-4類	外底部

遺物	出土遺	銘文	器種	墨書部位
379	0720	下	白磁碗	外底部
380	0720	不 明	龍泉窯系青磁碗Ⅰ類	外底部
381	0720	T	白磁碗Ⅴ類	外底部
382	0720	市 丸	白磁碗V類か	外底部
383	0720	「汚れ」	土師皿	内·外底部
384	0720	僧□□用	白磁皿VII類	外底部
385	0738	「花押」	白磁碗Ⅳ類	外底部
386	0766	仁 光	白磁碗Vー1類か	外底部
387	0767	「花押」	白磁碗	外底部
388	0767	「花押」	白磁碗	外底部
389	0767	不 明	白磁皿	外底部
390	0865	不 明	白磁碗	外底部
391	0865	□、「花押」	土師坏	外底部
392	0895	楽 (カ)	白磁碗	外底部
393	0969	不 明	白磁皿	外底部
394	0999	Д.	白磁碗	外底部被熱あり
395	0999	こめ	龍泉窯系青磁碗 I - 1 類	外底部
396	1027	不 明	白磁碗	外底部
397	1027	不 明	白磁碗	外底部
398	1028	不 明	白磁碗V-4類	外底部
399	1029	「花押」	費	胴部
400	1028 · 1128	天筆■■	土師皿	外底部
401	1144	+	白磁皿	外底部
402	1層	河南	白磁壺	外底部
403	1層	「花押!	白磁碗	外底部
404	1層	不明	白磁碗V類	外底部
405	2層	金または余(力)	白磁小碗	外底部
406	2層	不 明	白磁碗Ⅳ類	外底部
407	2層	「花押」	白磁碗	外底部
408	2層	館司	白磁皿	外底部
409	2層	陳 ■	白磁碗V-3類	外底部
410	2層	呉	同安窯系青磁碗Ⅲ類か	外底部
411	2層	■ 網	白磁皿	外底部
412	2 層	不 明	白磁碗	外底部
413	2層	不 明	白磁台付き皿	外底部
414	2層	みかつ・・(平仮名)	土師皿	外底部
415	攪乱	不 明	白磁皿	外底部
416	表採	不 明	白磁皿	外底部
417	表採	不 明	龍泉窯系青磁碗Ⅰ類	外底部
418	表採	不 明	瓦器椀	外底部
419	表採	下	白磁碗Ⅴ類	外底部
420	表採	「花押」	白磁碗Ⅳ-2類	外底部
421	攪乱	不明	白磁碗V類か	外底部·高台部側面
422	攪乱	五	白磁壺	外底部
423	攪乱	綱	白磁小碗	外底部
424	不 明	5	白磁碗Ⅳ-1類	外底部
425	S P 003	上上	白磁碗VII類	外底部
426	0117	卍?	白磁碗Ⅴ類	外底部
427	0117	不 (カ)	白磁碗Ⅳ-1類	外底部
428	0201	不 明	白磁碗Ⅳ-1類	外底部
429		六府(力)	白磁椀Ⅳ-1類	外底部
430	0767	不明	白磁壺	高台側面
431	0720	不明 (■■)	青磁皿Ⅰ類	外底部
432	2層	市丸	白磁碗VII類	外底部

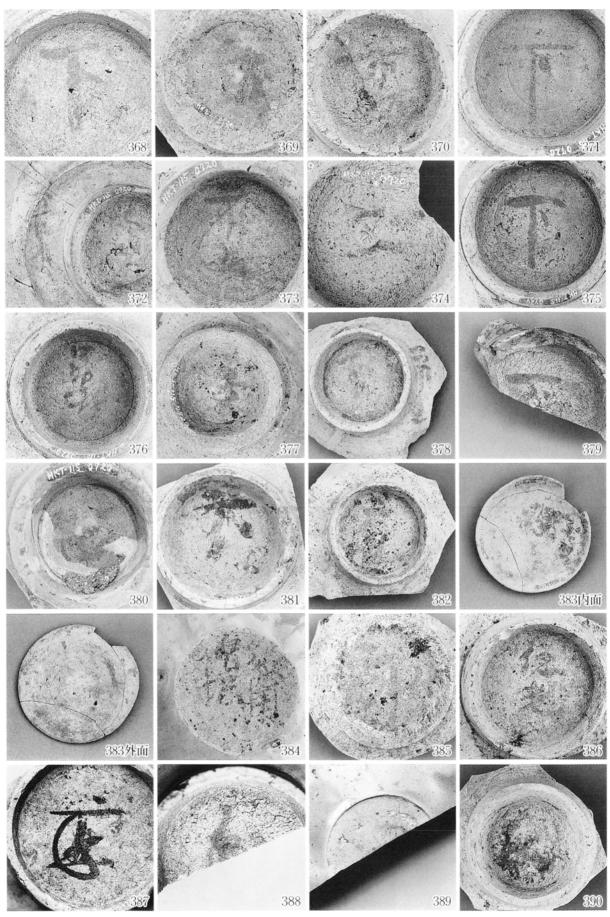
出土墨書土器一覧



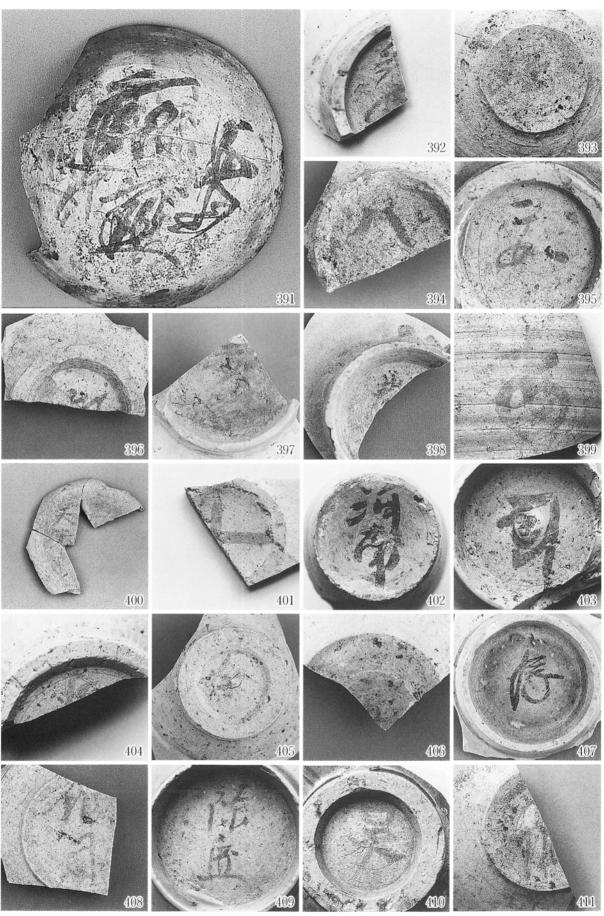
第37図 墨書土器 I



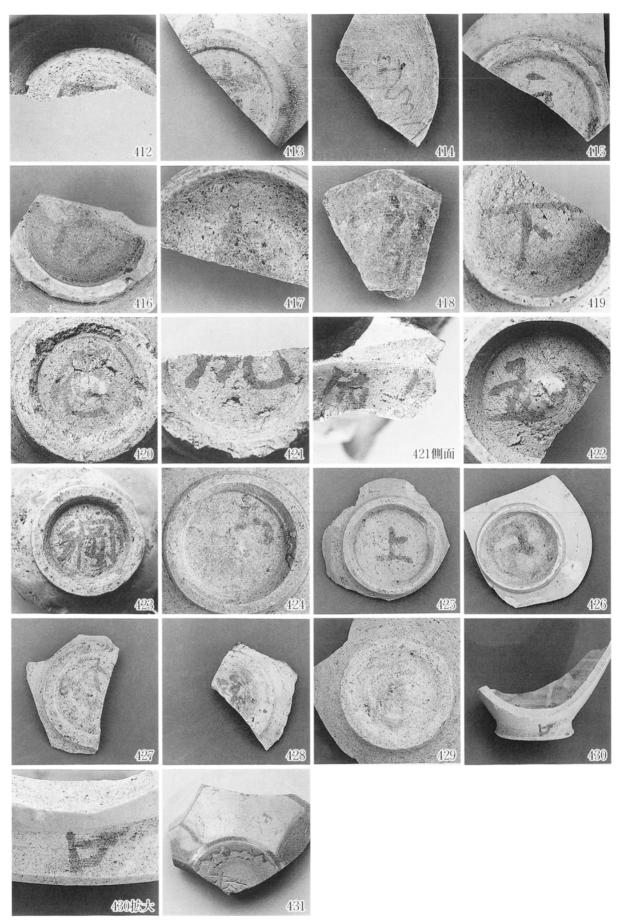
第38図 墨書土器Ⅱ



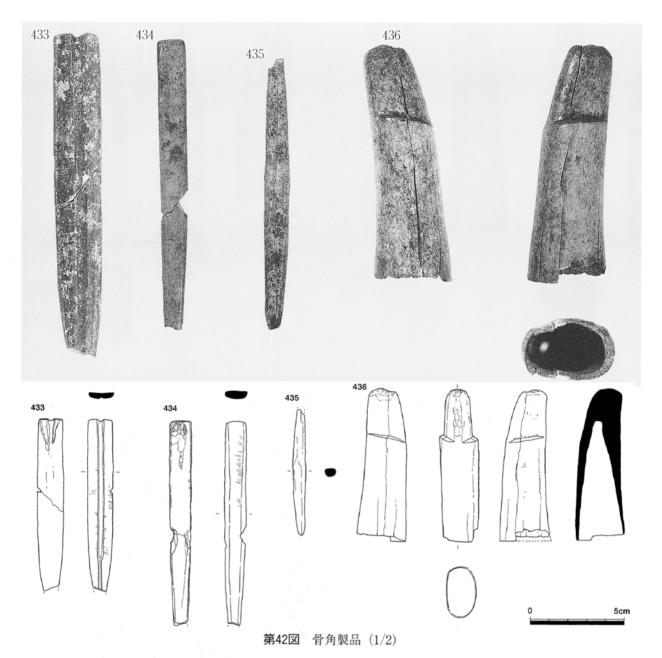
第39図 墨書土器Ⅲ



第40図 墨書土器IV



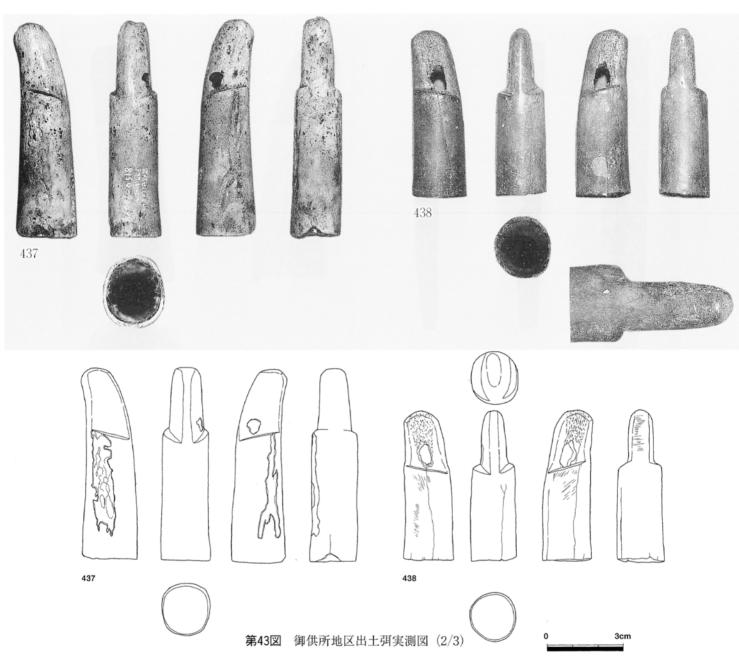
第41図 墨書土器 V



かけるタイプが登場して以来、弓の両端を細く削って弦を掛ける弓は多数出土している。また、そのほとんどは弓本体を削って弭としているが、少数であるが銀製・銅製の弭を被せるものも出土している。

博多遺跡出土の弭は3点とも表面に細かなキズがあるが、このキズは433・434の簪でも見られるため使用時についたキズではなく制作時のキズと考えられる。ちなみに弦が引っ掛かる段の部分にはキズやすり減りはみられない。弦は先に輪を作って弭に引っかけるため輪の径によっては段の部分まで差し込むわけではない。しかし弦の取り外しを繰り返し行えば先端部に弓の長軸方向の擦りキズがつく可能性は高いと思われる。また、3点とも基部の厚みが2mm以下ときわめて薄い。精巧な作りではあるが矢を発射するときの激しい振動に耐えうるのか疑問である。しかし、ほとんどの弭が本体を削ったものであるのに対し、わざわざ鹿角製のはめ込み式を製作するのは装飾の為や儀式用などの可能性が考えられる。

後述するように本調査地点では骨角器製作時の痕跡が出土しており、骨角器製作工房が存在したこと



は確実であり、これらの骨角製品は未製品である可能性が高い。

骨角器材料(第44図) 骨角器製作の材料としてシカ角、シカ中足骨、ウシ角を使用している。 $1 \sim 3$ は雄シカの頭蓋骨片である。大きさからそれぞれ別個体である。 1 と 2 は角の根元にナタによる切断痕がみられる。 3 は左側角座下の部分であるが残りが悪く、切断痕は認められない。 4 は中足骨を左右に切断している。骨角器の材料であろうか。長さ 7 cm、幅 1 cmの平坦な面があるため簪等の原料として使用できる。 $5 \sim 8$ はシカ角の小片で写真 7 の長辺で 1 cm程度の大きさである。 5 に鋸挽きした痕跡がみられる。 $9 \sim 14$ はウシ角芯である。いずれも根元側を鋸で切断している。右側は 13 の切断面拡大図であるが、鋸の引いた痕跡がほとんど見えないぐらい細かな切断痕である。写真以外にも小片が出土しているがほとんど接合しなかったため、角鞘の利用方法は不明である。1007出土。12世紀後半か。他にウシ右前足の手根骨から遠位部出土しており、この場で解体から角鞘の取り外しまで行っている。

11. 動物遺存体

今回の調査地点では遺構検出時の標高が3.7mと高いにも関わらず井戸以外の土坑でも多くの遺存体が比較的良好な形で出土した。時期に関してはほとんどが11世紀後半から14世紀に集中する。資料は篩による選別等はしておらず、肉眼により確認したもののみを取り上げた。したがって魚類など細かな資料のほとんどを見逃したものと思われる。また、調査担当者の認識不足のため貴重な資料をみすみす見逃してしまった場合も多いと思われ、反省すべき点は多い。資料は取り上げたのち水洗いし、乾燥途中で10%前後のバインダー溶液を筆で塗ったが効果がみられなかったため、乾燥後20%のバインダー溶液に丸2日沈めて浸透させた。これである程度劣化を遅らせているが、哺乳類の長幹骨は表面の剥落が進んでいる。

資料の同定については担当者が同定用の現生資料を持たないため、国立奈良文化財研究所の所蔵資料を利用させていただき、松井章氏からは多くの助言を頂いた。まだ未同定のものが残っているが現状での成果を報告する。

哺乳類

イルカ類(第45図1~3) 50点が出土し全体の13%を占める。イルカ類は博多遺跡群では多く出土す る哺乳類である。対馬海流が流れる玄界灘に面した博多湾はクジラ・イルカ類の通路であり、古来か ら盛んに捕獲・利用されている。出土部位は下顎骨が1点出土しているほかは、ほとんどが椎骨で僅 かに肋骨が出土している。椎骨の多くは棘突起と横突起がない椎体のみで出土し、突起の根本には切 断痕がみられる。これは博多遺跡全体や東側に位置する箱崎遺跡などでも同様で、当初は海岸での解 体時に突起などを切り落として集落内に持ち込んだものと考えていたがSK0118では切り落とされた 突起の先端部が同じ遺構内から出土したため、現地に持ち込んだ後に切断しており、肉を骨から外す 際邪魔な突起部分を切り落とした可能性がある。他の哺乳類と違い利用する現場まで自ら歩かせて連 れてくることができないクジラ・イルカ類は民俗例では浜辺で解体してから集落に持ち込むことが多 い。しかし、博多遺跡の発掘調査では頭蓋骨や椎骨が多く出土する。これはA、当時貿易当陶磁器類 の荷揚げ場であった店屋町近辺がイルカ類の解体所も兼ねていた。B、解体後捨てられていた骨を肉 がまだ付着している等の理由で持ち込んだ。C、解体・利用の方法が近現代と異なっていた等の理由 によるものと思われる。第45図1は右下顎骨近位部である。2・3は椎骨である。2は棘突起を根本 から切り落としている。3も棘突起・横突起を切り落としているほか、上部が火を受け黒化している。 シカ(第45図4・5) 最も多く124点出土し、破片全体の33%を占める。前述した骨角製品の材料と してだけではなく、食料としても多く利用されていたと思われる。出土部位はほぼ骨格全体がみられ る。 4 は右中手骨で遠位端を欠く。中部やや下側で骨折した痕治癒している。 5 は脛骨遠位端・踵骨・ 距骨である。連結して出土した。解体痕あり。この他SD0126では指骨の基節骨から末節骨までが連 結して出土しており調査区内で解体作業が行われたことを示している。

イノシシ 48点が出土し全体の12%を占める。下顎骨が多く出土している。解体時に多く出るはずの 椎骨は種不明の分を仮にイノシシとしてもほとんど見られない。

イヌ 12点が出土し全体の3%を占める。解体痕が付いた大腿骨があるため、食用となったと思われる。7は中足骨で骨折後癒着した痕跡が見られる。

ウシ 32点が出土し全体の8%を占める。下顎骨や橈骨、尺骨など肉が少ない部分の骨が半分以上を占める。SK0798からウシの左右下顎骨、左右寛骨、尺骨が出土した。これらは解体時に最初に捨てられることが多いが、本遺構からは橈骨より遠位の骨が全く出土していないことや左右下顎骨が離れ

ていること、またそれに解体痕がみられないことから既に白骨化し分離した下顎骨と寛骨を使用した 祭祀の可能性が考えられる。

ウマ 3点出土した。大腿骨、肋骨とも解体痕がある。

サル 2点出土し、そのうち1点の上腕骨に解体痕がみられる。今でも早良平野の南端部でみられ当時は多くいたと思われるが、博多遺跡では今のところあまり出土していない。カワウソ(第45図 8)。 下顎骨が1点出土した。解体痕はない。博多 次調査でも出土しているが、出土例は現在この2点のみである。

ウサギ(第45図9) 3点出土している。いずれも解体痕がみられる。

ネコ ネコの可能性がある上腕骨が1点出土している。

ヒト 頭蓋骨の一部が出土している。若年。墓からの紛れ込みか。

魚類 多数出土した。同定できたものはほとんどがマダイもしくはタイ類である。マダイはその多くが50cmを超える。第45図10はフグ類の前上顎骨もしくは歯骨である。近位側が切断されている。 2点出土した。12はサメ類の椎骨で博多遺跡からは多く出土している。数個がまとまって出土することが多い。これはイルカ同様海岸で解体され、各家庭には背骨が付いたブロックで持ち込まれたのであろうか。江戸時代には小呂の島、奈多、志賀島など博多湾の北端で多く捕獲しているが、これらは古代からの伝統を引き継いでいると考えられる。サメは当時粗割り(刺身)として多く利用される他に、腸の脂肪が灯油として利用されていた。椎体に解体痕が見られるものも多い。

今回の調査では淡水系の魚類は検出していない。海産魚に対し骨が小さいので見逃した可能性もあるが、他の中世遺跡でも淡水魚は多く出土しない。しかし、調査が行われている鎌倉、草戸千軒、尾道など中世の都市は海に面しているため、当然の結果と思われる。

貝類 11は巻き貝の軸部で2点出土している。アカニシと思われる。SK0239でアワビが1点出土している。この土坑からは魚鱗や魚椎骨も出土している。

カキ 殻長が $4\sim5$ cmのものがまとまって出土している。遺存状態が悪かったが殼が $3\sim6$ cm前後と 小粒な個体が多い。

博多遺跡群ではほとんど篩による選別を行っていないにもかかわらず、多くの動物遺存体が出土している。しかしそれらの資料のほとんどは整理されておらず報告されることも希である。

参考文献

よみがえる中世 1 - 東アジアの国際都市 博多 平凡社 図解・日本の中世遺跡 東京大学出版会 考古学と自然科学 2 - 考古学と動物学 - 同成社

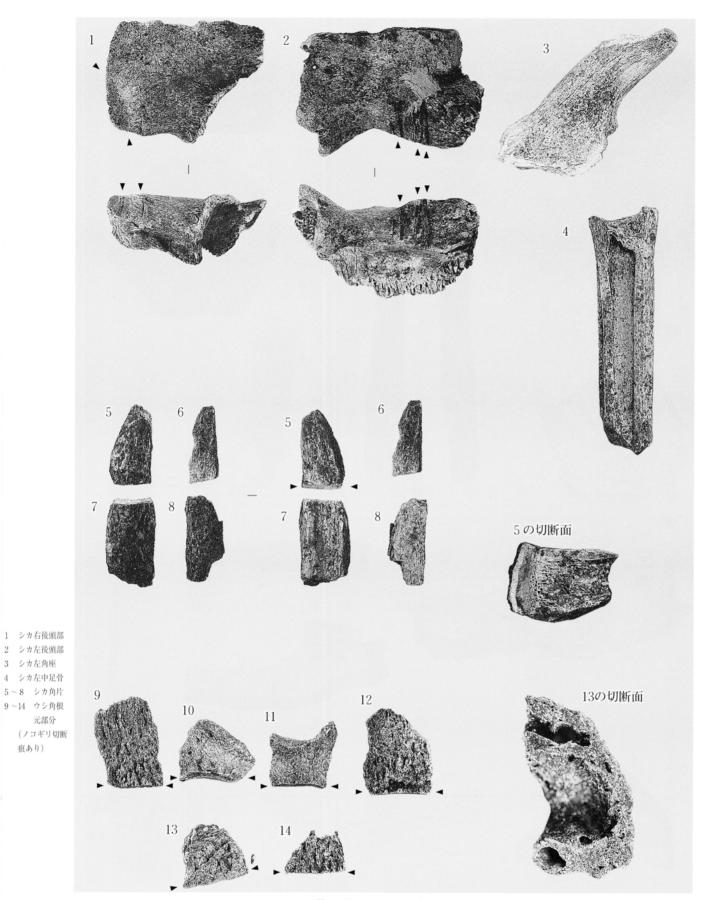
出土獣骨一覧表

番号 地区 大分類 小分類			1 m m					
	部位名	左右	部分1	部分 2	成長度	切痕	火熱	備考
1140 108 哺乳類	長幹骨							<u> </u>
1141 108 哺乳類	長幹骨				不明	全面にあり	なし	肉をそぎ落とすようなカット
1139 108 哺乳類 イルカ・クジラ	椎骨		椎体のみ		椎頭。窩未骨化	あり	黒化(一部)	
1118 109 哺乳類 イノシシ	橈骨	右	近位部					
1116 109 哺乳類 ウマ	肋骨	7-1m o	近位部		済	なし	不明	遠位側大の咬痕
					不明	あり	不明	
1115 109 哺乳類 シカ	距骨	右	全体		済	あり	なし	GL3.41cm
1117 109 哺乳類 不明	模骨							
1137 111 哺乳類						-		
1136 111 哺乳類 ウシ・ウマ	大腿骨遠位部	た	内側前方関節面		不明	不明	不明	
1138 111 哺乳類 シカ	7 (-17 /25 12 17	1	1 1 100 110 73 A 141 110		/1.93	71195	71195	
1134 111 哺乳類 シカ	上腕骨	左	遠位部のみ	TH start fall than to start	144			
110年 111 明刊 2月 2月				骨頭外側欠損	済	あり	なし	
1135 111 哺乳類 シカ	距骨	左	下側関節面の1部		不明	不明	不明	極小片
1121 118 哺乳類 イルカ類	椎骨		椎体のみ		済	全体にあり	一部黒色化	すべての突起を切断(そのほとんどが刃物による)
1114 118 哺乳類 イルカ類	椎骨		椎体のみ		済	全面にあり	わずかに里	すべての突起を切断 径5.12cm
1120 118 哺乳類 イルカ類	椎骨		棘状突起と横突起、椎弓板		不明	あり	35) 10 (C)	粉細体公生り23 はし だけれい カ
1109 118 哺乳類 イルカ類	椎骨		椎体のみ	<u> </u>	済		が用なり	数個体分ありそう ほとんどにカットマーク 突起はすべて刃物で切断。全体にカットマーク
1107 118 哺乳類 イルカ類	椎骨					あり	一部黑色化	矢地はすべて刃物で切断。全体にカットマーク
1107 110 開拓級 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			椎体のみ		済	あり	黒色化	すべての突起を刃物で切断
1108 118 哺乳類 イルカ類	椎骨		椎体のみ		済	あり	一部黒色化	突起はすべて切断(一部刃物を使用)
1119 118 哺乳類 イルカ類	椎骨		棘状突起と横突起、椎弓板		不明	あり	不明	刃物により椎体から切断
1112 119 哺乳類 シカ・イノシシ	長幹骨		不明		不明	あり	なし	77,14 - 7 (111) 1 - 2 20 [11]
1110 120 魚類 サメ類	椎骨				1 //	あり	不明	5X 4 20
1111 120 哺乳類 不明	,,,,,,	_				a) 1)	1199	径4.39cm
1113 121 哺乳類 イノシシ	肩甲骨	-	National Company		Ne			
		左	遠位端		済	あり	不明	GLP4.01cm
1092 126 哺乳類 イヌ 1079 126 哺乳類 イノシシ	中足骨	右足	Ⅱ~Vまで総て		済	なし	なし	は骨折の痕跡あり。、とは違う遠位部が1つある
1079 126 哺乳類 イノシシ	尺骨	右	近位部	近位端欠損	済	内側面にあり	なし	近位端は犬にかじられている
1193 126 哺乳類 イノシシ	尺骨	右	基幹部		不明	なし	なし	
1197 126 哺乳類 イノシシ	下類骨 牙	左			不明	_	-	細片
1286 126 哺乳類 イルカ類	椎骨		椎体のみ		骨化済	多数あり		
1195 126 哺乳類 シカ	中手骨	±:					不明	横突起は刃物による切断
		右	全体		骨化済	あり	なし	
1194 126 哺乳類 シカ	脛骨	右	遠位部		骨化済	あり	なし	
1104 126 哺乳類 シカ	指骨	左側	基節·中節		済	なし	なし	
1103 126 哺乳類 シカ	指骨	右側	基節・中節・末節をすべて		済		なし	
1196 126 哺乳類 シカ?	肋骨				骨化済	あり(外面)		2~3本分
1187 133 哺乳類 イノシシ	尺骨	右	中間部		不明			2~3本分
1080 133 哺乳類 イルカ類	環椎	-11					不明	全体に大の咬痕
	块作		左上側のみ残存		済	なし	なし	
1081 133 哺乳類 イルカ類								
1101 133 哺乳類 ウサギ	上腕骨	左	全体		済	骨頭部	なし	GL8.79cm
1072 133 哺乳類 ウシ	頸椎		椎体窩欠損		済	なし	なし	
1189 133 哺乳類 シカ	橈骨		近位部		済	近位端に多い		割れ口スパイラル
1185 133 哺乳類 シカ	肩甲骨		遠位部		済			割れロスハイフル
1190 133 哺乳類 シカ	脛骨					あり遠位端に		
1100 100 開北級 ノガ		右	遠位部		済	あり	なし	犬の咬痕あり
1191 133 哺乳類 シカ	指骨	左	基節骨	近位部	済	不明	不明	Dp1.85cm
1188 133 哺乳類 シカ	尺骨	左	近位部		済	あり	なし	近位端に犬の咬痕
1186 133 哺乳類 シカ	指骨	左側	基節骨	全体	済	あり	なし	GL4.92cm Dp2.1cm
1083 133 哺乳類 シカ・イノシシ	長幹骨						なし	GD4.52Citi Dp2.1citi
1082 133 哺乳類 シカ・イノシシ	長幹骨							
1192 133 哺乳類 シカ?		右	*C-6	Nº (La Jahren Adv. C., 11)	met men	あり	なし	
	脛骨		近位部	近位端関節欠損	不明	不明	不明	遺存悪い
1198 135 哺乳類 イルカ類	椎骨		椎体のみ		未骨化	不明	不明	遺存悪い
1212 137 哺乳類 シカ	脛骨							
1211 137 哺乳類 シカ	中手骨	-	基幹部	前面のみ	不明	なし	なし.	小片
1211 137 哺乳類 ンカ	中手骨	_		前面のみ	不明	なし		小片
1210 137 哺乳類 シカ	中手骨 中足骨	_	基幹部	前面のみ 前面のみ	不明	なし	なし	
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 シカ・イノシシ	中手骨 中足骨 長幹骨	_	基幹部 基幹部	前面のみ	不明 不明	なし あり	なし 不明	表面剥落
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 シカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 イルカ類	中手骨 中足骨 長幹骨 椎骨	_	基幹部 基幹部		不明	なし	なし	表面剥落 径6.38cm
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 シカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 イルカ類 1202 144 哺乳類 ウシ?	中手骨 中足骨 長幹骨 椎骨 脛骨?		基幹部 基幹部 椎頭板 一	前面のみ全体	不明 不明 未骨化	なし あり	なし 不明	表面剥落 径6.38cm
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 シカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 イルカ類 1202 144 哺乳類 ウシ? 1201 144 哺乳類 シカ・イノシシ	中手骨 中足骨 長幹骨 椎骨 脛骨?		基幹部 基幹部	前面のみ	不明 不明	なし あり あり	なし 不明 なし	表面剥落 径6.38cm 遺存悪い
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ラカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 イルカ類 1201 144 哺乳類 シカ・イノシシ 1203 144 哺乳類 シカ・イノシシ 1203 144 魚類 マダイ	中手骨 中足骨 長幹骨 椎骨 脛骨?		基幹部 基幹部 推頭板 一 近位部	前面のみ全体	不明 不明 未骨化	なし あり あり	なし 不明 なし	表面剥落 径6.38cm
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ラカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 イルカ類 1201 144 哺乳類 シカ・イノシシ 1203 144 哺乳類 シカ・イノシシ 1203 144 魚類 マダイ	中手骨 中足骨 長幹骨 椎骨 脛骨? 肋骨		基幹部 基幹部 椎頭板 一	前面のみ全体	不明 不明 未骨化	なし あり あり	なし 不明 なし	表面剥落 径6.38cm 遺存悪い 大の咬痕
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 シカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 イルカ類 1202 144 哺乳類 ウシ? 1201 144 哺乳類 ウシ・イノシシ 1203 144 無類 マダイ 1150 153 哺乳類	中手骨 中足骨 長幹骨 整骨 整骨 整骨 整骨 整骨 整骨 整骨 整骨 整骨 整骨 整骨 整骨 整骨	左	基幹部 基幹部 椎頭板 一 近位部 全体	前面のみ 全体 近位端欠損	不明 不明 未骨化 不明	なし あり あり なし	なし 不明 なし なし	表面剥落 径6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 シカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ウシ? 1201 144 哺乳類 ウシ? 1201 144 哺乳類 ウカ・イノシシ 1203 144 魚類 マダイ 1150 153 哺乳類	中手骨 中足骨 長骨 骨骨骨 管骨骨 上骨骨 整膜骨	左左	基幹部 基幹部 椎頭板 一 近位部 全体	前面のみ全体	不明 不明 未骨化 不明 骨化済	なし あり あり なし	なし 不明 なし なし	表面剥落 径6.38cm 遺存悪い 大の咬痕
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1202 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1203 144 魚類 ダイ 1150 153 哺乳類 1151 153 哺乳類	中手骨中 中 手骨骨骨骨 骨骨骨骨 上 骨骨骨 上 骨骨骨 上 骨骨骨 骨骨骨 骨骨骨	左左左左	基幹部 基幹部 椎頭板 一 近位部 全体 近位部	前面のみ 全体 近位端欠損	不明 不明 未骨化 不明	なし あり あり なし	なし 不明 なし なし	表面剥落 径6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 シカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 フカ・イノショ 1202 144 哺乳類 ウシ? 1201 144 哺乳類 ウシ? 1203 144 魚類 マダイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ?	中手骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左左左	基幹部 基幹部 推頭板 近位部 全体 近位部	前面のみ 全体 近位端欠損	不明 不明 未骨化 不明 骨化済 骨化済	なし あり なし なし	なし 不明 なし なし なし	表面剥落 径6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 メラかイノシシ 1200 144 哺乳類 ブルイノシシ 1201 144 哺乳類 ブルイノシシ 1203 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1203 144 麻類 マダイ 1150 153 哺乳類 151 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1289 153 哺乳類 イノシシ	中中長樵壓肋主燒脛一長下	左左左	基幹部 基幹部 椎頭板 一 近位部 全体 近位部	前面のみ 全体 近位端欠損	不明 不明 未骨化 不明 骨化済 骨化済	なし あり なし なし	なし 不明 なし なし なし	表面剥落 径6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 対・イノシン 1200 144 哺乳類 ガ・イノシ 1201 144 哺乳類 ヴ・ア 1201 144 哺乳類 ヴ・ア 1201 144 無類 ヴ・ア 1150 153 哺乳類 1151 153 哺乳類 1294 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1299 153 哺乳類 イヌ 1299 153 哺乳類 イフシン 1291 153 哺乳類 イノシシ 1201 153 哺乳類 イノシシ 1201 1201 153 144 145	中中長樵壓肋主燒壓的主燒壓中長下	左 左 左 左	基幹部 基幹部 推頭板 近位部 全体 近位部	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損	不明 不明 末骨化 不明 骨化済 不明	なし あり なし なむ あり	なし 不明し な な し し し し し し し し し し し し し し し し し	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 犬の吱痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 対・イノシン 1200 144 哺乳類 ガ・イノシ 1201 144 哺乳類 ヴ・ア 1201 144 哺乳類 ヴ・ア 1201 144 無類 ヴ・ア 1150 153 哺乳類 1151 153 哺乳類 1294 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1299 153 哺乳類 イヌ 1299 153 哺乳類 イフシン 1291 153 哺乳類 イノシシ 1201 153 哺乳類 イノシシ 1201 1201 153 144 145	中中長椎脛肋主模脛中長下下下	左左左左左左左左左左左左左	基幹部 基幹部 推頭板 近位部 全体 近位部 破片 板片 M 3より後ろの底部のみ P 2 ~ M 2	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ	不明 不明 未骨化 不明 骨化済 不明 老獣	な し	ない な不な なし なな なな なな なな なな	表面剥落 後6.38cm 連存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ブカ・イノショ 1202 144 哺乳類 ブカ・イノショ 1203 144 魚類 ヅダイ 1150 153 哺乳類 ゴタイ 1151 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ? 1293 153 哺乳類 イヌ? 1291 153 哺乳類 イノシシ 1291 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ	中手骨骨中 是稱 整體 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學	左 左 左左 左左右	基幹部 基幹部 推頭 板 近位部 全体 近位部 破片 M 3より後ろの底部のみ P 2~ M 2 牙より先端欠損	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下類核一部欠損	不明 不明 末骨化 不明 骨化済 骨化済 不明 本献 禁3後臼歯崩出中	な し	な不な なな ななな ななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 犬の吱痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ブル・イメシシ 1201 144 哺乳類 ブル・イメシシ 1201 144 哺乳類 ブル・イメシシ 1203 144 無類 マダイ 1151 153 哺乳類 179 183 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌシシ 1291 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1281 153 141 14	中手是稱壓的 手 一 中 手 是 所 一 所 一 所 一 所 一 所 一 所 一 所 一 所 一 所 一 所	左 左左 左左右左	基幹部 基幹部 推頭板 - 近位部 全体 近位部 破片 M 3より後ろの底部のみ P 2 ~ M 2 アより先端欠損 M語 游発をか下顎頭にがだ	前面のみ 全体 近位端久損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損	不明 不明 末骨化 不明 骨化済 不明 老第3後臼歯崩出中 M3曖耗進む	なし あり なし なし なし あり 所外面あり 歯の周辺にあり	な不な なな ななななななな	表面剥落 後6.38cm 連存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ブル・カ類 1202 144 哺乳類 ブル・カ類 1201 144 哺乳類 ブル・イノシシ 1203 144 魚類 ヴァイ 1150 153 哺乳類 1151 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1298 153 哺乳類 イヌ ? 1289 153 哺乳類 イヌ ? 1289 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1488 153 哺乳類 イノシシ 1419 153 哺乳類 イノシシ	中中民權 整體 中 長 推 整體 中 長 推 整體 中 長 推 整體 中 長 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	左 左左 左左右左右	基幹部 基幹部 推頭板 近位部 全体 近位部 破片 M 3より後ろの底部のみ P 2 ~ M 2 牙より先端欠損 M部部 数定か下顎剛・がて 近位部	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下類枝一部欠損 近位端は刃物で切断	不明 不明 未骨化 不明 骨化済 不明 不老献 祭3 後臼歯崩出中 M3 咬耗進む 骨化不明	なし あり なし なし あり あめり 面あり 歯の圏辺にあり あり	な不な な なな ななななな なななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 犬の吱痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先端だけが欠損
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1203 144 魚類 ッダイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1289 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イノシカ	中手是 中手是 性 中 手 性 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨	左 左左 左左右左右	基幹部 基幹部 推頭板 近位部 全体 近位部 を体 が 3より後ろの底部のみ P 2~ M 2 牙より先端欠損 MS部部実起か下顎肌がた 近性体のみ	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下頭枝一部欠損 近位端は刃物で切断	不明 不明 末骨化 不明 骨化済 一年 一本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	なしあり なし なし なし なし あめり 面あり 内外面あり 歯の周辺にあ あり 推頭にあり	な不な なな なななななな不明 ししししししし	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の岐痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの岐痕 イヌの岐痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損
1210 137 哺乳類 3カ 1324 137 哺乳類 3カ・イノシシ 1202 144 哺乳類 カ・イノシシ 1201 144 哺乳類 カ・イノシシ 1201 144 哺乳類 マダイ 1150 153 哺乳類 イアトラシ 153 哺乳類 イアトラシ 1294 153 哺乳類 イアトラシ 1298 153 哺乳類 イアトラシ 1291 153 哺乳類 イアトラシ 1287 153 哺乳類 イアトラシ 1287 153 哺乳類 イアトラシ 1287 153 哺乳類 イアトラシ 1448 153 哺乳類 イアトラシ 1149 153 哺乳類 イアトラシ 1149 153 哺乳類 イアトラシ 1141 153 哺乳類 イアトラシ 1141 153 哺乳類 イアトラシ 1141 153 哺乳類 イアトラシ 1141 153 哺乳類 イアトカ類 1292 153 149	中中長機壓肋主饒壓中長下下下, 一中長機壓的主燒壓中長下下下下, 一中長機壓的 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种	左 左左 左左右左右	基幹部 基幹部 推頭板 一近位部 全体 近位部 破片 M 3より後ろの底部のみ P 2 ~ M 2 アより充濃欠損 M部 筋突起か下顎肌 がた 近位部 椎体のみ	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損 近位端は刀物で切断	不明 不明 未 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	なしあり なし なし なし なし あめり 面あり 内外面あり 歯の周辺にあ あり 推頭にあり	な不な な なな ななななな なななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 犬の吱痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先端だけが欠損
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ブカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシシ 1203 144 無痕数 グテイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1289 153 哺乳類 イヌ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 12148 153 哺乳類 イノシカ類 1292 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 イルカ類 1204 153 哺乳類 シカ	中中民權 <u></u> 理 中 中 是 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性	左 左左 左左右左右 左	基幹部 基幹部 建幹額 近位部 全体 近位部 金体 近位部 後片 M 3より後ろの底部のみ P 2 ~ M 2 牙より先端欠損 が記述のみ 推体のみ 進体のみ 遠位で端	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損 近位端は刀物で切断	不明 不明 不明 骨化済 不明 骨化済 不 那 數 3 後 四 車 前 出 中 M 3 取 耗進む 骨 當 化 化 资 骨 化 化 资 量 化 资 量 未 骨	なし なし なし な し	な不な なな なななななな不明 ししししししし	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の岐痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの岐痕 イヌの岐痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ブカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシシ 1203 144 魚類 マダイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1289 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イルカ類 1294 153 哺乳類 イルカ類 1204 153 哺乳類 カカ類 1204 153 哺乳類 カカ類 1204 153 哺乳類 カカ	中中民權 <u></u> 理 中 中 是 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性	左 左左 左左右左右 左	基幹部 基幹部 推頭板 一近位部 全体 近位部 破片 M 3より後ろの底部のみ P 2 ~ M 2 アより充濃欠損 M部 筋突起か下顎肌 がた 近位部 椎体のみ	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損 近位端は刃物で切断	不明 不明 不明 骨化済 不明 骨化済 不 那 數 3 後 四 車 前 出 中 M 3 取 耗進む 骨 當 化 化 资 骨 化 化 资 量 化 资 量 未 骨	なし なし なし な し	な不な な	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損 韓突起よ刃物で切断権突起はへし折っている 権弓板刃物で切断
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ブカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシシ 1203 144 魚類 マダイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1289 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イルカ類 1294 153 哺乳類 イルカ類 1204 153 哺乳類 カカ類 1204 153 哺乳類 カカ類 1204 153 哺乳類 カカ	中中長樵脛肋主燒脛中長下下下下肋椎椎大中長椎脛肋主燒脛中長下下下下下肋椎椎大中長下下下下肋椎椎大中長下下下下肋椎椎大中長門骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右	基幹部 基幹部 推頭板 近位部 全体 近位部 破片 M 3より後ろの底部のみ P 2 ~ M 2 牙より先端欠損 M3能定部 近性体のみ 強性体のみ 遠位で部 進位さ 進位さ がして 近位をのる を を がして がして がして がして がして がして がして がして	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下猟枝一部欠損 近位端は刀物で切断	不明明 不明明 末 骨化 不明 骨化済 一不整	なし ありり ありり なし なし なし あり 所の間な 所の間な が 値の が で が の の の の の の の の の の の の の の の の	ない ない ない ない ない ない ない とし ない とし ない とし ない とし といい ない といい ない といい はい は	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起よ刃物で切断横突起よへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ブル・カ類 1202 144 哺乳類 ブカ・イノシシ 1201 144 無類 ダイ 1150 153 哺乳類 イストラシ 1294 153 哺乳類 イストラシ 1294 153 哺乳類 イストラシ 1298 153 哺乳類 イストラシ 1291 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシカ 148 153 哺乳類 イノカカ類 1292 153 哺乳類 カカカ類 1290 153 哺乳類 シカ 1200 153 哺乳類 シカ 1200 153 哺乳類 シカ 1200 153 哺乳類 シカ	中中長機壓的主饒壓中長下下下助推權太中中 長機壓的主燒壓中長下下下助推權太中中 原等等等額額額額費得 原等等等額額額費得 一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個	左 左左 左左右左右 左右左	基幹部 基幹部 推頭 仮 近位部 全体 近位部 破片 M 3より後ろの底部のみ P 2~ M 2 アより先端欠損 M3部 第実起か下顎馴-かけて 近位のみ 違位部の 推体のみ 遠位で部 が近位部 が近位部	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下猟枝一部欠損 近位端は刀物で切断	不明明不未 不明 一不明 一不明 一不明 一不明 一不。 一本。 一本。 一本。 一本。 一本。 一本。 一本。 一本。 一本。 一本	なし あり なし なし なし なし なし あり あり なし なし あり あり 新内外面の側部 あり あり あり を ひり がって かり がって かり がった しし ないし ないし かり かり かい	な不な な	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 犬の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刃物で切断権突起はへし折っている 椎弓板刃物で切断 進行板刃物で切断 進行板刃物で切断 強に大の咬痕 全体にイヌの咬痕
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1203 144 魚類 ヴァイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1291 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 12148 153 哺乳類 イノシカ類 1204 153 哺乳類 イルカ類 1204 153 哺乳類 シカ 1209 153 哺乳類 シカ 1209 153 哺乳類 シカ 1209 153 哺乳類 シカ 1200 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1205 153	中中長樵脛肋主饒脛中長下下下肋椎椎大中中脛骨骨骨骨上顎? 骨骨手幹顕顎顕頸骨骨骨腿手足骨骨手幹顕顎頭頸骨骨腿手足骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左	基幹部 基幹部 基幹部 推頭板 近位部 全体 近位部 を全体 近位部 を全体 近位部 をかり、一般の一般である。 近近から、一般では一般では一般では一般である。 近近位部 近位をできる。 近位では一般である。 をはる。 近位では一般である。 をはる。 近位ではいる。 近位ではいる。 近位ではいる。 近位ではいる。 近位ではいる。 近位ではいる。 近位ではいる。 近位ではいる。	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下猟枝一部欠損 近位端は刀物で切断	不明明不明明末末 明明 常子 明明 不明明 不明明 不明明 不明明 一个	なしありり あありり なし なしし なしし なしし なしし なしし なしし おあり 面あり 頭のり 頭のり 頭のり 頭のり 切断 あり 頭のし かし ひかし なあり しなあり	な不明しています。 なななななななななななななななななななななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起よ刃物で切断横突起よへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1202 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1203 144 魚類 ダイ 1150 153 哺乳類 イアタイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イスシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1148 153 哺乳類 イノシシ 1148 153 哺乳類 イアカ類 1292 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 オルカ類 1290 153 哺乳類 カカ 1200 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1205 153 14乳類 リカ 1205 1205 153 14乳類 リカ 1205	中中長樵脛肋主燒脛中長下下下下肋椎椎大中中脛足骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左	基幹部 基幹部 推頭板 近位部 全体 近位部 破片 M 3 より後ろの底部のみ P 2 ~ M 2 牙より先端欠損 M3能が 変足が下顎肌がて 近性体のみ 遠近位部 近位位部 近位位部 近位を部 変性を変更が下顎肌がて	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下猟枝一部欠損 近位端は刀物で切断	不明明 不明明 末 看 化	なし ありり なし なし なし なし あめり 面の間 かの間な が あり で あり で の り で あり で の り の の り で あり も で も り に る り も で も の も の も な ら な ら と し と し と し と し と ら と と し と ら と ら と と り と る と し と る と る と し と る と る と し と る と る	な不な な しし ししししししし ひししししししし ししししししし 明しししし 明しししし 明しししし 明しししし 明ししし 明ししし いずい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先環だけが欠損 棘突起ば刃物で切断構突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1201 144 無類 ダイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1298 153 哺乳類 イヌ 1289 153 哺乳類 イノシシ 1291 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イノカ類 1292 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 カカ類 1290 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1208 153 141 153	中中長樵莊肋主饒脛中長下下下肋椎椎大中中脛足踵中長降骨骨骨上骨骨手軽顕顕顕顕骨骨尾腿手足骨骨手軽顕顕顕顕骨骨尾手足骨限骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左	基幹部 基幹部 推頭 板 近位部 全体 近位部 後の が 3 より後ろの底部のみ ア チょう 先端 穴損 処部 筋疾起が下顎脈 がて 近位部のみ 遠位部のみ 遠位部のみ 遠位で部 強位位部 近位位部 近位で部 近位を部 近位を部 近位を部 全体	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下猟枝一部欠損 近位端は刀物で切断	不明明不未 不明	なしりあり なし ななし あり なし ななし あり かし ななし あり 外面の側部が かり での は かり での は かり での しょう なんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	な不明しています。 なななななななななななななななななななななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 犬の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刃物で切断権突起はへし折っている 椎弓板刃物で切断 進行板刃物で切断 進行板刃物で切断 強に大の咬痕 全体にイヌの咬痕
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1203 144 無痕類 ビディー 1150 153 哺乳類 イヌ 1151 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1291 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 148 153 哺乳類 イノシカ 1204 153 哺乳類 ブカカ類 1204 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1207 153 141	中中長樵脛肋主燒脛中長下下下肋椎椎大中中脛足踵距手足幹骨骨骨手幹頭頭頭頭骨骨骨腿手足骨根骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左	基幹部 基幹部 基幹部 推頭板 近位部 全体 近位部 8	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下猟枝一部欠損 近位端は刀物で切断	不明明 不明明 末 看 化	なしりあり なし ななし あり なし ななし あり あり なし ななし あり あり 外側 歌 あり 動り 動り 動り 動り 切断 なるとし なるとし ななし	な不な な しし ししししししし ひししししししし ししししししし 明しししし 明しししし 明しししし 明しししし 明ししし 明ししし いずい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先環だけが欠損 棘突起ば刃物で切断構突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 対かイノシシ 1202 144 哺乳類 対かイノシシ 1201 144 哺乳類 対かイノシシ 1203 144 魚類 対かイノシシ 1283 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イスシシ 1284 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1281 153 哺乳類 イノシシ 1281 153 哺乳類 イノシシ 144 153 哺乳類 イノシシ 148 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イノシカ 1290 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 カカ類 1290 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 1208 153 哺乳類 シカ 1208 153 哺乳類 シカ 1207 159 哺乳類 シカ 1208 159 147 147 147 159 147 147 159 147	中中長樵脛肋主燒脛中長下下下肋椎椎大中中脛足踵距手足幹骨骨骨手幹頭頭頭頭骨骨骨腿手足骨根骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左	基幹部 基幹部 推頭 板 近位部 全体 近位部 後の が 3 より後ろの底部のみ ア チょう 先端 穴損 処部 筋疾起が下顎脈 がて 近位部のみ 遠位部のみ 遠位部のみ 遠位で部 強位位部 近位位部 近位で部 近位を部 近位を部 近位を部 全体	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下猟枝一部欠損 近位端は刀物で切断	不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明 一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一	なしのありり ない とし なない ああり 面あり ない とし なない よい ない という ない ない ない ああり 面あり かい はん かい	な不安 な しし しししししし いまななななな不ななな不なななな不なななななななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 連存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損 嫌突起よ刃物で切断横突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ジカ・イノシシ 1203 144 無痕類 ビディー 1150 153 哺乳類 イヌ 1151 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1291 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 148 153 哺乳類 イノシカ 1204 153 哺乳類 ブカカ類 1204 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1207 153 141	中中長樵塵舫主燒脛中長下下下下肋椎椎大中中脛足踵距號手足骨骨骨骨上骨骨手幹照額顕頸骨骨尾鳃手足骨根骨骨蓋骨骨骨骨上骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左	基幹部 基幹部 推頭 近全体 近位部 破片、より後ろの底部のみ ア より、発売の底部のみ ア より、先端ケ大損 M部 定記が下類類、かけて 近位位部 位位部 位位部 位位部 位位部 位位部 で位体 全体 に変し、	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下猟枝一部欠損 近位端は刀物で切断	不明明 不明明 末 不明 一个化资 不老繁多。 一个一个的。 一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	なし ありり ああり なし ななし あめり 所の間か かの間な が のの間な が あり のの間な が のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの の	な不な な なな ななななな不ななな不ななな不ななななななななななななななな	表面剥落 (全6.38cm) 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先環だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起よへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1200 144 哺乳類 ブカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシシ 1201 144 無類 ダイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イノシシ 1291 153 哺乳類 イノシシ 1291 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イノシカ 148 153 哺乳類 イノシカ 1205 153 哺乳類 イルカ類 1209 153 哺乳類 カカ類 1200 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 1208 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 1207 153 m乳類 フカ 144 171 m乳類 ブラシシ	中中長樵莊肋主饒脛中長下下下肋椎椎大中中脛足踵距頭中手足幹骨骨骨上骨骨手幹頭頭頭骨骨骨腿手足骨银骨骨蓋足骨银骨骨蓋足骨银骨骨蓋足骨银骨骨蓋足骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左	基幹部 基幹部 推頭板 近住部 全体 近位部 を住 が 3より後ろの底部のみ アチより先端穴損 MS帯 放送地が下顎肌がて 植体のみ 遠位位部 椎体のみ 遠位位部 位位部 を全体 全体 全体 全体 全体 全体 全体 全体 全体 全体 全体 全体 全体 のシノノ	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下類枝一部欠損 近位端は刃物で切断	不明明 不明明 不明 骨化 不明 骨化 活済 不明 数 3 咬耗進む 骨化 化 3 咬	なしり かかり ない なない ああり かり あり かり あり かり	な不な な とし ししししししししししししししししししししししししししししししし	表面剥落 (26.38cm 連存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刀物で切断権突起はへ上折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシ 1200 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1203 144 無痕 ダイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イス 1291 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1280 153 哺乳類 イアシ類 1292 153 哺乳類 カカ類 1204 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1207 153 m乳類 シカ 1208 153 m乳類 シカ 1201 153 m乳類 シカ 1441 171 m乳類 インシシ 1441 171 m乳類 インシ 1441 1	中中長樵脛肋主饒脛中長下下下肋椎椎大中中脛足踵距頭中尺手足幹骨骨骨上骨骨手幹頭頭頭頭骨骨障腿手足骨根骨骨蓋足骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左	基幹部 基幹部 基幹部 基幹 近位 近位 近位 が が が が が が が が が が が が が	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下類枝一部欠損 近位端は刃物で切断	不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明 化路路 化路路 化路路 化电子 化路路 多级 电电路 化 电电路 电电路	なしのありり なしし ななし ああり 面あり のありり なしし ななし ああり 面あり のの	な不な な なな なななななな不ななな不なななななななななななななななななな	表面剥落 (全6.38cm) 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先環だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起よへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1202 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシシ 1203 144 魚類 ダイ 1150 153 哺乳類 イスラ 1294 153 哺乳類 イスラシ 1298 153 哺乳類 イスシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1148 153 哺乳類 イノシシ 1148 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 イルカ類 1290 153 哺乳類 カカ 1200 153 哺乳類 カカ 1200 153 哺乳類 カカ 1200 153 哺乳類 カカ 1205 153 哺乳類 カカ 1206 153 哺乳類 カカ 1207 153 1207 153	中中長樵歷舫主燒歷中長下下下下肋椎椎大中中歷足踵距顯中尺大手足幹骨骨骨上骨骨手幹顯顯顯頨骨骨骨腿手足骨根骨骨蓋足骨腿等限等,獨?骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左右	基幹部 基幹部 推頭 位部 全体 近位部 会体 近位部 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下猟枝一部欠損 近位端は刃物で切断	不明明 不明明 不明明 不明明 不明明 不明明 不明明 不明明 不明明 一个	なしのあり なし なな ああり かい ない しゅう ない しゅう ない しゅう ない しゅう かい ない しゅう かい	な不な な なな ななななな不ななな不ななななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先環だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起よへし折っている 惟弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端犬の咬痕
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシ 1200 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1203 144 魚類 ヅダイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イノシカ 148 153 哺乳類 イルカ類 1202 153 哺乳類 イルカ類 1202 153 哺乳類 イルカ類 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 m乳類 シカ 1206 153 m乳類 シカ 1207 153 m乳類 シカ 1208 153 m乳類 シカ 1208 153 m乳類 シカ 1201 141 171 m乳類 シカ 144 171 m乳類 コカ 144 171 m乳類 イノシシ 1144 171 m乳類 イノシシ 1147 171 m乳類 イノシシ 1147 171 m乳類 コカ 1147 171 m乳類 コカ 1141 171 m乳剤 1141 171 m乳剤 1141 171	中中長樵莊肋主饒脛中長下下下肋椎椎大中中脛足踵距頭中尺大指骨骨骨骨骨骨等等頭頭頭頭骨骨骨腿手足骨銀骨骨蓋足骨腿骨骨蓋足骨腿骨骨蓋足骨腿骨骨蓋足骨腿骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左右右	基幹部 基幹部 推頭 位 近住 近住 近住 が では が が が が が が が が が が が が が	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下額枝一部欠損 近位端は刃物で切断	不明明不未 不明	なしのありり なしし ななし ああり 面あり のありり なしし ななし ああり 面あり のの	な不な な なな ななななな不ななな不ななななななななななななななななななな	表面剥落 (26.38cm 連存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刀物で切断権突起はへ上折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシ 1200 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1203 144 飛版 ダイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1289 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシカ類 1292 153 哺乳類 イルカ類 1204 153 哺乳類 シカ 1206 153 m乳類 シカ 1207 153 m乳類 シカ 1441 171 哺乳類 イノシシ 1144 171 m乳類 イノシシ 1144 171 m乳類 イノシシ 1145 171 m乳類 リカ 1147 171 1418 171 m乳類 リカ 1147 171 1418 171 m乳類 リカ 1147 171 1418 1718 1418 1718 1418 1418 1418 1418 1418 1418 1418 1418 1418 1418 1	中中長樵脛肋主燒脛中長下下下肋椎椎大中中脛足踵距颞中尺大指桡骨骨骨上骨骨手幹顯瀕瀕跗骨骨骨腿手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左右右	基幹部 基幹部 推頭 位部 全体 近位部 会体 近位部 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水 の水	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下額枝一部欠損 近位端は刃物で切断	不明明不未 不明	なああり なし なな ああ内外の別り頭にあり なしし ああり 外の別の は ああり 外の別の は あるし り ある から り の は り が り 切 い り い し し り あ か り の し し り し し し り り の し い か り り の し い か り り の し い か り り の し か り り の し か り り の し か り り の し か り り の し か り り の し か り り の し か り り の し か り り の し か り り の し か り り の し か り り の し か り り の し か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り り り り り り り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り り り り り り り り か り り り か り り か り り か り り か り り か り	な不な な なな なななななな不ななな不なななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先環だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起よへし折っている 惟弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端犬の咬痕
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシ 1200 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1203 144 飛版 ダイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1289 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシカ類 1292 153 哺乳類 イルカ類 1204 153 哺乳類 シカ 1206 153 m乳類 シカ 1206 153 m乳類 シカ 1207 153 m乳類 シカ 1441 171 m乳類 イノシシ 1144 171 m乳類 イノシシ 1144 171 m乳類 イノシシ 1145 171 m乳類 リカ 1147 171 1418 171 m乳類 リカ 1147 171 1418 171 1417 171 1418 171 1417 171 1418 1718 1418 1418 1418 1418 1418 1418 1418 1418 1418 1418	中中長樵脛肋主饒脛中長下下下肋椎椎太中中脛足踵距頭中尺大指桡骨骨骨骨上骨骨手幹頭瀕瀕動骨骨障腿手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左右右左	基幹部 基幹部 基幹 「 「 「	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損 近位端は刃物で切断	不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明不明明 一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一	なしのありり ない とし なない ああり 面あり かい とし ななし ああり 面あり の かい	な不な な なな なななななな不ななな不なななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 連存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損 離突起は刃物で切断権突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 上下面に激しい切痕 近位端犬の咬痕 低い切痕 近位端犬の咬痕
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1202 144 哺乳類 ヴカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシシ 1203 144 魚類 ダイ 1150 153 哺乳類 イスラシ 1294 153 哺乳類 イスシシ 1293 153 哺乳類 イスシシ 1291 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 イルカ類 1290 153 哺乳類 カカ類 1290 153 哺乳類 カカ 1206 153 哺乳類 カカ 1207 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 1144 171 哺乳類 シカ 1142 171 哺乳類 イノシシ 1142 171 哺乳類 イノシシ 1144 171 哺乳類 イノシシ 1144 171 哺乳類 イノシシ 1144 171 哺乳類 イノシシ 1145 171 哺乳類 フカ 1144 171 1144 171 1144 171 1144 171 1145 171 1145 171 1145 171 1145 171 1145 171 1145 171 1145 171 1145 171 1145 171 1145 171 1145 171 1145 171 1145 171 1145 171 1145 171 114	中中長樵歷肋主燒歷中長下下下下肋椎椎大中中歷足踵距頭中尺大指橈指骨骨骨骨骨骨骨骨手幹頭頭頭頸骨骨骨腿手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左右右左右	基幹部 基幹部 推頭 位部 全体 近位部 を全体 近位部 を外の底部のみ アより後ろの底部のみ アより先端欠損 M部位部 が発起が下顎頭にかて 近椎体位でのみ 遠近近位位部 強近近位で部 大損 を全体 としている。 を全体 といる。 を全体 といる。 となる。 となる。 となる。 となる。 となる。 となる。 となる。 とな	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損 近位端は刃物で切断 全体 近位側	不明明不未 不明 骨骨 化活体 化活体 化活体 化 明明 不 表 不明	なし ありり なし なな むりの ない しゅうり ない しゅうり から しゅうり 面の かり かい	な不な な なな なななななな不ななな不なななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイスの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起はへし折っている 惟弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端犬の咬痕 GIA.1cm Dp1.7cm
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシ 1200 144 哺乳類 ジカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ジカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ジカ・イノシ 1203 144 無類 ヅダイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イノシシ 149 153 哺乳類 イアカ類 1202 153 哺乳類 イルカ類 1202 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1207 153 m乳類 シカ 1208 153 m乳類 シカ 1208 153 m乳類 シカ 1201 141 171 m乳類 ジカ 1141 171 m乳類 コカ 1144 171 m乳類 コカ 1145 171 m乳類 コカ 1146 171 m乳類 コカ 1146 171 m乳類 コカ 1146 171 m乳類 ロマ 198 m乳素 ロマ 198 m乳類 ロマ 198 m乳素 ロマ 198 m乳素	中中長樵莊肋主饒脛中長下下下肋椎椎太中中脛足踵距頭中尺大指橈指大手足幹骨骨骨上骨骨手幹頭期頭骨骨骨腿手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左右右左右右	基整幹部 基幹部 推頭 位体 近全体 近位体 近位体 近位体 が 3 と り後ろの底部のみ 2 ~ M 2 7 より第2 を M 2 7 より第2 を M 2 7 より第2 を M 2 7 より第2 を M 2 が最近位体のみ 遠近位位の部域 位達 近位位を部域 大損 金全全体 変が部分 変がでいる を変がいる 変がでいる でがでいる でがでいる 変がでがでがでがでがでがでいる 変がでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがで	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下類枝一部欠損 近位端は刃物で切断 全体 近位間 速位部前面欠損	不明明不未 不明	なああり なし なな ああ内側の り頭の り頭の りゅう し なな ああり 外面 即 の り の の か が の か り の の り の り の り の り の り の り の り の り	な不な な なな なななななな不ななな不なななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 連存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損 離突起は刃物で切断権突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 上下面に激しい切痕 近位端犬の咬痕 低い切痕 近位端犬の咬痕
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシ 1200 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1203 144 無痕 ダイ 1150 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イスシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシカ類 1292 153 哺乳類 カカ類 1204 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 144 171 m乳類 シカ 144 171 m乳類 イノシシ 145 171 m乳類 リカ 146 171 m乳類 リカ 146 171 m乳類 リカ 146 171 m乳類 リカ 145 171 m乳類 リカ 146 171 m乳類 リカ 146 171 m乳類 リカ 146 171 m乳類 リカ 147 m乳類 リカ 148 171 m乳類 リカ 146 171 m乳類 リカ 147 171 m乳類 リカ 148 171 m乳類 リカ 148 171 m乳類 リカ 148 171 m乳類 リカ 146 171 m乳類 リカ 147 171 m乳類 リカ 148 171 m乳類 リカ 148 171 m乳類 リカ 148 171 m乳類 フカ 146 171 m乳類 フカ 147 171 m乳類 フカ 148 171 m乳類 171 m乳類 171	中中長椎脛肋主機脛中長下下下肋椎椎大中中脛足踵距頭中尺大指繞指大上手足幹骨骨骨上骨骨手幹頭頭頭割骨骨腱手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨上骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左右右左右右左	基幹部 基幹部 基幹 「位部 「位部 「位部 「位部 「位部 「位部 「位部 「位	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損 近位端は刀物で切断 全体 近位側 速位部前面欠損	不明明不来 不明 骨骨 不老第3後時間 不不明明不要 不明明不要 不明明 一个	なししありり なしし なな ああ内側の 間あり かり はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はんしゅう はんしゅう しゅうしゅう はんしゅう しゅうしゅう はんしゅう しゅうしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はんしゅう しゅうしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はんしゅう はんしゅう しゅうしゅう はんしゅう はんしゅん	な不な な なな ななななな不ななな不ななななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイスの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起はへし折っている 惟弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端犬の咬痕 GIA.1cm Dp1.7cm
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジャイノシシ 1202 144 哺乳類 ヴァイノシカ 1202 144 哺乳類 ヴァイノシカ 1203 144 無乳類 ベタイ 1150 153 哺乳類 イアカラ 1294 153 哺乳類 イアシシ 1293 153 哺乳類 イアシシ 1294 153 哺乳類 イアシシ 1297 153 哺乳類 イアシシ 1288 153 哺乳類 イアシシ 1288 153 哺乳類 イアシシ 1292 153 哺乳類 イアシシ 1149 153 哺乳類 イアシカ 1149 153 哺乳類 イアカ類 1292 153 哺乳類 イアカ類 1290 153 哺乳類 イアカ類 1290 153 哺乳類 カカ類 1204 153 哺乳類 カカ類 1205 153 哺乳類 カカ 1205 153 哺乳類 カカ 1205 153 m乳類 カカ 1205 153 m乳類 カカ 1207 153 m乳類 カカ 1144 171 m乳類 カカ 1144 171 m乳類 イアシシ 1144 171 m乳類 イアシシ 1145 171 m乳類 カカ 1141 171 141	中中長樵歷肋主燒歷中長下下下下肋椎椎大中中歷足踵距顕中尺大指換指大上肩手足幹骨骨骨上背骨手幹顕顎顕顎骨骨骨腿手足骨龈骨骨蓋足骨腿骨骨骨腱腕甲骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左 左右右左右右左右	基幹部 基幹部 推理 位部 全住 位部 全体 近位 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下猟枝一部欠損 近位端は刃物で切断 全体 近位側 遠位部前面欠損	不明明 不表 不明 骨骨 化溶液 化 明明 不表 不明明 不表 不明明 不表 不明 骨骨 化溶液 化 明明 不	なしり ない しい なない から しい なない から しい ない しい ない しい から り 知 の かり か で いい から かり かい	な不な な なな ななななな不ななな不ななななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイスの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起はへし折っている 惟弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端犬の咬痕 GIA.1cm Dp1.7cm
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジャイノシシ 1200 144 哺乳類 ブル・イノシカ 1202 144 哺乳類 ブル・イノシカ 1203 144 無類 ダイ 1150 153 哺乳類 イメシシ 1281 153 哺乳類 イメシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1290 153 哺乳類 イルカ類 1290 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 1207 153	中中長樵脛肋主饒脛中長下下下肋椎椎太中中脛足踵距顕中尺大指檢指大上肩角手足幹骨骨骨手幹顕顕顕動骨骨尾腿手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨上骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左右右左右右左右	基整幹部 基整幹部 推理 位部 全体 近 依 部	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下猟枝一部欠損 近位端は刃物で切断 全体 近位側 遠位部前面欠損	不明明不来 不明 骨骨 不老第3後時間 不不明明不要 不明明不要 不明明 一个	なしり ない しい なない から しい なない から しい ない しい ない しい から り 知 の かり か で いい から かり かい	な不な な なな なななななな不ななな不なななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイスの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端大の咬痕 GIA.1cm Dp1.7cm Dp1.97cm 両端部近辺にカットマークが集中
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシ 1200 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシ 1203 144 魚類 ゴカ・イノシ 1150 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1293 153 哺乳類 イヌ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1148 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イノシカ類 1292 153 哺乳類 ブカカ類 1204 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 144 171	中中長椎脛肋主槌脛中長下下下防椎椎大中中脛足踵距頭中尺大指繞指大上肩角肋手足幹骨骨骨手幹頭掰頭頭骨骨骨腿手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨腿腕甲の骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左右右左右右左右一左	基幹部 基幹部 推理 位部 全住 位部 全体 近位 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下類枝一部欠損 近位端は刃物で切断 全体 近位間 速位部前面欠損	不明明 不未 不明	なああり な し なな ああ内側の り頭の り頭の り頭の り頭の り頭の り頭の り頭の り頭の り頭の り頭	な不な な ななななななな不ななな不なななななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイスの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起はへし折っている 惟弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端犬の咬痕 GIA.1cm Dp1.7cm
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジャイノシシ 1200 144 哺乳類 ブル・イノシカ 1202 144 哺乳類 ブル・イノシカ 1203 144 無類 ダイ 1150 153 哺乳類 イメシシ 1281 153 哺乳類 イメシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1290 153 哺乳類 イルカ類 1290 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 1207 153	中中長椎脛肋主槌脛中長下下下防椎椎大中中脛足踵距頭中尺大指繞指大上肩角肋手足幹骨骨骨手幹頭掰頭頭骨骨骨腿手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨腿腕甲の骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左右右左右右左右一左	基幹部 基幹部 基幹 「位部 「位部 「位部 「位部 「位部 「位部 「位部 「位	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損 近位端は刀物で切断 全体 近位側 速位部前面欠損	不不表 不明明不表 不明明不表 不明明不表 不明明不表 不明明不表 不明明不表 不明明 一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一	なああり な し なな ああ内側の 関係の 関係の できない ああり 国あり できない ちゅうり できない から かい	な不な。な。なななななな不ななな不ななななななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイスの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端大の咬痕 GIA.1cm Dp1.7cm Dp1.97cm 両端部近辺にカットマークが集中
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジャイノシシ 1202 144 哺乳類 ヴァイノシ 1201 144 哺乳類 ブァイノシ 1201 144 哺乳類 ブァイノシ 1203 144 無乳類 ブァイノシ 1203 144 無乳類 イス 1150 153 哺乳類 イス 1294 153 哺乳類 イス 1298 153 哺乳類 イスシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1148 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 イルカ類 1290 153 哺乳類 カカ類 1290 153 哺乳類 カカ類 1204 153 哺乳類 カカ類 1205 153 哺乳類 カカ 1205 153 哺乳類 カカ 1205 153 哺乳類 カカ 1207 153 m乳類 カカ 1144 171 m乳類 カカ 1144 171 m乳類 イノシシ 1145 171 m乳類 オイノシシ 1146 171 m乳類 カカ 1141 171 m乳別類 カカ 1141 171 m乳別類 カカ 1141 171 m乳別類 カカ 1141 171 m乳別類 カカ 1141 1	中中長樵歷肋主燒歷中長下下下下肋椎椎大中中歷足踵距頭中尺大指換指大上肩角肋脛手足幹骨骨骨上骨骨手幹頭顎頭頸骨骨骨腿手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨骨腱腱甲の骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左右右左右右左右二左左	基幹部 基幹部 推	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損 近位端は刃物で切断 全体 近位間 遠位部前面欠損	不明明不未 不明 骨骨 化法济 化明明 不不表 不明明不表 不明明不表 不明明不表 不明 骨骨 化法济 化明明 化 化 计 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化	なああり な し なな ああ内側のあり	な不な な なな ななななな不ななな不ななななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイスの咬痕 イスの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端犬の咬痕 GIA.1cm Dp1.7cm Dp1.97cm 両端部近辺にカットマークが集中
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジャイノシシ 1202 144 哺乳類 ヴァイノシシ 1201 144 哺乳類 ヴァイノシシ 1203 144 魚類 ヅダイ 1150 153 哺乳類 イスタシ 1289 153 哺乳類 イスシシ 1289 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1148 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 カカ 1207 153 「哺乳類 シカ 1207 153 「哺乳類 シカ 1207 153 「哺乳類 シカ 1207 153 「哺乳類 シカ 1207 153 「哺乳類 リカ 144 171 「「「「「「」」「「「「」」「「「「」」」「「「「」」「「「」」「「「「」」「「「」」「「「」」「「「「	中中長椎脛肋主橈脛中長下下下肋椎椎太中中脛足踵距顕中尺大指換指大上肩角肋脛上手足幹骨骨骨手幹頭顎頭頭骨骨尾腿手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨上骨骨骨上骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左右右左右右左右二左左左	基整幹部 基整幹部 推理 位部 位体 近体 (位部 位体) (位部 一近全) (位部 一位下	前面のみ 全体 近位端外損 内側関節欠損 上半部のみ 下類枝一部欠損 近位端は刃物で切断 全体 近位間 速位部前面欠損	不不未 不明	なああり な し なな ああ内側あり かかか な しし ああり かかか し し し り かり 面 忠い あり 外の り 頭 で 切 い 切 い 切 い の し し し か り の か り り の か り り の か り り の か り り の か り り の か り り の か り り の か り り の か り り の か り り の か り り の か り り の か り り り の か り り り り	な不な な なななななな不ななな不ななななななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイスの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端大の咬痕 GIA.1cm Dp1.7cm Dp1.97cm 両端部近辺にカットマークが集中
1210 137 哺乳類 シカ	中中長椎脛肋主槌脛中長下下下防椎椎大中中脛足踵距頭中尺大指橈指大上肩角肋脛上歯手足幹骨骨骨手幹頭瀕頭跗骨骨階壓手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨围腕甲の骨骨腕骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左 左右右左右右左右一左左左左	基整部 基整部 基整幹部 在	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損 近位端は刀物で切断 全体 近位間前面欠損	不不表 不明明不表 不明明不表 不明明不表 不明明不表 不明明不表 不明明不表 不明明 一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一	なああり な しし なな ああ内外側あ 性あ刃あなあなあああああめ内側あり頭にり でししし りり 間かり 頭にり でししし かりり 間かり かざい かい	な不な。な、なななななな不ななな不なななななななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイスの咬痕 イスの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端犬の咬痕 GIA.1cm Dp1.7cm Dp1.97cm 両端部近辺にカットマークが集中
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ガ・イノシカ 1202 144 哺乳類 ガ・イノシカ 1203 144 無魚類 ガ・イノシカ 1203 144 無類 ガ・イノシカ 1294 153 哺乳類 イヌ 1294 153 哺乳類 イヌ 1298 153 哺乳類 イヌシカ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 148 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1290 153 哺乳類 イノシカ 1290 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 カカカ 1204 153 哺乳類 カカカ 1205 153 哺乳類 シカ 1205 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 シカ 1207 153 m乳類 カカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカ	中中長樵歷肋主饒脛中長下下下下肋椎椎大中中脛足踵距頭中尺大指橈指大上肩角肋脛上歯肩手足幹骨骨骨上骨骨手幹頭顎頭勁骨骨骨腿手足骨根骨骨蓋足骨腿腭骨骨骨腿甲の骨骨腕骨甲骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左左左右右左右右左右二左左左左左左	基幹部 基幹部 推頭 位部 全体 近位部 全体 近位部 の	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損 近位端は刃物で切断 全体 近位間 遠位部前面欠損	不明明不未 不明 骨骨 不老第 3 使 1 使 1 使 1 使 1 使 1 使 1 使 1 使 1 使 1 使	なああり な し なな ああ内側の 動性あ 刃あなあななああああり し し しし りり 知識 かり し し し りり 知識 かり 明め り 頭に ありり 側 り 面にあり り 面にあり り 面にあり り 面にあり し し し し し り し で し り し い の に あり し し り し い の に あり し い の に か り り い の に あり し い の に か り り い の に あり し い の に か り り い の に か り り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か い の に か り い の い の に か い の い の い の い の い の い の い の い の い の い	な不な な なな ななななな不ななな不ななななななななななななななななななな	表面剥落 (全6.38cm) 遺存悪い 大の咬痕 (全6.38cm) 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイスの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先端だけが欠損 精突起は刃物で切断構突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端犬の咬痕 GIA.1cm Dp1.7cm Dp1.97cm 両端部近辺にカットマークが集中 表面剥落 遺存悪い
1210 137 哺乳類 3カ 1324 137 哺乳類 3カ・イノシ 1202 144 哺乳類 2カ・イノシ 1201 144 哺乳類 2カ・イノシ 1203 144 哺乳類 2カ・イノシ 1203 144 無額 ダイ 1150 153 哺乳類 イスタ 1293 153 哺乳類 イスタ 1293 153 哺乳類 イスタ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1148 153 哺乳類 イノシシ 1149 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 イルカ類 1290 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1206 153 哺乳類 シカ 1207 153 153 159 m乳類 シカ 144 171 m乳類 シカ 144 171 m乳類 コカ 144 171 m乳類 コカ 144 171 m乳類 コカ 144 171 m乳類 コカ 145 171 m乳類 コカ 171 1	中中長椎脛肋主橈脛中長下下下肋椎椎大中中脛足踵距顕中尺大指橈指大上肩角肋脛上歯肩肩手胫幹骨骨骨手軽顕朔쮔顎骨骨尾手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨骨腕甲の骨骨腕骨甲甲骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左	基整部 基整部 基整幹部 在	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損 近位端は刃物で切断 全体 近位間 遠位部前面欠損	不不未 不明 骨骨 不老第3 6世紀	なああり な し なな ああ内側の 動性あ 刃あなあななああああり し し しし りり 知識 かり し し し りり 知識 かり 明め り 頭に ありり 側 り 面にあり り 面にあり り 面にあり り 面にあり し し し し し り し で し り し い の に あり し し り し い の に あり し い の に か り り い の に あり し い の に か り り い の に あり し い の に か り り い の に か り り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か り い の に か い の に か り い の い の に か い の い の い の い の い の い の い の い の い の い	な不な。な、なななななな不ななな不なななななななななななななななななななななな	表面剥落 後6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイスの咬痕 イスの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損 棘突起は刃物で切断構突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端犬の咬痕 GIA.1cm Dp1.7cm Dp1.97cm 両端部近辺にカットマークが集中
1210 137 哺乳類 シカ	中中長椎脛肋主槌脛中長下下下肋椎椎大中中脛足踵距頭中尺大指繞指大上肩角肋脛上歯肩肩主手足幹骨骨骨手幹頭瀕頭跗骨骨腱手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨腿腕甲の骨骨腕骨甲甲上骨骨骨骨。骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左	基幹部 基幹部 推頭 位部 全体 近位部 全体 近位部 の	前面のみ 全体 近位端外損 内側関節欠損 上半部のみ 下類枝一部欠損 近位端は刃物で切断 全体 近位間 速位部前面欠損	不不未 不明 骨骨 不老第 M 3 使 1 化 1 的 1 的 1 的 1 的 1 的 1 的 1 的 1 的 1 的	なああり な しし ああ内歯あ性あ刃あなあなあああ内側の なあかり し しし りり面 歌 かり 回 なな もしし りのりの 頭の からがり かい り で しししり しゅう	な不な、な、なななななな不ななな不ななななななななななななななななななななな	表面剥落 (全6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損 縁突起は刃物で切断横突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角壁の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端大の咬痕 GLA.lcm Dpl.7cm Dpl.97cm 両端部近辺にカットマークが集中 表面剥落 遺存悪い
1210 137 哺乳類 シカ 1324 137 哺乳類 ジカ・イノシシ 1201 144 哺乳類 ブカ・イノシカ 1202 144 哺乳類 ブカ・イノシカ 1203 144 哺乳類 ブカ・イノシカ 1203 144 哺乳類 ブカ・イノシカ 1353 哺乳類 イスタラ 1284 153 哺乳類 イスタシ 1284 153 哺乳類 イスタシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1287 153 哺乳類 イノシシ 1288 153 哺乳類 イノシシ 148 153 哺乳類 イノシシ 148 153 哺乳類 イノシシ 148 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 イルカ類 1292 153 哺乳類 カカ類 1294 153 哺乳類 カカ類 1295 153 哺乳類 カカ類 1206 153 哺乳類 シカ 1207 153 哺乳類 カカ 1207 153 m乳類 カカ 1144 171 m乳類 イノシシ 1142 171 m乳類 イノシシ 1144 171 m乳類 イノシシ 1145 171 m乳類 カカ 1144 171 m乳類 オーノシシ 1145 171 m乳類 カカ 1141 171 m乳類 カカ 1131 201 m乳類 カカ 1314 201 m乳類 カカ 1315 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ カカ 1316 201 m乳類 カカ カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316 201 m乳類 カカ 1316	中中長椎脛肋主橈脛中長下下下肋椎椎大中中脛足踵距顕中尺大指橈指大上肩角肋脛上歯肩肩手胫幹骨骨骨手軽顕朔쮔顎骨骨尾手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨骨腕甲の骨骨腕骨甲甲骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左	基幹部 基幹部 推頭 位部 全体 近位部 全体 近位部 の	前面のみ 全体 近位端欠損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損 近位端は刀物で切断 全体 近位端は刀物で切断	不明明不来 不明 骨骨 不老第3 後時間 不不 一个	なああり な しし なな ああ内側の機あ 関係の ひとしし りり 面ありり 置いる としし りり 面ありり でも ひとしし りり 関ルの でも ひとし りり 関ルの でも いっぱい かりり 面 でも いっぱい かりり 面 でいっぱい かりり の でいっぱい かりり しゅうしゅう しゅう	な不な。な、なななななな不ななな不なななななななななななななななななななななな	表面剥落 (全6.38cm) 遺存悪い 大の咬痕 (全6.38cm) 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイスの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯冠消滅 牙は先端だけが欠損 精突起は刃物で切断構突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 全体にイヌの咬痕 角座の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端犬の咬痕 GIA.1cm Dp1.7cm Dp1.97cm 両端部近辺にカットマークが集中 表面剥落 遺存悪い
1210 137 哺乳類 シカ	中中長椎脛肋主槌脛中長下下下肋椎椎大中中脛足踵距頭中尺大指繞指大上肩角肋脛上歯肩肩主手足幹骨骨骨手幹頭瀕頭跗骨骨腱手足骨根骨骨蓋足骨腿骨骨腿腕甲の骨骨腕骨甲甲上骨骨骨骨。骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨骨	左 左左 左左右左右 左右左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左左	基幹部 基幹部 (本)	前面のみ 全体 近位端次損 内側関節欠損 上半部のみ 下顎枝一部欠損 近位端は刃物で切断 全体 近位間 遠位部前面欠損	不不未 不明 骨骨 不老第3 最大 的	なああり な し なな ああ内側の 動性あ 刃あなあなあああめ 内側の 動頭の 動性の りゅう しゅう しゅう りゅう から しゅう	な不な、な、なななななな不ななな不ななななななななななななななななななななな	表面剥落 (全6.38cm 遺存悪い 大の咬痕 スパイラルな割れ口 端部にイヌの咬痕 イヌの咬痕あり ウサギ程の大きさ M 1 咬耗で歯短消滅 牙は先端だけが欠損 縁突起は刃物で切断横突起はへし折っている 権弓板刃物で切断 近位端に犬の咬痕 全体にイヌの咬痕 表面ほとんど剥落 全体にイヌの咬痕 角壁の根本をナタで切断 上下面に激しい切痕 近位端大の咬痕 GLA.lcm Dpl.7cm Dpl.97cm 両端部近辺にカットマークが集中 表面剥落 遺存悪い

		1	Cr. of total	1 (84) 4			Day of a			тт	
番号			小分類 タイ類	部位名 前上顎骨	左右	部分1	部分 2	成長度 不明	切痕 不明	火熱	備考
1319 1322	239	魚類	タイ類	前上顎骨	左	一部分のみ			あり	なし	
1317	239	魚類	マダイ	椎骨	1/11	椎体のみ		不明	あり	なし	
		魚類	マダイ	前鰓蓋骨	左	上側欠損		不明	なし	なし	
1132	242	哺乳類		肋骨	左	近遠端欠損		不明	なし	なし	たぬき、イヌ程度か。海獣(イルカ)かも
		哺乳類									製品?
		哺乳類		桡骨	左	遠位端犬にかじりとられる			なし	なし	イヌの岐痕。解体後130と連結したままかじられている
		哺乳類		尺骨	左	近・遠端犬にかじりとられる 全体		済		なし 不明	
1094 1127		哺乳類哺乳類		脛骨 中手骨	右	近位部		済	なし あり	不明	割れ口スパイラル Bp2.45
1126		哺乳類		中手骨	左	近位部		済	あり	なし	割れ口スパイラル Bp3.07
1129		哺乳類		肩甲骨	左	遠位端のみ		済		不明	表面遺存悪い
1125		哺乳類		大腿骨	右	近位端骨頭と遠位端未骨化			多い	なし	
1128	242	哺乳類	シカ	肩甲骨	右	遠位部		済	不明	不明	表面遺存悪い
1124	242		マダイ	歯骨	右	全体		60~70c	なし	なし	
1333				椎骨		2~3個分がパラバラにされている		骨化済	あり(わずかに)	不明	シカよりも小さい イヌ程度
1158 1155		魚類 哺乳類	イノシシ	主鰓蓋骨	右	近位部		未骨化	椎頭ナタ痕	不明	タイににている
1156		哺乳類		椎骨		椎弓板の一部		不明	不明	不明	刃物による切断
1157				長幹骨片		III. 7 PX - 2 EP		1 //	1 73	11.73	小片
1152		哺乳類		指骨	右側	中節骨		済	なし	なし	Dp1.92m
1123	498	哺乳類	イルカ・クジラ	椎骨		椎体のみ		済	全体にあり		突起ほとんどが刃物による切断。
1074		哺乳類		上腕骨	右	遠位部	遠位端関節面前側欠損	0.000	なし	なし	
1070		哺乳紫		頭蓋骨	左側	P 3 より前を欠損		成獣	なし	なし	M 3 咬耗進む
1274 1269		哺乳類		下顎骨 肋骨 その他	<i>I</i> r.	P 2 ~ M 1 小片		乳歯残る	なし 一部あり	なしなし	肋骨はタヌキほど その他長骨片はシカ・イノシシ
1269		哺乳類		肋骨 その他	1	遠位部		不明	一部めり あり	なし	//// 19 to / ヘコto (V/IETX 青月 はンパ・1/ソン
1267		哺乳舞		肩甲骨	左	速位部	遠位端欠損	不明	あり	なし	
1268		哺乳類		脛骨	<u> </u>	一部のみ		不明	なし	黒化	
1270	522	魚類	マダイ	前上顎骨	左	一部欠損		不明	なし	なし	
1271	522			歯骨	左	全体		不明	なし	なし	
1242	528			大腿骨	右	近位端欠損		骨化済	あり	なし	
1234	552	哺乳類哺乳類	イノシシ	指骨 脛骨	右側	中節骨 近位部		骨化済	なし あり	不明 なし	
1233 1232	552	哺乳類	シカ	<u></u> 腔質	左左	全体		近位端未骨化 遠位端未骨化	あり	なし	
1076		哺乳類		姓 骨	左	全体		済	あり	なし	GL7.96cm
1078		哺乳類		中手骨	岩一	遠位端欠損		近位済	両側面にあり	なし	全面にイヌの咬痕
1077		哺乳舞		距骨	左	全体		済	なし	なし	075~077は連続する
1075	552	哺乳舞	シカ	脛骨	左	遠位端		済	あり	なし	刃物による切断
1235		哺乳舞		上腕骨	右	近位端未骨化		遠位端骨化済	なし	なし	
1089			カワウソ	下顎骨	右	下顎枝上半欠損	あご先端欠	成獣 M1 咬耗著しい		不明	
1264				肩甲骨	左	基幹部		不明	なし	なし	000000000000000000000000000000000000000
1263 1262				下顎骨	左左	P 3。P 4 部 M 2。M 3 部		咬耗進んでいる 咬耗進んでいる	なし なし	なしなし	262の続きか?
1266				肩甲骨	右	遠位部	遠位端欠損	不明	あり	なし	
1099				頭蓋骨	右	角座	200 E IN 7 C37C	済	あり	なし	角座 根本を刃物で切断
1279	671	哺乳類	_	脛骨?	-	-	小片	-	あり	なし	
1276		哺乳舞		頭蓋骨	右側	鼻頭部		不明	あり	なし	
1277				肋骨	—	基幹部	ulu frei	不明	あり	なし	Is a new star
1278		哺乳類		中手·中足信	打石	速位端	内側	骨化済	なし	不明	犬の咬痕
1252 1251	680			長幹骨 中手骨	右	基幹部小片 近位部		骨化済	あり	なし	基幹部で骨折後治癒 増殖
1251			タイ類?	椎骨	10-	21.12. ap		不明?	なし	不明	至中1017年1018年128
		81哺乳類		中手骨	右	近位部		骨化済	不明	不明	表面剥落著しい
	0680-068			角骨	左	近位部		1 m 程	なし	なし	
	0680-068			椎骨		椎体のみ		不明	なし	不明	GL2.5cm
1272		哺乳舞		長幹骨	1	基幹部	小片	不明	なし	なし	
1273			タイ類	歯骨	右	後ろのみ		不明不明	なし	なし	w # / 0
1275 1091	681		タイ類 シカ	歯骨 距骨	左 左	先端欠損 全部	Ⅲの遠位端欠損	済	なしなし	なし 1部黒く灰	マダイ? CL 2.76am
1246			アカニシ	中軸部のみ	/1.	王即	皿で八本匠場へ頂	(A)	30	1 即無 / //	GES.70cm
1244				椎骨					なし	なし	
	686	魚類	サメ類	椎骨					なし	なし	径3.22cm
1245	686	魚類	サメ類	椎骨					なし	なし	
1260				前鰓蓋骨	左?	基幹部のみ		18. (1. 39)	+ 6	700	
1261			ウサギ	上腕骨	右	近位部 椎体と椎弓板		骨化済 椎頭。窩未骨化	あり	不明	
1258 1255		哺乳舞		頸椎 頸椎	+	惟体と惟与似		性頭。高木育化 椎窩未骨化	なし あり	なしなし	前側 1 / 3 切断
		哺乳類		頸椎		左側椎弓板欠損	-	椎頭。窩未骨化	なし	なし	19 PO 1 / O 3/DA
1256		哺乳類		頸椎		椎弓板後半欠損		椎頭。窩未骨化	あり	なし	
1254	695	哺乳類	シカ	肩甲骨	左	遠位部		骨化済	なし	なし	犬の咬痕
1253	695	哺乳類	シカ	上腕骨	左	遠位部		骨化済	あり	なし	
1259	695		タイ類	主鰓蓋骨	左	近位部	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	不明	なし	なし	マダイ?
1028			イルカ類	椎骨	+	推体	前半?のみ	骨化済	あり	なし	前後に鉄器で切断 椎頭幅4.61cm
1022		哺乳類 魚類	<u> </u>	不明	+	 	ļ	 	なし	なし	
1007			イノシシ	下顎骨	左	м 3	-	第3岐頭ほとんど咬耗なし			
			イノシシ	下顎骨	右	P 2 ~ M 1 とその下顎骨	1	M 1 咬耗進んでいる	なし	なし	
1009	720	哺乳類	イノシシ	下顎骨	左	M 1~ M 3 とその下顎骨		若獣。M 3 崩出中。		なし	
1021	720	哺乳類	イノシシ	上顎切歯	?				なし	なし	
			イノシシ	大腿骨	左	遠位端		未骨化	なし	なし	Arra a di
1088			イルカ類	椎骨	+	推体	 	済	刃物による切痕		径3.2cm 程
	720) 哺乳類) 哺乳類	リソイ	肋骨 中手骨·中足骨	右	近位部 遠位端	内外片方	骨化済	あり 不明	なし 不明	
1002) 哺乳類) 哺乳類		中手官·中足官 下顎骨	右	- 返位編切断 近位端切断	1717177 /J	育化資 M 3 咬耗進む	あり	なし	M 3 第 1 咬頭の歯冠高1.82cm
1018	720	哺乳類	シカ	上腕骨	左	近位部	骨頭外側欠損	骨化済	あり	なし	骨頭の後と内側に水平方向のカナマーク。割れロスパイラル
		哺乳類		距骨	左	Arm love bala			なし	なし	全長4.03cm
1016	720	哺乳类	シカ	脛骨	左	遠位部		骨化済	あり	なし	割れ口スパイラル。遠位遺側に短い水平方向のカットマーク
1015	720	哺乳類	[シカ	踵骨	右	遠位部欠損		骨化済	なし	あり。灰色	
1086		哺乳類		脛骨	左	遠位端	-	済	なし	灰色化	割れ口スパイラル
1013	720	哺乳類		中手骨	七	近位部		骨化済	なし	灰色	御わロッパイニル
1014) 哺乳類) 哺乳類		中足骨 距骨	左?	遠位部 全体		遠位端未骨化 済	なし なし_	なし 灰色化	割れ口スパイラル GL3.31cmDW2.16cm
) 哺乳類) 哺乳類		大腿骨	左	近位端のみ	 	骨化済	あり	<u> </u>	GLO,OTOHID WZ.100H
1010				17 NOW 17	1 rules	production of the control of the con	T. Control of the Con	1 17 19 17		<u> </u>	

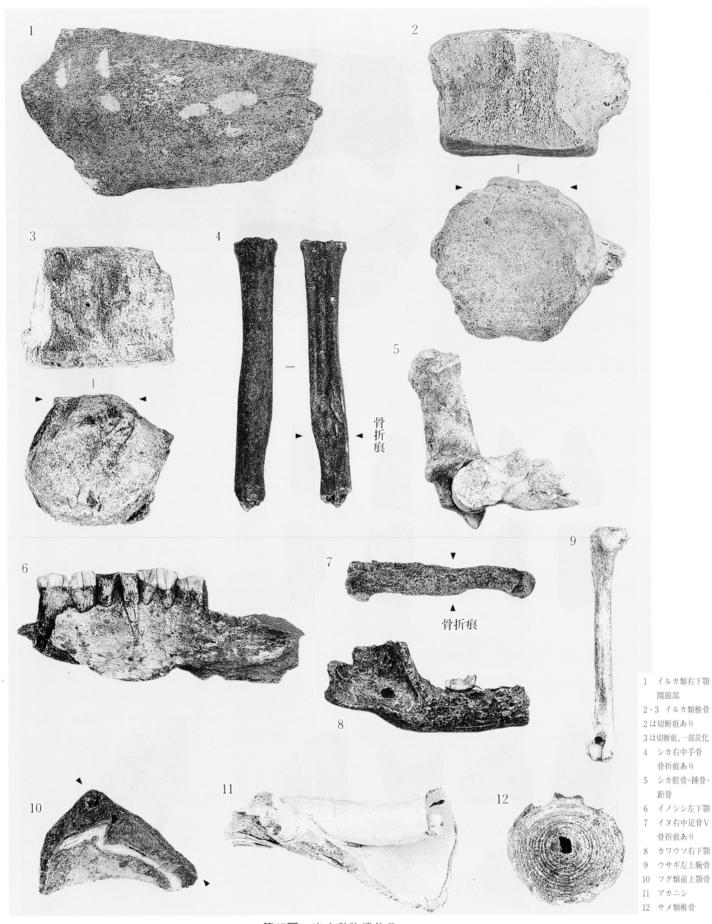
[.es. to]	01. 57	1.71 22	1 75 422	4011-1-		(d) /3 1	WW /3 0	A F M	Sent other	L. Ab	/m://.
番号		大分類 哺乳類	小分類	部位名 下顎骨と歯	左左左		部分 2 M1, M2, M 3の破片	成長度 M 3 咬軽わずか	切痕 なし	<u>火熱</u> なし	備考
1011	720	哺乳類	シカ・イノシシ	距骨	/	小破片のみ	1712) 1710 17501	74 0 9640 11 7 4	なし	なし	
1004		哺乳類		肋骨小片						あり(白色化)	
1005	720 720	魚類	マダイマダイ	上後頭骨 主止顎骨							
1019	720	魚類		前頭骨	右				なし	なし	中央部でカプト割り
1106	730	哺乳類	イノシシ	下顎骨	左	M 2 ~ M 3		M 3 萌出中	不明	不明	M 3 第3咬頭に咬耗あり
1024		哺乳類		上腕骨?	,	and the second		et il ub	なし	なし	
1023 1025		哺乳類	シカ?	頭頂骨 機骨	右右	眼窩からツノまで 遠位部	遠位端欠損	骨化済	あり なし	なし なし	ツノの根本をナタで切断
1025	738	哺乳類	シカ?	機骨	?	遠位端のみ	还压缩入3页		なし	なし	
1027	738	哺乳類	シカ?						なし	なし	
1230	764	哺乳類	シカ	上腕骨	Æ.	遠位部		骨化済	あり	なし	L CU TOL TOLE
1231 1037	764	無類 min 新	フグ類 イノシシ	前上顎骨 上腕骨?	左			不明	あり なし	なし 不明	上端刃物で切断
1040	765	哺乳類	イルカ類	椎骨	/	椎体のみ		未骨化(椎頭。窩)		なし	
1042	765	哺乳類	イルカ類	椎骨		推頭板		未骨化	なし	なし	040、041とはあわない。2枚分
1039			イルカ類	椎骨		椎弓板小片			the to		破片 7 点
1038			イルカ類 イルカ類	第1頸椎 椎骨		左側2/3のみ 椎弓板欠く	横突起欠く	未骨化(椎頭。窩)	あり あり	なし	
1035			ウシ・ウマ?			1年・万4久人 、	(英)人に (八月101年頃。同/	なし	なし	
1033	765	哺乳類	シカ	脛骨	右	近位端		骨化済	近位部後ろ	なし	
1034			シカ・イノシシ	長幹骨片		小片			なし	不明	破片6点
1036 1228	765	哺乳類哺乳類	シカ・イノシシ	肋骨片 肩甲骨	左?	遠位部 一部のみ			あり	なし	
1229	767	哺乳類		尺骨		遠位部			なし		
1222	767	哺乳類	ウシ	肩甲骨	右	遠位部		骨化済	あり多い	なし	
1214		哺乳類		機骨	左.	近位部	近位端外側関節欠損		あり	なし	
1225 1224		哺乳類哺乳類		上腕骨 	左 右?	骨頭部のみ 一部欠損		骨化済 不明	なし あり	なしなし	
1224		哺乳類		膝蓋骨 歯	10 (上類	第三小臼歯	4199	99 17	はし	
1213	767	哺乳舞	ウシ	尺骨	左	近位部	肘頭隆起欠損	骨化済	あり	なし	
1216	767	哺乳舞	ウシ	上腕骨	左	近位墙欠損 遠位端後方関節欠損		骨化済	あり	なし	
1219 1218		哺乳類哺乳類	ウシ	橈骨 脛骨	左左	遠位端欠損 近位端欠損		骨化済	ありあり	なし なし	
1217	767	哺乳舞	ウシ	尺骨	右	近位部	肘頭隆起欠損	骨化済 骨化済	あり	なし	
1221		哺乳類		橈骨	左	全体 表面剥落多い	0130120C7CBC	済	近位側に多い	なし	
1220	767	哺乳類	シカ	橈骨	右	近位端外側関節面欠損		骨化済	なし	なし	
1215	767			大腿骨	左	遠位端		骨化済	あり	一部黒〈灰化	1
1226 1227	767	哺乳類 哺乳類	シカ	橈骨 中足骨	左	遠位端関節面のみ 近位端欠損		未骨化 遠位部未骨化	なし あり	なし なし	
1375	798	哺乳類	ウシ	寛骨	右	関節自近辺		骨化済み	あり	なし	遺存状態悪い
1374	798	哺乳類	ウシ	下顎	右						
1096		哺乳舞		下顎骨	左	下顎枝欠損		成獣になって動ない	外側に多数		
1122	798		(シカ マダイ?	寬骨 前頂骨?	右	腸骨体近辺のみ		不明	あり ナタによる切断	なしなし	
1030	799			椎骨		頭骨直後の椎骨			なし	なし	全長50~60m
1300	804	哺乳舞	イノシシ	上顎骨	左	P 1 ~ P 4まで		咬耗進んでいない	なし	なし	
1284	865			下顎骨	右	745.64.461 £.402		M AL-YM	67 #1. de la		
1285 1297	865 866	哺乳舞 哺乳舞		大腿骨 肩甲骨	左	遠位端欠損 細片化している		骨化済 骨化済	多数あり	なしなし	
1298	866			上腕骨?	/ <u>T.</u>	基幹部	細片化	不明	不明	不明	
1282	866			上腕骨	右	大転子欠損	7,447 16	骨化済	あり	なし	
1281		哺乳類	(ウシ	橈骨	右	遠位端のみ		骨化済	あり	なし	
1296 1280	866	哺乳類 哺乳類		脛骨 距骨	右右	近端欠損 全体		遠端骨化済 骨化済	あり	なし なし	こそぎ落とすような切痕あり GL6.31cm
1283	866	哺乳類	リウン! ウシ?	長幹骨	1/0	<u> </u> 基幹部		不明	あり	なし	GE0.51cm
1301	866		シカ・イノシシ	肋骨		基幹部		不明	2本にあり		3本分
1302	866	哺乳類	[シカ?	脛骨	右	基幹部		不明	なし	なし	
1295	867			下顎骨	左	細く割れている	歯P2P1か?	不明	あり	不明	犬の咬耗で表面遺存悪い
1299	867	魚類 哺乳類		椎骨 骨片	<u> </u>			9~10才?	なし	なし あり	表面全くない
1330	951	哺乳類	İ	長幹骨		細片					, , ,
1310	952	哺乳舞	シカ	肩甲骨	左	遠位端		骨化済	なし	不明	
			シカ・イ	長幹骨	-	基幹部	ļ	不明不明	なし	不明 不明	1
1332		哺乳類哺乳類		長幹骨 角	 	1 cm 角くらいの細片		不明	なし	白色化	5点
1328	990	哺乳舞	シカ	脛骨	左	基幹部		不明	あり	不明	
1309	996	哺乳類	イノシシ	上腕骨	左	近位端		骨化済	あり	不明	
			イノシシ	肩甲骨	右	速位部		骨化済 宋明	あり 不明	なし	潜方重い ショ・オリンジ ドルボント
1329		哺乳類	し イルカ類	推骨 推骨	\vdash	椎体のみ 椎体		不明 骨化済	小明 多い(椎窩)	不明不明	遺存悪い シカ・イノシシより小さい
			イルカ類	椎骨		椎体		骨化済	多い(推薦)		
1306	999	哺乳舞	シカ	脛骨	右	近位端		骨化済	あり	なし	
			シカ・イノシシ			遠位部		不明	なし	なし	
		哺乳類	シカ・イノシシ	脛骨 手根骨~末節骨	左	近位部 中手骨は残り悪い		未骨化 化骨化済み	なしなし	なし なし	手根骨もほぼ揃っている。
		哺乳類		中手骨	右	近位端		骨化済み	なし	なし	7 15 73 O 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150
1371	1007	哺乳舞	ラシ	中手骨	左	近位部		骨化済み	なし	なし	
		哺乳雞		角芯	4-	基部が多い		B. (1,200 7 3 4 7 3	あり	なし	鋸で切断されている。
		7 哺乳類 2 哺乳類		中手骨中足骨	左右	遠位端 中央部で折れ		骨化済みまもない 骨化済	なし	なしなし	
			シカ・イノシシ		73	中央部で折れ		Puul H	3.0	ب د	細片化
1050	1021	哺乳類	イノシシ	尺骨	左	近位部	近位端欠損	済	あり	なし	近位端に犬の咬痕
			シカ・イノシシ	脛骨	_	基幹部		不明	あり	不明	
		7 鳥類	 	大腿骨 歯骨	左	全体	 	骨化済み	なし	なし	
		/ 思想	1	椎骨	+-	後半のみ		椎窩未骨化	あり	なし	
1367	1027	哺乳類	(椎骨		椎頭と椎弓板		骨化済み	あり	なし	
1365	1027	7 哺乳類	(椎骨		前半のみ		不明	あり	なし	L. Y. L L. route
		7 哺乳類		肋骨	+	近端欠損		不明	なし 外側側頂	黒化	大きさタヌキ程度 知れ口フバイラル 近位端横幅2.38
		7 哺乳類	₹ イメ ₹ イノシシ	大腿骨 肩甲骨	右右	近位部 遠位部		骨化済	内面外側	なし	割れ口スパイラル 近位端横幅3.38
			イノシシ	下顎骨	左	P 4 ~ M 1		M 1 咬耗著しい	なし	なし	歯冠高2 mm
			·								

### 19									
200 100 140 17	番号 地区 大分類 小分類	部位名	左右	部分1	部分 2	成長度			備考
19 19 19 19 19 19 19 19									
1982 1974 1984 1994 1985			/r	統治公司(公元)		育化済			4
19 19 19 19 19 19 19 19			4		#1/81 as 7.	JB. 71/20			世
100 100 利用			11						ale ale TI #6 -es lan les
100 100 20			 		7友別のみ				削手刃物で切断
1955 100 年 元 1957 19		237,101,254		MARKE		71.90	なし	71197	
1954 1954 1955		椎弓板	T				あり	不明	大刑動物
1959 100 1				椎体 左側のみ					
1989 1987 1 / 1 / 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1056 1028 哺乳類						2018 70 0 77 191	1 //	T. M.Z. 77CC
1985 100 1		尺骨	左	近位部	近位端欠く				表面遺存無い
1960 109 84.5 1 / 2 / 2 2 2 2 2 2 2 2 2		頭蓋骨	左	横突起	後ろ側	済	なし	不明	
1982 1982 1982 2									
100 10			右	全体		近位端未骨化			GB23cm
Jose July 1975 1976									
1007 100 1					NE DE AL MI C. LE				
1007 1008 1008 20					遠端前側欠損				小型
1952 1952									
1955 150 日本 150 15			10 1:						M Z 朋出中 dp 4 (乳圏) 残
1995 1996 1997 1997 1998 1998 1998 1998 1999						沒			
2007 100 101 10 10 10 10 10			10		だ終る側	IA			
508 109 10					TIPK 2 BVI				不明 一
1968 1969 20 197			-		遠位端欠掲				
1989 1269 1269 1269 1269 1269 1269 1269 1269 1269 1269 1269 1269 1269 1269 1269 126	1058 1028 魚類 マダイ	前頭骨	右					0. 3	
1388 1.2		肩甲骨片?							
1388 14				椎体の一部のみ			なし	不明	
1358 1世 日本の 1			左			咬耗進んでいる	-	_	幅1.88cm
1384 1									
1932 1 日				全体					GL13.16cm Bp2.3cm
1085 1 日曜日報 インシン 第4 中下 学 全年					at the best trans				
1522 1 日					光端部欠損切断痕				
1点の 1 異 機能									GL8.93cm
1607 1月 棚に乗用 (ルカ 京 日中 一年本のみ 中本のみ 中本での発足を別略で呼吸 中本での発足を別略で呼吸 中本での発足を別略で呼吸 中本の次 なし 中本での発足を別略で呼吸 中本の次 ない			生		HE NO IS				2 #4 /3
1505 日東田県 50 m 身骨 送佐縣 本音化 なし なし なし なし ない ない ない ない					作项似				
1850 1 要用表別 たか頂 信告 相談仮 未合化 なし 交配の公園が特別所列 日本 1851 2 単形表別 たか頂 信告 相談仮 未合化 なし 不明 信子 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			-						
1888 1月 単原元素 4 かの乗 接骨 操作と乗り扱の一部 未合化 あり なし 不明 名									退11/1部、肋骨、結即をはも0月による切断
1851 1 華 1851 1 章 1									売却の生態可憐で和繁
1832 1									
1855 1 日曜 四月 1 日本									E I CHI (E
1266 1 墓 神風 銀 /					ほんの一部				表面すべて剥落
1269 1 種 南乳 刺 不安 本音 本音 大空							あり		
1349 1 整 開発側 イヤカ雄 整		肋骨			近位端欠損	不明			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
2585 1星 幅発 頭 ナチ類 中子類 報告 在 近位 日曜 南京朝 中子類 報告 在 位 し		椎骨							径4.76cm
3102 日曜 日曜 日曜 日曜 日曜 日曜 日曜 日	1358 1層 哺乳類 ウサギ	脛骨	右	近位端					
3947 1号 1号 1号 1号 1号									5個→連結
3940 1									GL14.35m
1936					近位端欠損				
1954									
1344									遺存悪い
1343 1									
1855 1巻 1巻 1巻 1巻 1巻 1巻 1									イヌの咬狼あり
1867 1 層 哺乳類 シカ 尺骨 右 全体 近端末骨化 あり なし 幼・宝献 1339 1 層 哺乳類 シカ 大観音 右 遠端 木骨化 あり なし 日本 大観音 右 近端 本骨化 あり なし 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日									MB - 6 - ATT
1990 1巻 哺乳類 シカ							CONTRACT CON		選仔思:V1
1339 1番 哺乳類 シカ 大ୟ骨 右 返鑑			70	王平		<u> </u>	<i>a</i> 9 1)	なし	
1236 1 曜 哺乳類 シカ 大泉骨			<i>‡</i> :	造機		士母化	あり	た1	月表印に加工 公古
1052 1屋 哺乳類 2カ 中足骨									割れ口スパイラル
159 1 壁 哺乳類 2 カ 原理骨 右 水作 不明 なし なし 1336 1 屋 哺乳類 2 カ 屋里骨 右 水作 不明 なし なし 1335 1 屋 哺乳類 2 カ 医音 右 近位部 骨化済まなく 多い なし 1335 1 屋 哺乳類 2 カ 医音 右 透位部 骨化済まなく 多い なし 1335 1 屋 哺乳類 2 カ 医音 右 透位部 骨化済まなく 多い なし 1335 1 屋 哺乳類 2 カ 尺骨 左 近位譜 対別接起欠損 骨化済 かない なし 1160 1 層 麻野 7 ダイ 主上頭骨 右 全体 なし なし 1341 1 屋 哺乳類 2 カ 上庭骨 右 変化菌 中化済					内面側のみ				
1964 1号 陳乳類 シカ 原甲骨 右 元 元 元 元 元 元 元 元 元	1159 1層 哺乳類 シカ								
335 屋 剛乳類 シカ 脛骨 右 近位部 骨化済まるぐ 多い なし	1164 1層 哺乳類 シカ	肩甲骨							
1335 1 壁 南乳類 シカ 巨骨 右 変位部 竹化済 不明 不明 表面選布悪い 1338 1 壁 南乳類 ヒト 頭蓋骨 一部のみ 十名を下 なし なし なし なし 1161 1 層 乳類 アダイ 主上頭骨 右 全体 中化済 本む なし なし なし 1171 1 層 乳類 アダイ 主上頭骨 右 全体 中化済 本む 本む 本む 本む 本む 本む 本む 本	1336 1層 哺乳類 シカ	脛骨	右					なし	
1338 1 層 哺乳類 シカ 尺骨 左 近位端 計別除起欠損 骨化済 少ない なし なし 1161 1 層 無類 マダイ 主上頭骨 右 金体 金体 なし なし なし なし なし なし なし な						骨化済		不明	表面遺存悪い
164 1層 無類 マダイ 主上腕骨 左 遠位端 骨化済 あり なし 本間 (240 E222層哺乳類 インシ 上腕骨 左 遠位端間節面 不明 なし なし 相類幅4.61cm 1240 E222層哺乳類 インシ 上腕骨 左 遠位端間節面 不明 なし なし 1239 E222層哺乳類 インシ 上腕骨 左 遠位端間節面 不明 なし なし 1239 E222層哺乳類 シカ 原甲骨 左 遠位部 骨化済 あり なし 本し 1238 E222層哺乳類 シカ 原甲骨 左 远位部 骨化済 なし なし 1238 E222層哺乳類 シカ 原理骨 不明 一部分のみ			左		肘頭隆起欠損				
1341 魔 哺乳類 ウマ 熱骨						若年?			
1170 2 層 哺乳類 インカ類 椎骨 柱体のみ 骨化済 あり なし 椎頭幅4.61cm 不明 なし なし なし なし なし なし なし なし ない なし なし 1238 522層 哺乳類 シカ 肩甲骨 不明 部分のみ なし なし 第4 日本 1238 522層 哺乳類 シカ 上腕骨 左 遠位端 骨化済 あり なし 割れ口やヤスパイラル 1238 522層 哺乳類 シカ 皮骨 右 接体のみ 骨化済 あり なし 割れ口やヤスパイラル 1238 522層 哺乳類 シカ 皮骨 右 接体のみ 単作 大砂皮膚 大の皮膚 大の皮膚						III (II.) 文			+
1240 5222層哺乳類			生		-				
1239 5222			t						性以具甲菌4.61cm
1238 5222層哺乳類 シカ 上腕骨						小明			
1238 5222層哺乳類 シカ 機骨 左 近位部 骨化済 なし なし 割れ口ややスパイラル 1237 5222層哺乳類 シカ 脛骨 右 蒸幹部 不明 多い なし 1190 SPO0 哺乳類 イルカ類 助骨 ? 近位片 ?						骨化溶			
1237 5222層哺乳類 2カ 脛骨 右 蒸幹部 不明 多い なし 1171 1029 700 哺乳類 イノシシ 機骨 右 近位洋 指体のみ 前 (後) 側下半のみ 骨化済 あり なし 1171 1カケシ 哺乳類 イルカ類 椎骨 椎体のみ 前 (後) 側下半のみ 骨化済 あり なし 1172 1カケシ 哺乳類 イルカ類 椎骨 椎体のみ 十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	1238 5222層 哺乳 額 シカ				**				割れ口わめてパイラル.
1099 700 哺乳類 イルカ類 助骨? 近位片?	1237 5222層 哺乳類 シカ								BISCH Y YAZES JW
1199 SP00 哺乳類 イノシシ 核骨 右 近位端 情化済 あり なし 1171 カラン 横電 推体のみ 前(後)側下半のみ骨化済 あり なし 1172 カラン 横電乳類 イルカ類 推骨 在体のみ 前(後)側下半のみ骨化済 あり なし 1175 区 哺乳類 イノシシ 肩甲骨 左 遠位部 骨化済 不明 水明 遠存悪い 本子良 日曜乳類 イノシシ 大腿骨 左 近位端 骨化済 あり なし 日曜乳類 シカ 肩甲骨 右 近位部 骨化済 あり なし 日曜乳類 シカ 尺骨 左 近位端 骨化済 あり なし 日曜乳類 イヌ 大腿骨 左 近位端 骨化済 あり なし 日曜乳類 口 中足骨 左 近位端 骨化済 あり なし 日曜乳類 日曜乳類 イヌ 大腿骨 左 近位端 大腿骨 左 近位端 日曜乳類 日曜乳類 日曜乳類 アカニシ 軸柱のみ 不明 なし なし 日曜乳類 日曜乳期					-11724	. y v .			
1171 カケラ・哺乳類 イルカ・グララ 椎骨 椎体のみ 前(後)側下半のみ 骨化済 あり なし 本作化 不明 不明 遺存不良 1172 カケラ・哺乳類 イルカ類 椎骨 椎体のみ 木骨化 不明 不明 遺存不良 1175 I 区 哺乳類 イノシシ	1199 SP00 哺乳類 イノシシ		右			骨化洛	a n		
1172 カグシ 哺乳類 イルカ類 推骨 推体のみ 未骨化 不明 不明 連存不良 1175 区 哺乳類 イノシシ 房甲骨 左 遠位部 後側のみ 済 不明 遠存那い 成存那い 1177 区 哺乳類 シカ 肩甲骨 右 近位部 骨化済 あり なし なし 1177 区 哺乳類 シカ 月甲骨 右 近位部 骨化済 あり なし 日間乳類 シカ 尺骨 左 近位部 骨化済 あり なし なし なし なし なし 日間乳類 シカ 月甲骨 右 近位部 骨化済 あり なし 日間乳類 シカ 尺骨 左 近位端 骨化済 あり なし なし なし なし なし なし ない 本の映痕 日183 区 哺乳類 アカニシ 軸柱のみ 日183 区 哺乳類 アカニシ 軸柱のみ 日183 区 哺乳類 日180 東韓 左 緑位端 骨化済 あり なし 割り口スパイラル 1178 区 哺乳類 シカ 中足骨 左 縁位端 骨化済 あり なし 道存悪い 道存悪い 1180 表別数 イノシシ 歴骨 右 進体のみ 未骨化 カリ 表骨化 オータ 大の映痕 日179 表状 哺乳剤 フカ 担骨 推体のみ 未骨化 なし 不明 1174 表採 哺乳剤 シカ 脛骨 左 遠位端 骨化済 あり (多い) なし 大の映痕 大の映痕 日179 表状 哺乳剤 シカ 脛骨 左 遠位端 日180			_		前(後)側下半のみ				
1175 I 区 哺乳類 イノシシ 房甲骨 左 遠位部 後側のみ 済 不明 不明 選存悪い 一									遺存不良
1182 I 区 哺乳類 イノシシ 大腿骨 左 遠位端 後側のみ 済 不明 不明 歳存悪い 1177 I 区 哺乳類 シカ 用甲骨 右 反位部 骨化済 あり なし 1176 I 区 哺乳類 シカ 尺骨 左 近位端 骨化済 あり 不明 1181 I 区 哺乳類 イヌ 大腿骨 左 近位端 第 なし なし Dp3.5cm 1181 I 区 哺乳類 I 区 哺乳類 アカニシ 軸柱のみ	1175 Ι区 哺乳類 イノシシ		左						
1177 区 哺乳類 シカ 肩甲骨 右 近位部 骨化済 あり なし 1176 I区 哺乳類 シカ 尺骨 左 近位端 骨化済 あり 不明 1181 I区 哺乳類 マス 大融骨 左 近位端 済 なし 本り 1184 II区 哺乳類 マカニシ 軽幹官 本し イメの咬痕 1178 IIC 哺乳類 シカ 大融骨 大融骨 左 近位部 骨化済 あり なし 割りコスパイラル 13 IIC 哺乳類 シカ 中足骨 左 縁位端 骨化済 あり なし 遺存悪い 1173 JE 中国 別 インシシ 歴骨 右 適位端 青化済 あり なし 前面に多数の擦痕 1174 表採 哺乳類 イルカ類 推骨 推体のよ 未骨化 なし 不明 大の咬痕有り 大の咬痕有り 大の咬痕有り 表の多の(多い) なし 大の咬痕有り 大の吹痕有り 表の多の(多い) なし 大の吹痕有り 大の吹痕有り 大の吹痕有り 本ののであり なし 大の吹痕有り なし なし 本ののであり なし なし なし より なし より なし より なし より なし より より		大腿骨	左	遠位端	後側のみ				遺存悪い
1176 I 区 哺乳類 シカ		肩甲骨		近位部					
1181 区 哺乳類 イヌ 大殿骨 左 近位端 済 なし なし Dp3.5cm			左	近位端		骨化済	あり	不明	
1184 IC 哺乳類		大腿骨		近位端					Dp3.5cm
1178 II 区 哺乳類 シカ									
13 頂区 哺乳類 シカ 中足骨 左 緑位端 骨化済み あり なし 遺存悪い 1180 表採 哺乳類 イノシシ 脛骨 右 虚位端 骨化済 あり なし 前面に多数の擦痕 第173 表採 哺乳類 イルカ類 推骨 推体のみ 未骨化 大の皮痕 本骨化 本骨化 なし 不明 1174 表採 哺乳類 シカ 脛骨 左 虚位端 骨化済 あり 多い なし 大の皮痕有り 1095 不明 哺乳類 イノシシ 下頭骨 右 先端から M 2 まで P 2 から以前欠損 成職になっておない 外側に多数 でし 1100 不明 哺乳類 イノシシ 万甲骨 左 遠位端 方 なし なし なし なし なし なし なし			ļ						
1180 表採 哺乳類 イノシシ 脛骨 右 遠位着 骨化済 あり なし 前面に多数の擦痕 1173 表採 哺乳類 イルカ類 椎骨 椎体のみ 未骨化 ナタ痕あり 不明 遺存悪い 幅6.2m 程 1179 表採 哺乳類 ノカ 期 2 木骨化 なし 不明 大の咬痕有り 1095 不明 哺乳類 イノシシ 下顎骨 右 先端から M 2 まで P 2 から以前欠損 成職になって託ない 外側に多数 なし 大の咬痕有り 1000 不明 哺乳類 イノシシ 肩甲骨 左 遠位端 なし なし									
1173 表採 哺乳類 イルカ類 椎骨 椎体のみ 未骨化 ナタ痕あり 不明 遺存悪い 幅6.2m 程 1174 表採 哺乳類 イルカ類 椎骨 椎体の1/2 未骨化 なし 不明 1179 表採 哺乳類 シカ 脛骨 左 遮箔端 骨化済 あり(多い)なし 大の咬痕有り 1095 不明 哺乳類 イノシシ 下顕骨 右 先端から M 2 まで P 2 から以前欠損 成職になっておない 外側に多数なし 1100 不明 哺乳類 イノシシ 肩甲骨 左 遠位端 なし なし									
1174 表標 暗乳類 イルカ類 推骨 椎体の1/2 未骨化 なし 不明 1179 表採 哺乳類 シカ 脛骨 左 遠位端 骨化清 あり(多い)なし 大の咳痕有り 1095 不明 哺乳類 イノシシ 下顕骨 右 先端から M 2 まで P 2 から以前欠損 皮臓でなっておない 外側に多数なし 1100 不明 哺乳類 イノシシ 肩甲骨 左 遠位端 なし なし なし									
1179 表採 哺乳類 シカ 脛骨 左 遠位端 骨化済 あり(多い) なし 犬の咬痕有り 1095 不明 哺乳類 イノシシ 下顎骨 右 先端から M 2 まで P 2 から以前欠損 成献になって試ない 外側に多数 なし 1100 不明 哺乳類 イノシシ 肩甲骨 左 遠位端 済 なし なし									現任悪い 幅6.2m 桎
1095 不明 哺乳類 イノシシ 下顎骨 右 先端から M 2まで P 2 から以前欠損 成職になって私ない 外側に多数なし 1100 不明 哺乳類 イノシシ 肩甲骨 左 遠位端 済 なし なし									上の時度を与
1100 不明 哺乳類 イノシシ 肩甲骨 左 遠位端 済 なし なし					Pりから目前を掲				ヘッパズ級有り
					ェルルラ松削入損				·
				Att 12-410					
				-		E IDM	W) 1/	au .	I



第44図 出土動物遺体 I

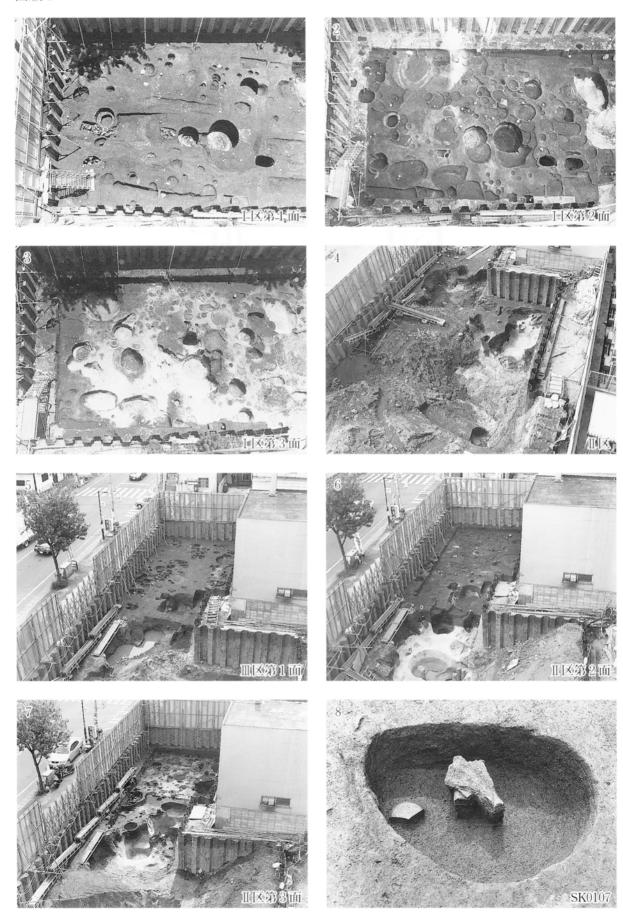
痕あり)

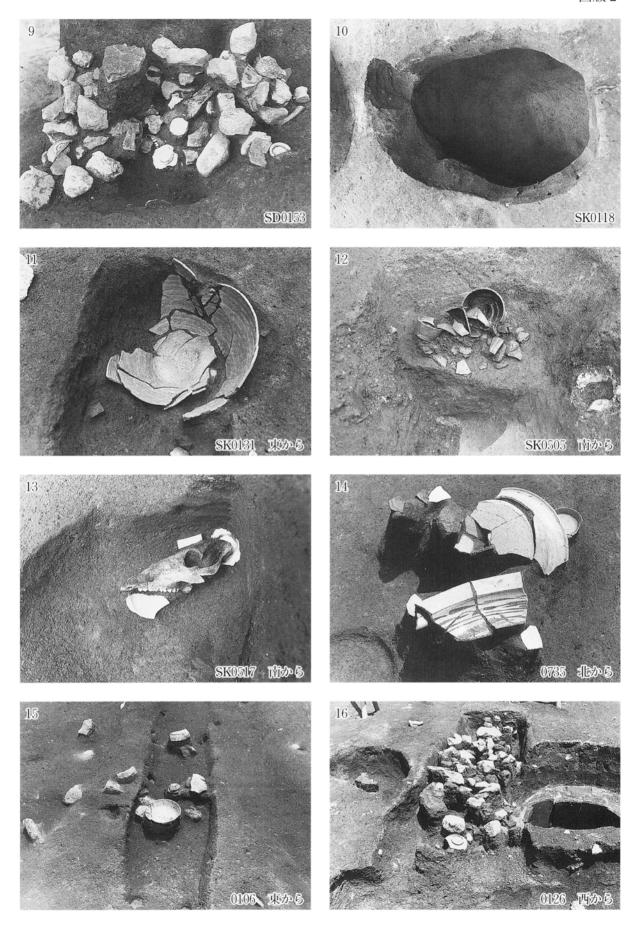


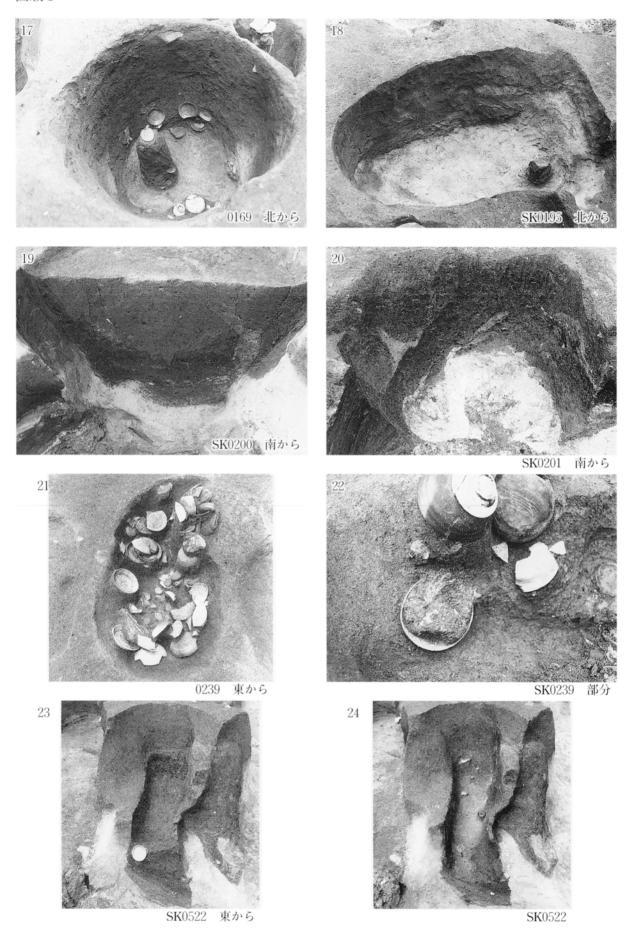
第45図 出土動物遺体Ⅱ

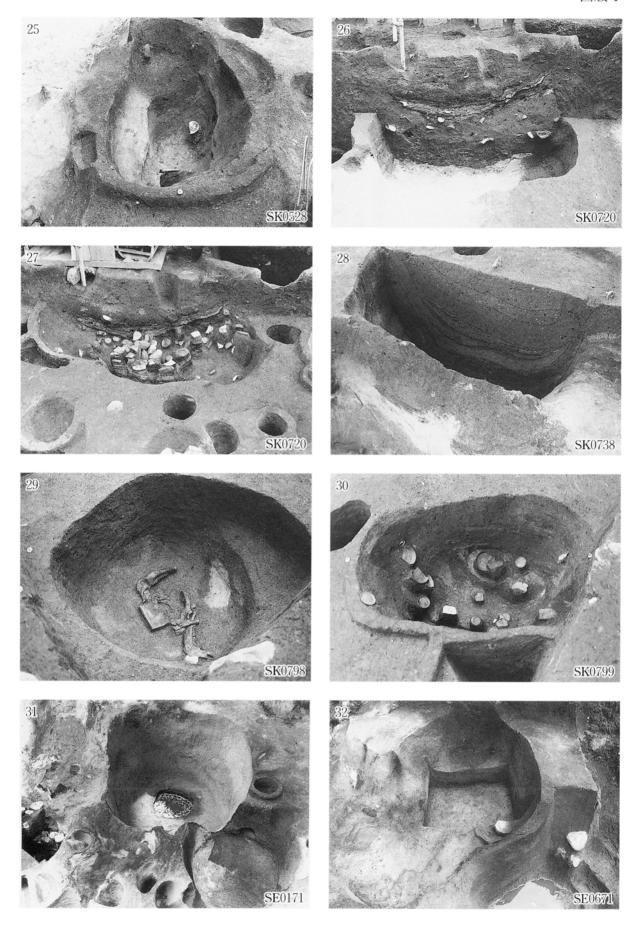
図版

図版 1

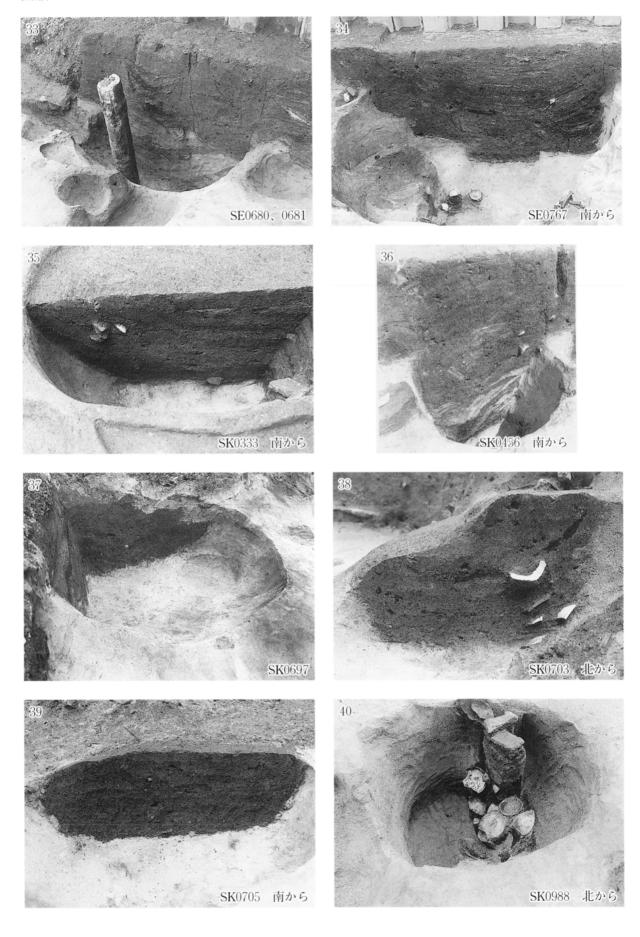


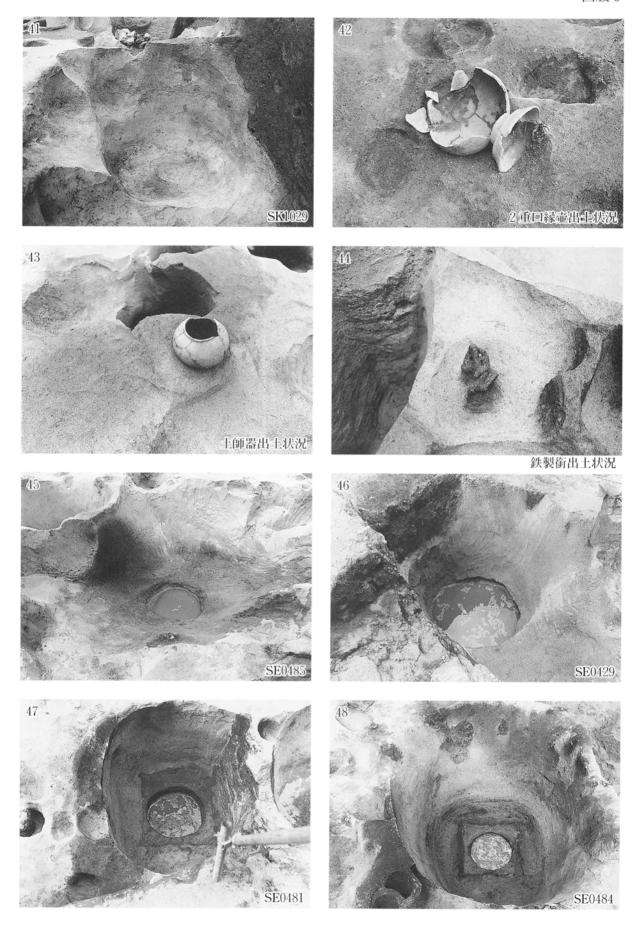




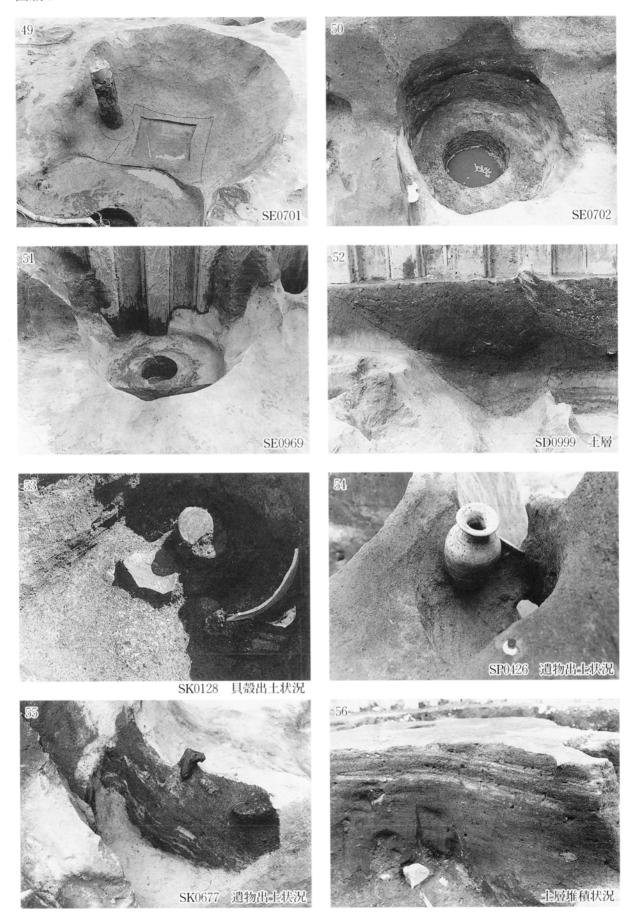


図版 5





図版7



博 多 82

博多遺跡群第115次調査の報告 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第708集

2002年3月29日

発 行 福岡市教育委員会福岡市中央区天神1丁目8-1☎092-711-4667

印 刷 株式会社 西日本新聞印刷 **6**092-611-4431